

FMV-BIBLO 情報生活術 入門

BIBLOを
持つて
外に出よう



- 節電機能を使う
- インターネットの始めかた
- Eメールを利用する
- ホームページを表示する
- CCDカメラを楽しむ
- 他のパソコンとデータを交換する
- アプリケーションを使う
- 豆知識
- 索引

FUJITSU



.....
本パソコンには次の4冊のマニュアルが用意されています。

目的に応じてお読みください。
.....

『安全上のご注意』

本パソコンを安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本パソコンをお使いになる前に必ずお読みください。

『本体＆オプションガイド』

本パソコンを初めてお使いいただくときに必要な基本的な操作と、添付品やオプション機器の使用方法などについて説明しています。本パソコンをお使いになる前、または必要なときにお読みください。

『リカバリガイド』

本パソコンを購入時の状態に戻す方法と、アプリケーションやドライバを再インストールする方法について説明しています。必要なときにお読みください。

『情報生活術入門』 本書のことです。

本パソコンを使いこなすためのヒントを紹介しています。本パソコンを屋外に持ち歩く場合、屋内で使う場合など、いろいろなシーンにあわせてお読みください。
.....

ごあいさつ

FMV-BIBLO MC3/45 は、Windows98 を搭載した、小型、軽量のパソコンです。出張や旅行などにも手軽に持ち歩け、いつでもどこでも、ご自分の情報空間を広げることができます。

本書では、本パソコンにインストールされたソフトウェアの操作方法や、使いこなしのヒントについて説明しています。

なお、本書は、Windows98 の基本的な操作をご存知の方を対象とし、本パソコンをご購入されたときの設定状態に従って記述しています。

本書の表記について

● 安全にお使いいただくための絵記号 ●

以下の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

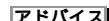
⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号の例とその意味	
	示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵(左の例の場合は感電注意)が示されています。

● その他の記号について ●

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	知っていると便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
	覚えていただきたい用語を解説しています。パソコンを初めてお使いになる方はぜひお読みください。
	ご覧になっていただきたいマニュアルや、参照先を記述しています。

画面例および入力例について

- 掲載している画面とイラストは開発中のものです。実際と異なる場合があります。また、お使いのモデルによって画面が若干異なる場合があります。
- お客様に入力していただく文字列(コマンドライン)などは、入力例の文字上に [] をかけて表しています。
- 特に指定がない場合、英数字、記号は半角で入力します。また、大文字と小文字の区別はありません。入力時に空白を入れる必要がある場合は、以下のように表しています。

dir c:

この場合は、「dir」と入力したあとに [] を1回押し、続けて「c:」と入力してください。

- 掲載している画面例は2000年1月現在のものです。

製品の呼びかたについて

製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows98
Microsoft® MS-DOS® operating system Version 6.2/V	MS-DOS
Microsoft® Internet Explorer 5.00.2614.3500IC	Internet Explorer
Microsoft® IME 98	MS-IME98
10円メールマスター Ver.2	10円メールマスター
Intellisync® for Notebooks	Intellisync
VirusScan for Windows 95/98	VirusScan
翻訳サーフィン(ホームページ翻訳)V6.0	翻訳サーフィン
乗換案内 時刻表対応版	乗換案内
柿木将棋 Light	柿木将棋
Adobe® Acrobat® Reader 4.0	Acrobat Reader
ゼンリン電子地図帳Z[zi:] for FUJITSU	ゼンリン電子地図

機種名の表記について

FMV-BIBLO MC3/45を、本パソコンと表記しています。

目 次

マニュアルの読みかた	
ごあいさつ	i
本書の表記について	ii
本書の構成	viii

第 1 章 節電機能を使う

1-1

作業を中断 / 一時停止するには	1-2
中断 / 一時停止する方法を使い分ける	1-2
ディスプレイや状態表示LCDの状態にあわせて開始する	1-4
節電機能とバッテリの残量アラーム機能の設定	1-6
節電するための操作と設定	1-6
節電状態から自動的に元の状態に戻す	1-8
バッテリ残量を確認する	1-9
バッテリ残量低下時のアラームの設定	1-10

第 2 章 インターネットの始めかた

2-1

FMV-BIBLOでインターネット	2-2
世界中のパソコンをつなぐインターネット	2-2
インターネットで利用できるいろいろなサービス	2-3
インターネット:こうすれば使える	2-5
その1 初めてお使いになる場合 / 2回目以降も同じ方法で接続する場合	2-5
その2 接続方法を変えてお使いになる場合	2-6
電話回線に接続するには	2-9
室内の電話回線に接続する	2-9
携帯電話やPHSを接続する	2-9
公衆電話に接続して通信をする	2-11
@nifty(プロバイダ)でインターネットを利用する	2-14
@niftyの無料体験サービスを利用するとき	2-14
@niftyに入会してインターネットを始める	2-14
すでに@niftyに入会しているときは	2-14
他のプロバイダでインターネットを利用する	2-15
他のプロバイダに入会するときは	2-15
すでに他のプロバイダに入会しているときは	2-16
インターネットへの接続設定を調整する	2-22
インターネット接続設定を使って接続する	2-27
インターネット接続設定を選んで接続する	2-27
FMモバイルスイッチャーで通信設定を切り替える	2-29

インターネットに接続できないときは	2-32
モデムと所在地情報の設定の確認	2-32
インターネットへの接続設定の確認	2-33
モデムの点検と調整	2-38

第3章 Eメールを利用する

3-1

らくらくメールBOXを設定する	3-2
初めて使うときの設定	3-2
メールをやり取りする	3-5
メールのやり取りのしかた	3-5
メールを書いて送る	3-8
メールを受け取って読む	3-11
E-mailボタンでメールを受信する	3-13
その他の機能とご使用上の注意事項	3-14
E-mailボタンの機能の設定	3-16

第4章 ホームページを表示する

4-1

ホームページを利用する	4-2
インターネットに接続する	4-2
インターネットとの接続を切る	4-5
ホームページの見かた	4-6
ミニ情報:Internet Explorerを活用する	4-7
主な内容 ツールバーの表示を変える / ページの表示を最新にする / 「戻る」ボタンで戻れないのは / 一気に戻るには	
ホームページを探す	4-8
英語のホームページを日本語で見る	4-10
音声でホームページを読み上げて聞く	4-11
ホームページを印刷する	4-12
ホームページの保存とオフラインでの見かた	4-13
ミニ情報:ホームページを活用する	4-19
主な内容 ホームページのデータを文書などに貼る / 必要な範囲を 印刷する / ページの表示を早くする	

第5章 CCDカメラを楽しむ

5-1

CCDカメラを使う	5-2
FMキャプチャを使う	5-2
写真やビデオを撮影する	5-3
撮った写真を活用する	5-5
ビデオを見たりメールで送る	5-8
写真やビデオの画質の調整	5-9
FMキャプチャをご利用時の留意事項	5-11

第6章 他のパソコンとデータを交換する

6-1

Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする	6-2
Intellisyncの使用に必要なハードウェア	6-2
標準モード(IrDA)で赤外線通信を行うときは	6-4
データ転送が行えるように設定する	6-5
Intellisyncの制限事項	6-8
Intellisync以外の方法でパソコンとデータをやりとりする	6-9

第7章 アプリケーションを使う

7-1

アプリケーションのご紹介	7-2
地図で目的の場所を探す	7-7
ゼンリン電子地図を使う	7-7
目的地への乗り継ぎと運賃を調べる	7-11
基本的な使いかた	7-11
その他の使いかた	7-14
コンピュータウイルスを検査し除去する(VirusScan)	7-16
VirusScanの働き	7-16
ウィルスの検査と除去のしかた	7-17
ご使用上の注意事項	7-19
10円メール(携帯電話専用)を使う	7-22
10円メールとは	7-22
10円メールを使う前の準備	7-22
メールを送信する	7-25
メールを受信する	7-26
アプリケーションのインストールと削除	7-28
アプリケーションをインストールする	7-28
インストール後に行うことが必要な操作	7-31
アプリケーションを削除する	7-32
はじめよう！インターネット(@nifty)の再インストール	7-33

第8章 豆知識

8-1

ハードディスクを使いやすくする	8-2
ハードディスクに異常がないか調べる(スキャンディスク)	8-2
不要なファイルを自動検出して削除する(ディスククリーンアップ)	8-3
操作をしやすくする	8-5
ミニ情報:画面を見やすくする	8-5
主な内容 マウスポインタを見やすくする / 文字を大きく表示する	
ミニ情報:操作方法を変える	8-7
主な内容 Webページを表示しない / ファイルの実行をダブルクリックで / 画面もクリック方法も従来のスタイルにする	
スピーカーの調整と録音の方法	8-8
スピーカーの音量を調整する	8-8
マイクを使って録音する	8-9
ミニ情報:マルチメディアファイルを開く	8-10
主な内容 音や画像のファイルを開く	
索引	9-1

本書の構成

節電機能を使う	本パソコンを携帯して使用するときに活用したい節電方法や作業の中断・再開方法を説明しています。
インターネットの始めかた	電話回線への接続方法とインターネットを始めるのに必要な設定操作の方法を説明しています。
Eメールを利用する	インターネットを使ってメールをやり取りする方法を説明しています。
ホームページを表示する	ホームページの見かたや探しかたと、ホームページの情報を保存する方法などを説明しています。
CCDカメラを楽しむ	付属のCCDカメラを使っての撮影のしかたや、撮った写真の活用方法を説明しています。
他のパソコンとデータを交換する	Intellisyncなどを利用して、本パソコンと他のパソコンとでデータをやりとりする方法を説明しています。
アプリケーションを使う	本パソコンに添付されているアプリケーションの概要や、他のアプリケーションのインストール方法について説明しています。
豆知識	ハードディスクの効率的な使用方法など、本パソコンを使ううえで参考になる情報を記述しています。
索引	必要な情報がすぐに探せるよう、索引をご用意しています。

節電機能を使う

本パソコンは、バッテリ(内蔵バッテリパック)だけでも使うことができます。

ただし、使っている途中でバッテリが切れてしまうと、

大切なデータをなくしてしまうこともあります。節電に心がけましょう。

この章では、バッテリの節電方法について説明します。



あらっ?、充電してこなかったのでしょうか?

せっかく自慢しようと思ったのに残念ですね。

この章では、次の内容を説明しています。

- ・作業を中断 / 一時停止する(▶ P.1-2)
- ・中断 / 一時停止状態からすばやく元の状態に戻る方法(▶ P.1-4)
- ・何も操作をしないときに自動的に節電する方法(▶ P.1-6)
- ・節電状態から元に戻る方法(▶ P.1-7)
- ・バッテリ残量が少なくなったら知らせてもらう方法(▶ P.1-10)

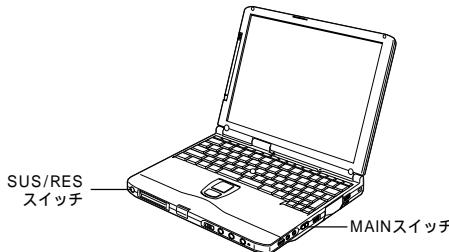
作業を中断 / 一時停止するには



ここでは、節電したりスピーディに作業が再開したりできるように、操作の終わりかたと始めかたを説明します。

中断 / 一時停止する方法を使い分ける

本パソコンでの操作の終わりかたには、サスPEND機能(一時停止)、Save To Disk機能(休止)、終了の3つの方法があります。作業状況に合わせて3つの方法を使い分けてください。



● サスPEND機能(現在の状態をメモリに保存して一時停止する)

使用しているアプリケーションなどをそのままにしておいて、操作を中断します。

サスPEND(一時停止)とは

- ・現在の作業状態がメモリに保存されて、電力消費の少ない一時停止の状態になります。この働きを「サスPEND」機能といいます。Windows 98の画面では「スタンバイ」という言葉で表示されます。
- ・サスPENDすると、画面は真っ暗になり、ハードディスクなどメモリ以外の大部分の装置は動作を停止します。

サスPENDとリジューム(復帰)

- ・サスPENDするときは、SUS/RESスイッチを押します。
- ・作業を再開するときは、SUS/RESスイッチを押します。すぐに、サスPENDする前の状態に戻ります。

サスPENDする前の状態に戻ることをリジュームといいます。

セーブトゥディスク Save To Disk機能(現在の状態をハードディスクに保存して休止する)

使用しているアプリケーションなどをそのままにしておいて、操作を中断します。

Save To Diskでの休止とは

- 現在の作業状態がハードディスクに保存されて、電源を切った休止状態になります。
- この働きを「Save To Disk」機能といいます。
- 休止すると電力を消費しません。MAINスイッチをOFFにすることもできます。

休止(Save To Disk)とレジューム

- 休止するときは[Fn]を押しながらSUS/RESスイッチを押します。
- 作業を再開するときはSUS/RESスイッチを押します。少ししてから、休止する前の状態に戻ります。

休止する前の状態に戻ることもレジュームといいます。

Windows 98を終了する

使用中のアプリケーションをすべて終了したあとに、Windows 98を終了します。

操作を再開するときは、電源を入れてWindows 98の起動から始めます。Windows 98を終了する操作を行うと、本パソコンの電源が自動的に切れます。

コラム

作業の中断方法の比較 (中断前の状態に戻すときの早さ)

サスPEND(一時停止)状態	一番早い
Save To Disk(休止)状態	2番目に早い
Windows 98を終了した状態	Windows 98の起動からやり直すことが必要

サスPEND状態のままバッテリを使いきると

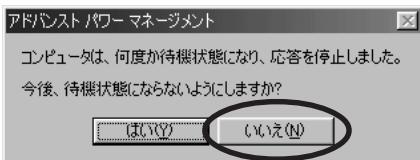
- バッテリだけで使用している場合は、バッテリを使いきるとメモリに保存した作業状態が失われ、サスPEND状態にしておけません。
- あらかじめAC電源に接続していれば、メモリの内容は常に維持されるので、いつでも一時停止する前の状態に戻せます。

休止(Save To Disk)状態のままバッテリを使いきると

Save To Disk機能では、作業状態をハードディスクに保存します。そのためバッテリを使いきってもAC電源を接続すれば、休止する前の状態に戻せます。

「今後、待機状態にならないようにしますか」が表示されたら

サスPEND状態のときに、MAINスイッチで電源を切ったり異常終了したりすると、次のメッセージが表示される場合があります。



このメッセージが表示された場合は、必ず「いいえ」をクリックしてください。
「はい」をクリックすると、以降サスPEND機能が使用できなくなります。

ディスプレイや状態表示LCDの状態にあわせて開始する

作業を開始するときは、液晶ディスプレイやMAINスイッチと状態表示LCDの①の状態を確認して、次のように操作します。

液晶ディスプレイを閉じているとき

状態表示LCDの①が点滅している場合

サスPEND(一時停止)状態になっています。液晶ディスプレイを開くとレジュームします。

状態表示LCDに①が表示されていない場合

Save To Disk機能で休止しているか、Windows 98を終了しています。

休止していてMAINスイッチがオンの場合は、液晶ディスプレイを開くだけでレジュームします。

他の場合、液晶ディスプレイを開き、MAINスイッチがONであれば、SUS/RESスイッチを押します。

MAINスイッチがOFFであれば、MAINスイッチをONにします。

液晶ディスプレイを開いているとき

状態表示LCDの①が点滅している場合

サスPEND(一時停止)状態になっています。SUS/RESスイッチを押します。

状態表示LCDの①が点灯している場合

画面の電源だけ切る節電機能が働いて、画面の表示が消えています。クリックポイントを動かします。

状態表示LCDに①が表示されていない場合

Save To Disk機能で休止しているか、Windows 98を終了しています。

MAINスイッチがONであれば、SUS/RESスイッチを押します。

MAINスイッチがOFFであれば、ONにします。

アドバイス**Windows起動時に通信環境の画面が表示される場合**

ネットワーク環境切り替えソフト「FMモバイルスイッチャー」に通信環境を登録していると、Windows起動時に通信環境の画面が表示されることがあります。

この場合は **⑨** を押すか、なにも操作をしなければ現在の通信環境が維持されます。
通信環境の切り替え **⑩▶「FMモバイルスイッチャー」で通信設定を切り替える**
(P.2-29)

本パソコンの設定によって開始のしかたが違ってきます

以上の開始方法は、ご購入時の設定に合わせたものです。

BIOSセットアップの設定によっては、液晶ディスプレイを開いてもレジュームしなくなります。

⑪▶「操作を中断して節電状態にする」(P.1-7)

液晶ディスプレイを閉じているときは

SUS/RESスイッチは働きません。



節電機能とバッテリの残量アラーム機能の設定



ここでは、本パソコンの電力消費を節約したり、バッテリの残量を管理するための機能を説明します。

節電するための操作と設定

本パソコンには、次のような節電機能があります。

- ・操作しないときに自動的に節電状態にする
- ・操作を中断して節電状態にする
- ・画面の明るさを落として節電状態にする

（操作しないときに自動的に節電状態にする）

パソコンを使用しているときに、しばらく何も操作をしなければ、画面を暗くするなど自動的に節電するように設定しておけます。

バッテリだけで使用しているときの標準の設定

標準の設定(ご購入時の状態)では、電源を入れた状態で何も操作をしないと、次のように節電の状態になります。

①(5分後)液晶ディスプレイのバックライトが消え、真っ暗な状態になる。

②(15分後)サスペンド状態(一時停止状態)になる。

自動的に節電する設定を変更するには

- ・①、②の設定は、Windows98のコントロールパネルにある「電源の管理」で変更できます。
- ・「電源の管理」では、ACアダプタを使用している場合についても、①、②の設定ができます。

操作方法は、Windows98のヘルプをご覧ください。

節電状態から元の状態に戻すには

- ・画面が暗くなったとき(①)は、クリックポイントに触れるか、[Shift]を押すと元の状態に戻ります。
- ・サスペンド機能が働いたとき(②)は、SUS/RESスイッチを押すと、元の状態に戻ります。

アドバイス**BIOSセットアップの設定との関係**

- ・①、②は、BIOSセットアップの「省電力」メニューでも設定できます。
 • BIOSセットアップの「省電力」メニューの「サスPEND動作」を「Save To Disk」にしている場合は、②で休止状態になります。
 以上の設定方法は ◆►『本体＆オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する」

操作を中断して節電状態にする

操作を中断するときは、サスPEND機能やSave To Disk機能を利用して、節電できます。

サスPEND状態にする操作とレジュームのしかた

次の3つの操作のどれを行っても、サスPEND(一時停止)状態になります。

- SUS/RESスイッチを押します。^{*1}
- 「スタート」メニューから「Windowsの終了」を選択し「スタンバイ」を選びます。^{*2}
- 液晶ディスプレイを閉じます。^{*3}

サスPEND状態からレジューム(復帰)するときは、次の操作を行います。

- 液晶ディスプレイを開じていれば開きます。^{*4}
- 液晶ディスプレイを開いていればSUS/RESスイッチを押します。

Save To Disk(休止)状態にする操作とレジュームのしかた

次の操作を行うとSave To Disk機能が働いて休止状態になります。

- **[Fn]** を押しながらSUS/RESスイッチを押します。^{*5}

休止状態からレジュームするときは、次のいずれかの操作を行います。

- 液晶ディスプレイを開じていれば開きます。MAINスイッチがONになつていればレジュームします。^{*6}
- 液晶ディスプレイを開いた状態で、MAINスイッチがONであればSUS/RESスイッチを押します。MAINスイッチがOFFであれば、ONにします。

アドバイス**サスPENDの操作で休止状態にすることもできる**

BIOSセットアップの「省電力」では、次のように各機能の働きかたを変更できます。

- *1～*3の操作で、サスPEND(一時停止)状態ではなく休止状態になる。
- 液晶ディスプレイの開閉で、レジューム(*4、*6)やサスPEND(*3)しない。
- SUS/RESスイッチを押しても、サスPEND(*1)や休止(*5)しない。

設定方法は ◆►『本体＆オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する」

●画面の明るさを落として節電状態にする

ピーエムセット
PMSet98の機能を利用すると、画面の明るさを落として節電することができます。

画面の明るさの標準の設定

PMSet98では、バッテリだけで使用していると画面が暗くなるように、ACアダプタで使用していると画面が明るくなるように標準で設定されています。

画面の明るさを切り替える操作

画面の明るさを切り替えるときは、タスクバーのPMSet98のアイコン()かデスクトップのバッテリのインジケーターをダブルクリックして「PMSet98のプロパティ」ウィンドウを表示し、設定を変更します。

操作方法は、PMSet98のヘルプをご覧ください。

節電状態から自動的に元の状態に戻す

ここでは、サスPEND(一時停止)状態から自動的に元の状態に戻す方法を説明します。

●時刻やモデム着信で元の状態に戻す

指定した時刻になったときか、モデムの着信(モデムが電話を受けた)があったときにレジュームするように設定できます。

ただし、USBコネクタに接続した携帯電話 / PHSからの着信ではレジュームしません。

指定した時刻になったらレジュームする設定

- BIOSセットアップの「省電力」の「時刻によるレジューム」で設定します。^{*7}

モデム着信でレジュームする設定

Windows98を起動した状態では、モデム着信でレジュームするように設定されます。

- PMSet98は、復帰する / しないを切り替えることができます。標準ではレジュームしない設定になっています。^{*8}
- PMSet98が起動しているときは、BIOSセットアップの「省電力」の「モデム着信によるレジューム」でも、レジュームする / しないを切り替えることができます。^{*9}

指定した時刻にプログラムを自動実行して再開する設定

- タスクバーにあるタスクスケジューラでタスクを自動実行するように設定します。^{*10}

BIOSセットアップの「モデム着信によるレジューム」とPMSet98のレジュームの設定は…▶『本体＆オプションガイド』の「節電の設定を変更する」
BIOSセットアップの設定は…▶『本体＆オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する」

アドバイス

自動的にレジュームする場合の制限

- Save To Disk機能で、休止状態になっているときは、*7～*10でレジュームすることはできません。
- モデム着信でレジュームするように設定すると、BIOSセットアップの「省電力」メニューの「サスペンド動作」が『Save To Disk』に設定してあっても、サスペンド時には一時停止(サスペンド)状態になります。

バッテリ残量を確認する

バッテリの残量は、次の方法で確認できます。

状態表示LCDで確認する

表示内容は『本体＆オプションガイド』の「バッテリの残量表示を確認する」をご覧ください。

『PMSet98』で確認する

デスクトップのバッテリのインジケータで確認できます。

 : ⑪ があればACアダプタに接続中。

 : ⑪ が黄色のときは充電中。

 : バッテリだけで使用中。グレー部分が消費した割合を表示。

インジケータ、またはタスクバーの⑪かにクリックポイントでマウスボインタを合わせると、電源の使用状態とバッテリ残量が表示されます。

操作方法は、PMSet98のヘルプをご覧ください。

コントロールパネルの (電源の管理)で確認する

コントロールパネルの (電源の管理)をクリックし、表示された「電源の管理のプロパティ」ウィンドウで「電源メーター」タブをクリックします。

操作方法は、Windows98のヘルプをご覧ください。

バッテリ残量低下時のアラームの設定

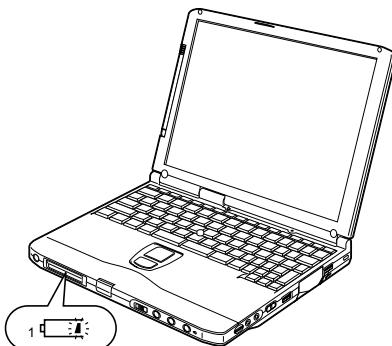
バッテリ残量が少なくなったときは、メッセージや音などで警告したり、バッテリ切れを防ぐために節電状態に切り替えることができます。

警告音が鳴らない場合 \Rightarrow 「スピーカーの音量を調整する (P.8-8)

バッテリ残量低下で自動的に節電する

バッテリ残量低下時の電源アラームの設定

標準の設定(ご購入時の状態)では、バッテリ残量が減少すると、次のようにメッセージや音などで警告したり、節電状態に切り替わります。



バッテリ残量表示

バッテリの残量が13%になったとき...バッテリ低下を警告するメッセージが表示される。

バッテリの残量が12%になったとき...「ピー」という警告音が一定間隔で鳴り続け、状態表示LCDの「バッテリ残量表示」が点滅する。

バッテリの残量が3%になったとき...バッテリ低下を警告するメッセージが表示され、サスPEND(一時停止)状態になる。

バッテリの残量が0%になったとき...サスPEND状態になる。

「電源の管理」で変更できるもの

- と はWindows 98のコントロールパネルの「電源の管理」で変更できます。

「電源の管理」では、バッテリの残量に応じて、メッセージを表示したり、サスPENDまたはシャットダウン(終了)するように設定できます。

ご購入時には、「電源の管理」は本パソコンに適した設定になっています。変更する必要はありません。

- と は、本パソコン独自の機能です。「電源の管理」では変更できません。

バッテリ切れが警告されたときの対処方法やバッテリの充電方法は \Rightarrow 「本体&オプションガイド」の「バッテリを使う」

インターネットの始めかた

本パソコンには、簡単な操作でインターネットのプロバイダに入会して、すぐにインターネットを始めることができるアプリケーションが入っています。ここでは、電話回線に接続する方法とインターネットを使うための設定方法を説明します。

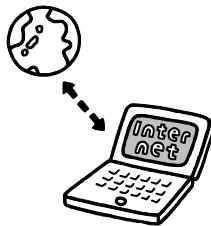


ピブ朗君も、やっと覚えたばかり。
彼女には、うまく伝わらなかったようですね…。

この章では、次の内容を説明しています。

- ・インターネットってどんなもの?(▶ P.2-2)
- ・インターネットの始めかた(▶ P.2-5)
- ・電話回線に接続する方法(▶ P.2-9)
- ・インターネット接続設定を使って接続する(▶ P.2-27)
- ・うまく接続できないときの対処方法(▶ P.2-32)

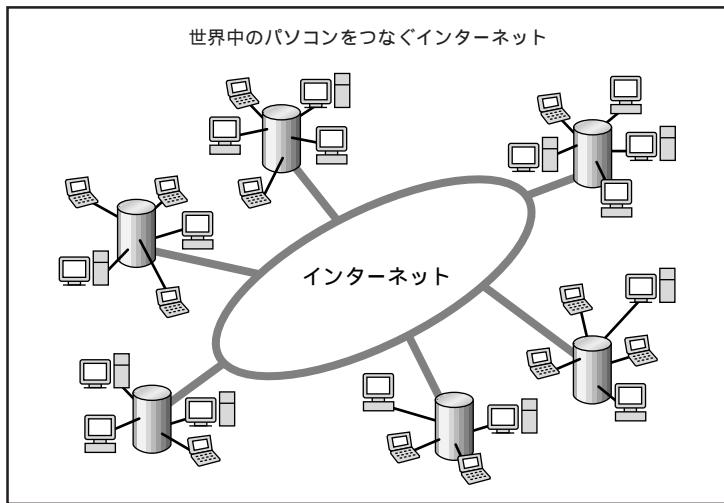
FMV-BIBLOで インターネット



世界中のパソコンをつなぐインターネット

インターネットとは、電話やFAXのように世界中のコンピュータをつなぎ、お互いにデータをやりとりできるようにする仕組みのことです。

自分のパソコンを電話回線につなぎ、最寄りのアクセスポイントに接続するだけで、世界中のインターネットユーザーとEメールを交換したり、ホームページを見たり、ホテルや航空券を予約したり、有名ブランドショップに欲しいものを注文したりと、目的に合せてインターネットを楽しむことができます。



用語 アクセスポイント

インターネットのプロバイダ(サービス提供会社)やパソコン通信に接続するとき、それらのサービスを行っている会社が指定した電話番号にダイヤルする。この電話番号を「アクセスポイント」という。インターネットのプロバイダ@nifty(アット・ニフティ)では、日本全国の主要な都市にアクセスポイントを用意している。

（インターネットの利用には、プロバイダとの契約が必要）

インターネットを利用するには、ネットワーク内での自分の連絡先（アドレス）を決める必要があります。アドレスがないと、電子メールを交換したり、いろいろな情報サービスが受けられません。アドレスは、インターネットのサービスを提供する会社（プロバイダ）と契約して取得します。

（インターネットで利用できるいろいろなサービス）

インターネットには、国内、海外を問わず、多彩なサービスが用意されています。ここでは、最もよく利用される、「ホームページ探索」「オンラインショッピング」「電子メール」を紹介します。

（ホームページ探索（WWW））

インターネット上では、世界中の企業や個人が、WWW（ワールドワイドウェブ）を利用して、自分の活動やお知らせ、製品の紹介といったさまざまな情報を「ホームページ」で公開しています。

ホームページにアクセスすると、文字や画像、音声、動画などを含むマルチメディア情報を簡単に取り出せます。「リンク」と呼ばれる関連付けが設定されているホームページでは、ある情報をクリックすると、その情報に関連する別のホームページが表示され、そこからさらに情報を得ることもできます。また、自分でこうしたホームページを作成し、公開することも簡単にできます。

このように、世界中のさまざまな情報を取り出したり、世界中のインターネットユーザーに向けて情報を発信することが手軽に出来ることから、インターネットは急速に普及したといってよいでしょう。

用語 WWW

World Wide Webを略したもの。「世界中にクモの巣のように広がる（情報の）網」という意味。「ワールドワイドウェブ」または「トリブルダブリュ」と読む。また、単に「ウェブ」ともいう。

（オンラインショッピング）

ホームページでカタログが見られるようにして、インターネット上で通信販売（オンラインショッピング）をしている所も数多くあります。世界中のさまざまな商品をウィンドウショッピング感覚で見たり、実際に注文して、手軽に個人輸入を楽しむこともできます。ただし、オンラインショッピングで商品を購入するときは、契約条件をよく読んで、トラブルに気をつけてください。

（Eメール（Electric Mail：電子メール））

Eメールはいつでも、どこからでも、電話回線を通じて瞬時に手紙を送ることができます。自分宛の手紙は自分の都合のよい時間にパソコン上で読むことができます。また、複数の相手に一度に同じEメールを送ったり、Eメールにパソコンのファイルを添付して送ることもできます。

最寄りのアクセスポイントに電話するだけで手紙やデータがやりとりできるので、通信費が安く済みます。また、やりとりするデータが電子データなので、受け取ったあとパソコンで自由に加工できる点でも、大変便利です。

同じテーマに关心を持つ人々が、「メーリングリスト」というグループを作り、1通のメールを送るとグループの全員に同じものを配信できる仕組みもあります。

■アドバイス

10円メールで、Eメールを簡単に利用することもできます

NTTドコモのデジタル携帯電話をお使いの方は、マスターネット(プロバイダのひとつ)が提供する「10円メール」の機能を利用して、簡単な操作で携帯電話からEメールのやりとりができます。詳しくは、「10円メール(携帯電話専用)を使う」(☞P.7-22)をご覧ください。

◆その他のサービス◆

インターネットは、今最も注目されている技術のひとつです。新しいサービスが次々に登場し、今も発展を続けています。ここでは、それらの中からいくつかを紹介します。詳しくは、それぞれのヘルプをご覧ください。

ニュースグループ

同じテーマに关心を持つ人々が、自由に情報や意見を交換する、掲示板のような仕組みのことです。世界中でさまざまな議論が交わされているので、のぞいてみるだけでも面白いでしょう。

本パソコンでは、「Outlook Express」で利用できます。

インターネット会議

音声データをリアルタイムにやりとりすることで、インターネットを電話のように利用することができます。同時にビデオ画像をやりとりすればテレビ電話にもなり、離れた場所にいる人とでも一緒に会議ができます。

本パソコンでは、「Microsoft NetMeeting」で利用できます。

インターネット：こうすれば使える

その1 初めてお使いになる場合 / 2回目以降も同じ方法で接続する場合

初めてお使いのときは、インターネットに接続するための設定を行う必要があります。2回目からは、この接続設定を利用してインターネットに接続します。室内の電話回線から携帯電話に変えたり、外出先で別の電話回線をお使いになる場合は、「その2 接続方法を変えてお使いになる場合（ $\cdots\blacktriangleright$ P.2-6）」を参照し、接続設定を新たに作成してください。

アドバイス

携帯電話・PHSでインターネットに接続するときに

携帯電話・PHSでインターネットに接続しようとするとき、電波の状態などにより、通信が途切れてしまう場合があります。オンラインでのプロバイダ入会手続きなどは、室内の電話回線をご利用になることをおすすめします。

電話回線に接続する

室内の電話回線に接続します。

$\cdots\blacktriangleright$ 「室内の電話回線に接続する（P.2-9）」

携帯電話・PHSに接続します。

$\cdots\blacktriangleright$ 「携帯電話やPHSを接続する（P.2-9）」



初めてお使いの場合：インターネットへの接続の設定をする

（2回目以降はそのままへおすすめください。）

@niftyを利用する場合

@nifty（プロバイダ）にこれから入会する場合と、すでに入会している場合とで、設定の手順が異なります。

「@nifty（プロバイダ）でインターネットを利用する（ $\cdots\blacktriangleright$ P.2-14）」をご覧ください。

@nifty以外のプロバイダを利用する場合

他のプロバイダにこれから入会する場合と、すでに入会している場合とで、設定の手順が異なります。

「他のプロバイダでインターネットを利用する（ $\cdots\blacktriangleright$ P.2-15）」をご覧ください。



インターネットを使う

- ◆▶「Eメールを利用する」(P.3-1)
- ◆▶「ホームページを表示する」(P.4-1)

@niftyをご利用の方は、インターネットの始めかたなどについて「はじめよう！インターネット(@nifty)」にも説明してあります。

用語 プロバイダ

インターネット接続サービスプロバイダの略。インターネットへの接続サービスを提供する業者のこと。

その2 接続方法を変えてお使いになる場合

外出先で使う場合など、いつもとは別の方法で接続するときは、接続設定を変更する必要があります。

電話回線に接続する

- 本パソコンを利用したい電話回線に接続します。
- 室内の電話回線の場合 ◆▶「室内の電話回線に接続する」(P.2-9)
 - 携帯電話・PHSの場合 ◆▶「携帯電話やPHSを接続する」(P.2-9)
 - 公衆電話の場合 ◆▶「公衆電話に接続して通信をする」(P.2-11)



インターネットへの接続を設定をする

すでに作成済みの、別の設定を使う場合は へ進みます。

外出用や携帯電話用など、目的に応じた接続設定を作成します。

@niftyを利用する場合

「通信設定」で設定する
通信設定について ◆▶「はじめよう！インターネット(@nifty)」をご覧ください。

注意事項

- これまで利用していたインターネット接続設定を今後も使う場合は、今回設定した通信設定を「アクセスポイント設定」のウインドウで、「FMモバイルスイッチャー」に違う名前で登録してください。
- これまで利用していないアクセスポイントを使う場合は、本体の内蔵モデムに電話回線を接続すれば、最新のアクセスポイントをダウンロードできます。

@nifty以外のプロバイダを利用する場合

インターネット接続ウィザードで、専用の接続設定を作成する
 ●▶「すでに他のプロバイダに入会しているときは（P.2-16）

注意事項

- ・ 使用するモデムの機種、アクセスポイントの電話番号、その他の細かな設定を確認し、必要があれば変更します。
- ▶「インターネットへの接続設定を調整する（P.2-22）

**で作成したインターネット接続設定を使って接続する**

- ▶「インターネット接続設定を選んで接続する（P.2-27）

アドバイス**FMモバイルスイッチャーを利用する**

で設定したインターネットへの接続設定（@niftyでは「通信設定」で設定した、所在地情報やアクセスポイント、モデムの機種名など）を「FMモバイルスイッチャー」に登録しておくと、環境を選んで再起動するだけで、通信の設定が簡単に切り替えられます。切り替え後は、Internet ExplorerやらくらくメールBOXで、すぐにインターネットを利用することが出来ます。

- ▶「FMモバイルスイッチャーで通信設定を切り替える（P.2-29）

**インターネットを使う**

- ▶「Eメールを利用する（P.3-1）
- ▶「ホームページを表示する（P.4-1）

コラム

「インターネット接続設定」とは

- ・インターネットへの接続に使用する設定です。
アクセスポイントに電話をかけ、プロバイダのサーバーに電話して、インターネットのネットワークに入るまでの設定を含んでいます。
主な設定内容は、アクセスポイントの電話番号、使用的するモデム、接続先のネットワークに入るための情報(プロトコル)などです。
- ・インターネット接続設定は、Windows 98の「ダイヤルアップ接続」の機能を使用した設定です。作成した接続設定は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、アイコンとして表示されます。
- ・本書では、「インターネットへの接続設定」、「インターネット接続の設定」、あるいは「接続設定」などの表現で記載します。



電話回線に接続するには

室内の電話回線に接続する

モジュラージャックから電話機を接続しているモジュラーケーブルを外し、代わりに本パソコンと壁のモジュラージャックを添付のモジュラーケーブルで接続します。

接続の詳細は、『本体 & オプションガイド』の「電話回線に接続する」をご覧ください。

携帯電話やPHSを接続する

本パソコンに携帯電話やPHSを接続して、インターネットやパソコン通信を利用することができます。

接続のしかたや注意事項は、『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。

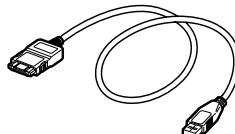
デジタル携帯電話を接続する場合

USBコネクタに接続できる機種であれば、添付の「携帯電話接続用USBケーブル」で接続できます。その他の機種の場合は、別売の「デジタル携帯電話接続カード」を使用します。

USBコネクタ用の「携帯電話接続用USBケーブル」を使う場合

デジタル携帯電話を本パソコンの右側面にあるUSBコネクタに、携帯電話接続用USBケーブルを使って接続します。

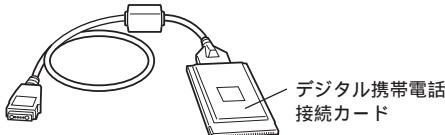
お使いになれる機種など、詳しくは『本体 & オプションガイド』の「USBコネクタを使って接続する」をご覧ください。



携帯電話接続用USBケーブル

デジタル携帯電話接続カードを使う場合

デジタル携帯電話接続カードにデジタル携帯電話を接続します。接続カードは本パソコンのPCカードスロットに挿入して使用します。



● PHSを接続する場合

USBコネクタに接続できる対応機種であれば、別売の「PHS接続用USBケーブル」で接続できます。

その他の32kbps以上のデータ通信(PIAFS)対応の機種で通信する場合は、別売の「PHS接続カード(PIAFS対応)」で接続します。

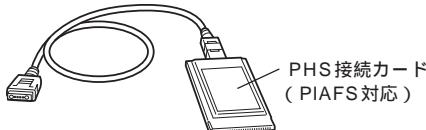
お使いになれる機種など、詳しくは『本体＆オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。

USBコネクタ用の「PHS接続用USBケーブル」を使う場合

「PHS接続用USBケーブル」を使って、PHSを本パソコンの右側面にあるUSBコネクタに接続します。

「PHS接続カード(PIAFS対応)」を使う場合

PHS接続カードとPHSをケーブルで接続します。接続カードは本パソコンのPCカードスロットに挿入して使用します。



アドバイス

PIAFSに対応していないPHSで通信するには

- PIAFSに対応していないPHSで通信するには、別売の「モデムカード2400」が必要になります。「無線電話接続ケーブル」を使ってモデムカードとPHSを接続してください。

用語 PIAFS(ピアフ)

PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSによるデジタルデータ通信の標準規格のこと。PHSのデジタル通信回線(32Kbps以上)を利用して、非常に高速な通信が行えるが、相手側のアクセスポイントや端末もPIAFSに対応している必要がある。

公衆電話に接続して通信をする

外出時にモジュラーケーブルを用意しておけば、ISDN公衆電話(グレーの公衆電話)に接続して、通信できます。

必要な準備

公衆電話からインターネットを利用するためには、以下の設定が済んでいることが必要です。

- ・プロバイダに入会して、接続するための設定。
- ・外出先から近くのアクセスポイントに接続するための設定。
(発信元のダイヤル方法は「トーン」に、外線発信番号は削除しておくことが必要です。)
- ・内蔵モデムで接続するようになっている。

接続後の設定については、「インターネットこうすれば使える その2 接続方法を変えてお使いになる場合(⇒ P.2-6)」をご覧ください。

重要

バッテリだけで使用しているときは

- ・通信中に□(状態表示LCDのバッテリ残量表示)が点滅を始めたら、間もなくバッテリがなくなります。ただちに通信を終了し、充電してください。
 - ・通信中にバッテリが完全になくなると、インターネットに接続したままで、電源だけが切れてしまいます。この場合は、MAINスイッチをOFFにしてからモジュラーケーブルを抜いて、電話回線との接続を切ってください。
- インターネットのプロバイダとの通信では、一定時間データの送受信がないと、接続が自動的に切断されますが、それまでの電話料金や利用料金がかかります。

●操作の方法●

モジュラーケーブルを使って、ISDN 公衆電話から通信します。

公衆電話は公共施設です。長時間の通信には利用しないようにしましょう。

⚠警告

感電 機器を接続するときは、必ずパソコン本体のMAINスイッチをOFFにしてください。
感電の原因となります。

- 1 モジュラーケーブルを本パソコンのモジュラーコネクタと、公衆電話の「アナログ」と書かれた接続口に接続します。



ケーブルを接続します。

アドバイス

別売のISDNカードを取り付けているときは

モジュラーケーブルを公衆電話の「デジタル」と書かれた接続口に接続します。詳しくは、ご使用のISDNカードのマニュアルをご覧ください。

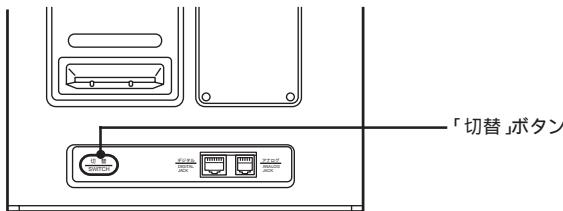
- 2 本パソコンのMAINスイッチをONにします。

- 3 Windows 98 が起動したら、以下の操作を行います。

インターネットに接続するときは、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウで使用するインターネット接続設定を選択し、所在地情報を設定してパスワードを入力しておきます。⇒「インターネット接続設定を選んで接続する」(P.2-27)

4 公衆電話の「切替」ボタンまたは「データ通信」ボタンを押します。

これでダイヤルなどの操作が本パソコンからできるようになります。



5 テレホンカードを入れます。

テレホンカードを利用するときは、通信の途中で電話が切れないように、度数に余裕のあるものをお使いください。硬貨でも利用できます。

6 本パソコンで接続の操作をします。

インターネットに接続する場合は、インターネット接続設定のウィンドウの「接続」をクリックします。

アドバイス

通信を終了してもテレホンカードが出てこないときは

Windows98を終了し、MAINスイッチをOFFにして、モジュラーケーブルを取り外してください。

@nifty(プロバイダ)でインターネットを利用する



インターネットを利用するには、プロバイダとの契約が必要です。

アット・ニフティ

@niftyは、弊社が提供するプロバイダサービスです。

@niftyの無料体験サービスを利用するとき

本パソコンには、@niftyを通してインターネットを無料で5時間まで使えるサービスが付いています。

本パソコンを電話回線に接続するだけで、すぐにさまざまなホームページを見ることができます。

ただし、アクセスポイントまでの電話料金は負担していただくことになります。

無料体験サービスの利用方法は [⑥▶『はじめよう！インターネット\(@nifty\)』](#)

@niftyに入会してインターネットを始める

@niftyには、本パソコンから電話回線を通して入会の申し込みが行えます。入会したその日から、すぐにインターネットを利用できます。

入会後は、ホームページを見るだけでなく、メールをやりとりしたり、自分のホームページを作るなど、インターネットを本格的に活用できます。

@niftyへの入会方法は [⑥▶『はじめよう！インターネット\(@nifty\)』](#)

すでに@niftyに入会しているときは

すでに入会されている場合は、@niftyに接続するための設定を行えば、インターネットを利用できます。

「はじめよう！インターネット(@nifty)」の「通信設定」を利用すると、簡単な操作で設定できます。

設定方法は [⑥▶『はじめよう！インターネット\(@nifty\)』](#)



他のプロバイダで インターネットを利用する

ここでは、@nifty以外のプロバイダでインターネットを利用するときに必要な接続の設定について説明します。

他のプロバイダに入会するときは

プロバイダへの入会方法は、プロバイダ各社によって異なります。
プロバイダ各社の資料に従って入会の手続きを行ってください。

アドバイス

@nifty以外のプロバイダにオンラインサインアップするには

オンラインサインアップで入会するには、次の2つの方法などがあります。

「インターネット接続ウィザード」で行う

・インターネット接続ウィザードは、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「インターネットツール」の順にマウスポインタを合わせ、「インターネット接続ウィザード」をクリックして開始します。

・インターネット接続ウィザードの「インターネット接続ウィザードにようこと」というウィンドウで、「新しいインターネットアカウントに…」をクリックし、次へをクリックすると、オンラインサインアップができるようになります。その後の操作は画面の指示に従って行ってください。

「オンラインサービス」を利用する

・オンラインサービスは、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「オンラインサービス」の順にマウスポインタを合わせ、入会するプロバイダやサービスの名前をクリックして開始します。その後の操作は、画面の指示に従って行ってください。

コラム

「インターネット接続設定」とは

- ・インターネットへの接続に使用する設定です。
アクセスポイントに電話をかけ、プロバイダのサーバーに接続して、インターネットのネットワークに入るまでの設定を含んでいます。
主な設定内容は、アクセスポイントの電話番号、使用的するモデム、接続先のネットワークに入るための情報(プロトコル)などです。
- ・インターネット接続設定は、Windows 98の「ダイヤルアップ接続」の機能を使用した設定です。作成した接続設定は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、アイコンとして表示されます。
- ・本書では、「インターネットへの接続設定」、「インターネット接続の設定」、あるいは「接続設定」などの表現で記載します。

すでに他のプロバイダに入会しているときは

ここではインターネット接続ウィザードを使って、インターネット接続設定(⇒P.2-21 コラム)を作成します。

また、インターネット接続ウィザードで以下の設定を行うと、Internet Explorer(ブラウザソフト)で、ホームページを見ることができるようになります。

Eメールを使うときは、最初にメールを利用するための接続の設定が必要です。

⇒「初めて使うときの設定」(P.3-2)

設定する内容

インターネット接続ウィザードの各画面で設定する内容は、入会されているプロバイダによってそれぞれ異なります。

各プロバイダに接続する方法が記載されている資料を用意して、それに基づいて操作をしてください。

インターネットへの接続の設定をする

インターネットへ接続するための設定をします。

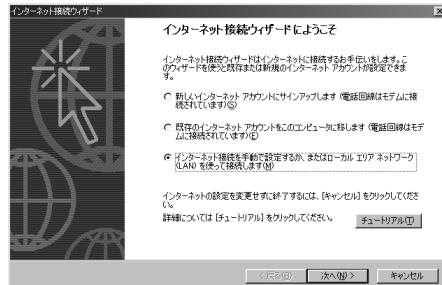
1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」「インターネットツール」の順にマウスポインタを合わせ、「インターネット接続ウィザード」をクリックします。

「インターネット接続ウィザードによるこそ」というウィンドウが表示されます。

インターネット接続の設定

プロバイダに接続するための接続先の電話番号や使用するモデムを設定します。

2 一番下の「インターネット接続を手動で...」をクリックしてにし、「次へ」をクリックします。



「インターネット接続の設定」というウィンドウが表示されます。

3 「電話回線とモデム...」が  になっているか確認して「次へ」をクリックします。

「モデムの選択」というウィンドウが表示されます。

4  をクリックし、一覧から使用するモデムをクリックして「次へ」をクリックします。

内蔵モデム(V.90 対応)を使用する場合は「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」を選択します。携帯電話・PHSを対応するUSBケーブルで使用する場合、接続カードを使用する場合、ISDN回線で接続している場合は、それぞれ該当するものを選択します。

「ステップ1:...」のウィンドウが表示されます。

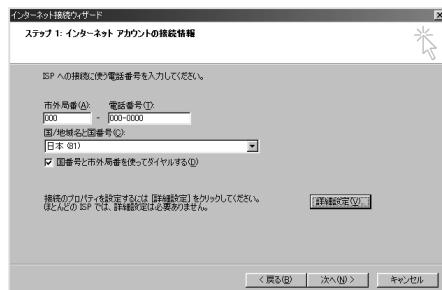
5 接続先の電話番号と国名を設定します。

・接続先(アクセスポイント)の市外局番と電話番号を入力し、「国/地域名と国番号」欄が「日本(81)」になっていることを確認します。

・「国番号と市外局番を使ってダイヤルする」が  になっているか確認します。

6 「詳細設定」をクリックします。

画面の説明にある「ISP」とはインターネットサービスプロバイダのことです。



「詳細接続プロパティ」ウィンドウが表示されます。

インターネット接続の詳細設定

インターネットに接続するとき必要になる、自分のコンピュータを特定するためのアドレス(IPアドレス)や、接続の橋渡しをするサーバー(DNSサーバー)のアドレスを設定します。

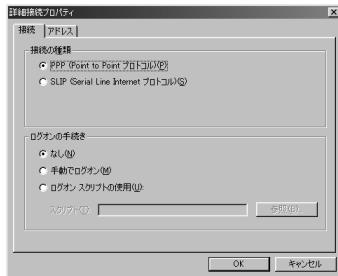
用語 D N S サーバー

DNSとは「Domain Name System(ドメインネームシステム)」の略。「サーバー」とは、プロバイダに設置された、インターネットの接続サービス提供用コンピュータのこと。DNSサーバーは、インターネットに接続しているすべてのコンピュータに割り当てられているID番号(IP アドレス)とコンピュータ名の照合を行う。これによって4組の数字を羅列したIPアドレスではなく、意味のある言葉でアドレスを指定できる。

7 接続の種類とログオンの手続きを設定して「アドレス」タブをクリックします。

「接続の種類」は「PPP」が $\textcircled{1}$ になっていることを確認します。

「ログオンの手続き」が必要なプロバイダであれば、手続きの方法を設定します。



8 プロバイダの指示に従ってIPアドレスを設定します。

多くの場合は「インターネットサービスプロバイダによる自動割り当て」を選びます。

9 プロバイダの指示に従ってDNSサーバーのIPアドレスを設定します。

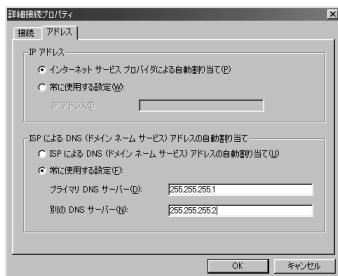
・接続時に自動設定される場合

「ISPによる...自動割り当て」をクリックして $\textcircled{1}$ にします。

・固定されている場合

「常に使用する設定」をクリックして $\textcircled{1}$ にし、「プライマリDNSサーバー」、「別のDNSサーバー」の入力欄をクリックして、それぞれに入力します。

「別のDNSサーバー」はセカンダリ(副)ドメインネームサーバーのことです。



アドバイス

DNSサーバーのアドレスの入力

・DNSサーバーのアドレスがわからないときは、ご契約のプロバイダに問い合わせてください。

・DNSサーバーアドレスは、「202.248.2.226」などのように、255以下の4組の半角数字を「.」(半角ピリオド)で区切って入力します。

10 「OK」をクリックして「ステップ1:...」に戻り「次へ」をクリックします。

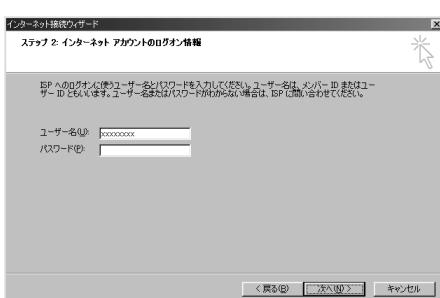
「ステップ2:...」のウィンドウが表示されます。

11 プロバイダから割り当てられた「ユーザー名」を入力します。

「ユーザー名」は、インターネットに接続するために必要な名義(アカウント)でです。

メールソフト「らくらくメールBOX」を使用する場合

- ここでパスワードを入力しておくと、らくらくメールBOXでインターネットに接続できるようになります。
 - パスワードを入力した場合、Internet Explorerや本体前面のInternetボタンの操作で、パスワードの入力なしでインターネットに接続するようになります。
 - 他人にインターネットを利用される恐れがあるときは、ここでパスワードを入力しないでください。この場合、ダイヤルアップ接続を使ってインターネットに接続して、メールの送受信を行います。
- ダイヤルアップ接続を使う操作は⇒「ダイヤルアップ接続で接続して送受信する方法」(P.2-36)



重要

入力する文字の種類に注意してください

ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字、全角と半角を間違えて入力すると、接続できないので注意してください。

ユーザー名とパスワードの両方を設定すると

接続時に、自動的にユーザー名とパスワードが入力されて接続します。接続操作が簡単になりますが、他人に勝手にインターネットに接続されるおそれがあります。

パスワードは、暗証番号に相当するものです

他人に知られないよう、取り扱いにご注意ください。

コラム

インターネットアカウント、ユーザー名、接続ID

インターネットのネットワークに参加する権利に付いた名前(アカウント、名義)プロバイダによっては、インターネットアカウント、ユーザー名、IDなどと呼びます。インターネットでは、このアカウントが参加者を特定するIDとして機能します。

インターネットに接続するときは、アカウントとそれに対応するパスワードを入力して参加の権利を証明します。インターネットへの接続後、メールを受信するために受信メールサーバーに接続する権利がメールアカウント(POPアカウント)です。プロバイダによっては1つのアカウントで両方を兼ねています。

12 「ステップ2:...」のウィンドウで「次へ」をクリックします。

パスワードを入力しない場合は、「パスワードを空白のままにしておきますか?」というメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

「ステップ3:...」のウィンドウが表示されます。

13 「接続名」の欄にインターネット接続設定に付ける名前を入力して「次へ」をクリックします。

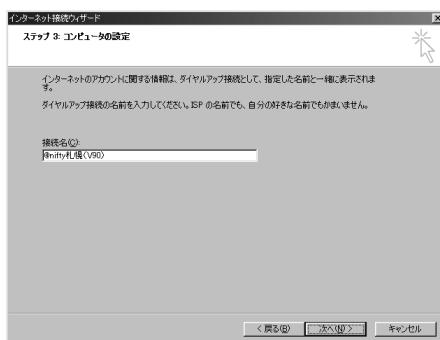
標準では「接続先 - ...」という名前が付きます。「...」は接続先の電話番号です。

アドバイス

接続名の付けかた

プロバイダ名やアクセスポイントの場所、使用する電話の種類(モデムの種類)が分かるように付けます。

例:@nifty札幌(V90)、@nifty東京C(USB)、@nifty大阪(PHS)



「インターネットメールアカウントの設定」というウィンドウに「インターネットメールアカウントを設定しますか?」と表示されます。

14 「いいえ」をクリックして□にし、「次へ」をクリックします。



「...終了します」というウィンドウが表示されます。

15 「今すぐインターネットに...」をクリックして□にし、「完了」をクリックします。

■ インターネット接続設定の確認・調整が必要

以上でインターネットへの接続設定が作成され、Internet Explorerの設定もできました。

ただし、インターネット接続設定には、インターネット接続ウィザードでは設定できない内容もあるため、作成した接続設定の内容を調整することが必要です。引き続き、次の「インターネットへの接続設定を調整する」を行ってください。

コラム

「インターネット接続設定」とは

- ・インターネットへの接続に使用する設定です。
アクセスポイントに電話をかけ、プロバイダのサーバーに接続して、インターネットのネットワークに入るまでの設定を含んでいます。
主な設定内容は、アクセスポイントの電話番号、使用するモ뎀、接続先のネットワークに入るための情報(プロトコル)などです。
- ・インターネット接続設定は、Windows 98の「ダイヤルアップ接続」の機能を使用した設定です。作成した接続設定は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、アイコンとして表示されます。
- ・本書では、「インターネットへの接続設定」「インターネット接続の設定」あるいは「接続設定」などの表現で記載します。

インターネットへの接続設定を調整する

インターネット接続ウィザードで作成した、インターネットへの接続設定の内容を確認し、必要な変更を行います。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」、「アクセサリ」、「通信」の順にマウスポインタを合わせ「ダイヤルアップネットワーク」をクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウは、「マイコンピュータ」ウィンドウの(マイコンピュータ)をクリックしても、表示できます。

- 2 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウの使用する接続設定のアイコン(ネットワーク)を右クリックして「プロパティ」をクリックします。



選択した接続設定の名前が付いたウィンドウが表示されます。

左クリックしたときに表示される「接続」ウィンドウと間違えないようにしてください。

アドバイス

接続設定には、プロバイダ名や自分で指定した名前などが付いています

- ・@niftyのオンラインサインアップで作成したものは、変更しなければ「@nifty」という名前が付いています。
- ・インターネット接続ウィザードで作成したものは、変更しなければ、「接続先 -」という名前が付いています。「.....」は、接続先の電話番号です。

3 「全般」タブの設定内容を確認します。



ここをクリックすると他のモデムの機種名が表示されます。

市外局番...接続先の市外局番になっているか確認します。必要に応じて変更します。

電話番号...接続先の電話番号になっているか確認します。必要に応じて変更します。

国番号...「日本(81)」が選ばれているか確認します。

市外局番とダイヤルのプロパティを使う...になっているか確認します。

接続の方法...この接続設定で使うモデムが選ばれているか確認します。

アドバイス

アクセスポイントを変更するときは

「市外局番」と「電話番号」をアクセスポイントの電話番号に変更します。

PIAFS対応のPHSでインターネットに接続するときは

「市外局番」と「電話番号」に、PIAFS対応のアクセスポイントの電話番号を設定します。

4 モデム名が違っていればモデムを選択し直します。

「接続の方法」のモデム名欄の をクリックし、モデム名の一覧を表示します。

表示されたモデム名一覧の をクリックして、使用するモデムを表示し、クリックします。

・内蔵モデム(V.90 対応)を使う場合

「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」を選択します。

・USBケーブルで携帯電話やPHSを使う場合

それぞれ該当するモデムを選択します。

・接続カードでデジタル携帯電話やPHSを使う場合

使用する接続カードを選択します。接続カード名が表示されない場合は、接続カードを使用できるようにしてから、やり直してください。

◆▶『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」

- 5 「接続の方法」の下にある「設定」をクリックし、「...のプロパティ」ウィンドウを表示して、「全般」タブで設定内容を確認します。



最高速度...「115200 (bps)」になっているか確認します。

回線が切斷されてしまうなど、うまく接続できない場合は、通信速度を順番に下げて接続してください。

この速度でのみ接続... になっているときは、クリックして にします。

- 6 「...のプロパティ」ウィンドウの「接続」タブをクリックし、設定内容を確認します。

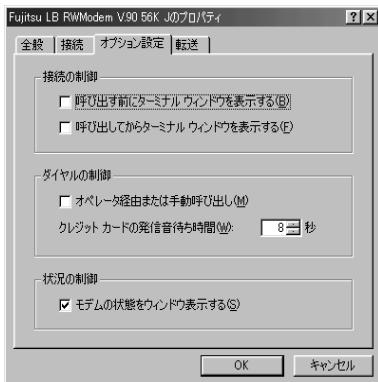


トーンを待ってからダイヤルする...内線電話から0発信などで接続するときや「携帯電話接続用USBケーブル」を使用するときは、 にしてください。

ダイヤル時の接続用USBタイムアウト...ダイヤルしたときに、ここで指定した時間以上が経過しても接続できないときは、接続を中止します。

切断までの待ち時間...インターネットに接続しているときも、ここで指定した時間だけデータの送受信がないと、接続が切斷されます。

- 7 「オプション設定」タブをクリックし、「モデムの状態をウィンドウ表示する」が になっているか確認して「OK」をクリックします。



手順2で選択した接続設定のプロパティのウィンドウに戻ります。

- 8 「サーバーの種類」タブをクリックし、設定内容を確認します。

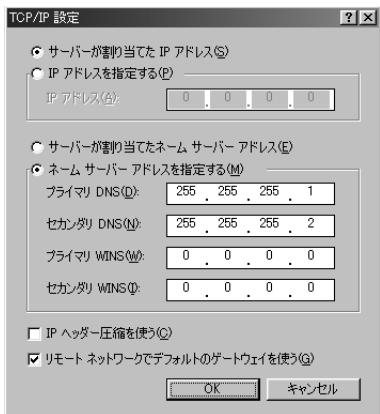


ダイヤルアップサーバーの種類...「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」が選択されているか確認します。

詳細オプション...プロバイダの指示どおりになっているか確認します。

使用できるネットワークプロトコル...「TCP/IP」だけが になっているか確認します。

9 「TCP / IP 設定」をクリックし、設定内容を確認して「OK」をクリックします。



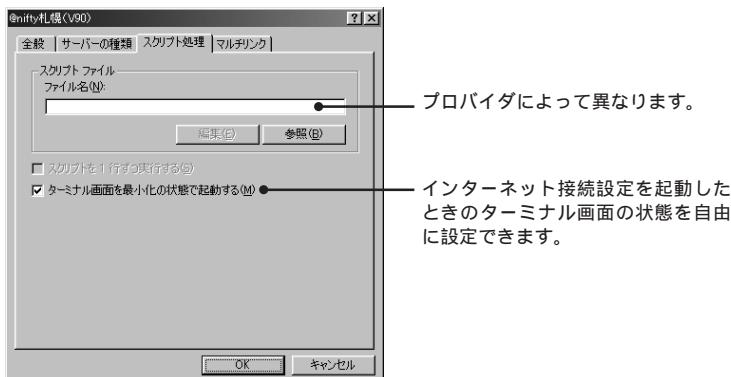
サーバーが割り当てたIPアドレス...多くのプロバイダではにします。
サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス...プロバイダによってはにします。

ネームサーバーアドレスを指定する...DNSサーバーのアドレスが一定である場合は、にして、IPアドレスを入力します。

IPヘッダー圧縮を使う...プロバイダによって異なります。

リモートネットワークでデフォルトのゲートウェイを使う...プロバイダによって異なります。

10 「スクリプト処理」タブをクリックし、設定内容を確認します。



11 「OK」をクリックします。

以上でインターネットへの接続設定の確認が終了しました。



インターネット接続設定を使って接続する

ここでは、あらかじめ作成しておいたインターネット接続設定を使用して、インターネットに接続するときの操作を説明します。

インターネット接続設定を選んで接続する

普段接続しているものとは別の回線でインターネットを利用するときに、使用するインターネット接続を選んで接続します。

- 1 室内の電話回線または、デジタル携帯電話やPHSを本パソコンに接続します。

携帯電話の接続方法は **◆▶『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」**

デジタル携帯電話やPHSの電源を入れてください。

- 2 デスクトップの  (マイコンピュータ) をクリックし、 (ダイヤルアップネットワーク) をクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

- 3 使用するインターネット接続設定  をクリックします。

接続設定は、最寄りのアクセスポイントやデジタル携帯電話、またはPHSなどのために作成したものを使用します。

「接続」ウィンドウが表示されます。

- 4 ユーザー名やパスワードを入力します。

「ユーザー名」には、インターネットへの接続のアカウントを入力することが必要です。インターネットアカウントとメールアカウントが異なる場合は気をつけてください。(**◆▶ P.2-20 コラム**)



5 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。

6 所在地情報を確認し正しい設定に切り替えます。

接続先に正常に電話がかけられるものに切り替えます。

「登録名」欄の右の▼をクリックし、一覧からクリックします。

正常に電話がかけられるものがないときは、作成してください。⇒『本体＆オプションガイド』の「移動先や携帯電話用の所在地情報を設定する」



アドバイス

以下の設定が正しくないと電話がかけられません

- ・市外局番:発信元(本パソコン)の市外局番です。接続先の市外局番と同じであると、市外局番なしでダイヤルされます。携帯電話、PHSでは実在しない市外局番(000など)にしておくことをおすすめします。
- ・外線発信番号:内線を使用するときに設定します。その他の場合に外線発信番号があると接続できません。
- ・ダイヤル方法:携帯電話とPHSは設定不要です。ISDN回線では常に「トーン」にします。その他の場合、ダイヤル時に「ピッポッパッ」と高さの違う音がすれば「トーン」しなければ「パルス」に設定します。

「電話番号が変更されています」が表示されたときは

「ダイヤルのプロパティ」をクリックする前に、「接続」ウィンドウの「電話番号」を変更したために表示されます。

- ・「接続」ウィンドウで行った電話番号の変更は取り消して所在地情報を変更するときは、「OK」をクリックします。
- ・所在地情報を変えずに、「接続」ウィンドウで変更した電話番号でダイヤルするときは、「キャンセル」をクリックします。この場合、次回の接続では、電話番号が変更前のものに戻ります。

7 所在地情報の設定が終了したら「OK」をクリックします。

設定内容を変更したときは所在地情報の名前を付け直してから、「OK」をクリックしてください。

8 「接続」をクリックします。

接続中のウィンドウが表示され、接続中の状況が示されます。

接続が完了すると、「現在……に接続しています。」のウィンドウが表示され、タスクバーに  が表示されます。

9 「閉じる」をクリックし、Internet ExplorerやらくらくメールBOXを開始します。

アドバイス

Internet ExplorerやらくらくメールBOXの操作で切断されない場合

Internet Explorerの「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックしても、「自動切断」ウィンドウは表示されません。

らくらくメールBOXで送受信が終了しても、切断されないことがあります。

切断するには、タスクバーの  をダブルクリックし、「...に接続」のウィンドウの「切断」をクリックすることが必要です。

FMモバイルスイッチャーで通信設定を切り替える

インターネットに、自宅や外出先から接続する、また携帯電話を使って接続する場合、それぞれの条件に合った通信の設定が必要になります。

ネットワーク環境切り替えソフト「FMモバイルスイッチャー」を使用すると、自宅や外出先から、また携帯電話からインターネットに接続するときの通信環境を登録しておいて、必要に合わせて環境を切り替えて接続できます。

通信環境の切り替えには、所在地情報の変更も含まれており、切り替え後は、すぐにInternet ExplorerやらくらくメールBOXなどでインターネットに接続できます。

通信環境を切り替えて使えるアプリケーションは

FMモバイルスイッチャーで対応しているブラウザは、Internet Explorer5.0だけです。

メールソフトは、以下のものに対応しています。

- ・らくらくメールBOX
- ・Outlook Express
- ・Outlook 2000
- ・FM手帳
- ・FM便利ツール
- ・タッチおじさんメール

なお、複数のアカウントを使用できるメールソフトの場合は、標準のアカウントだけ対応しています。

自宅や外出先などで使用する通信環境の登録

通信環境の登録は次のステップで行います。

Internet ExplorerやらくらくメールBOXで、インターネットに接続できるように設定します。

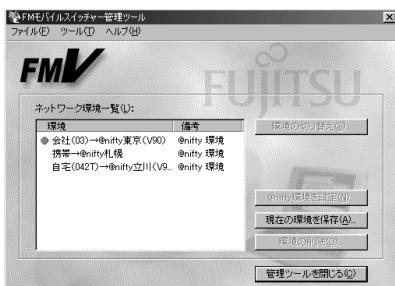
@niftyを利用する場合は、「はじめよう！インターネット(@nifty)」の「通信設定」で設定します。

他のプロバイダを利用する場合は、「すでに他のプロバイダに入会しているときは」(P.2-16)の順序で、設定を行ってください。

FMモバイルスイッチャーに通信環境を登録します。

@niftyを利用する場合は、「はじめよう！インターネット(@nifty)」の「通信設定」で登録できます。

他のプロバイダを利用する場合は、FMモバイルスイッチャーを開始して、以下の画面で「現在の環境を保存」をクリックします。

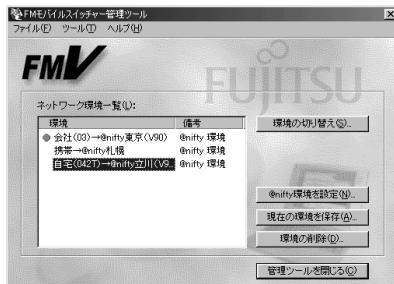


登録した通信環境に切り替える

登録した通信環境は、「FMモバイルスイッチャー管理ツール」ウィンドウのネットワーク環境一覧に表示されます。

環境名の先頭に赤丸が付いたものが、最後に登録した通信環境です。

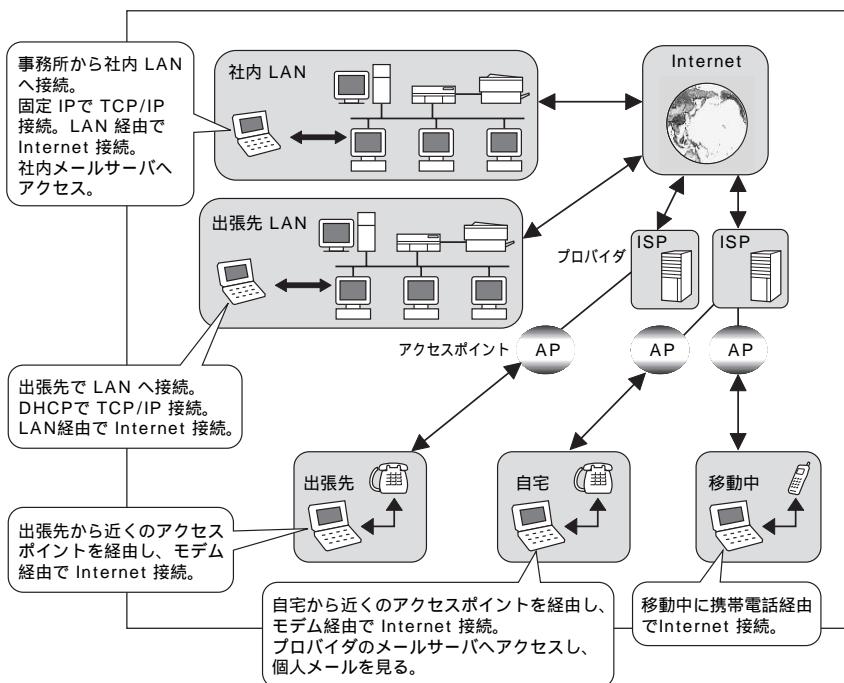
切り替えるときは、環境名をクリックして「環境の切り替え」をクリックします。表示されるメッセージに従って、Windowsを再起動すると、通信環境が切り替わります。



● その他の機能 ●

FMモバイルスイッチャーでは、Windowsの起動時に通信環境を切り替えるためのメニューを表示して、そこで環境を選択することもできます。詳しくは、FMモバイルスイッチャーのヘルプをご覧ください。

FMモバイルスイッチャーのはたらき





インターネットに接続できないときは

接続できないときは以下の順で確認してください。

モジュラーケーブルなどが正しく接続されているかを確認します。接続のしかたは \Rightarrow 『本体＆オプションガイド』の「電話回線に接続する」アクセスポイントを別の場所に変更したり、しばらく時間をおいてから、接続を行ってください。

通信状態が不安定だったり、回線が混み合っていたりして電話がかかりにくくなっている場合があります。

それでも接続できない場合には、以下の説明のように接続や設定の確認を行ってください。

- ・モデムは使える状態になっていますか？
- ・所在地情報の設定は正しく行われていますか？
- ・インターネットの設定は正しく行われていますか？

以上の確認を行っても正常に通信が行えない場合は、モデムの点検と調整を行ってください。 \Rightarrow 「モデムの点検と調整」(P.2-38)

アドバイス

アクセスポイントの変更方法は

@niftyをご利用の場合は、「はじめよう！インターネット(@nifty)」の「アクセスポイント設定」で変更します。

他のプロバイダをご利用の場合は、「インターネットへの接続設定を調整する」(\Rightarrow P.2-22)をご覧ください。

モデムと所在地情報の設定の確認

モデムの状態と所在地情報の設定内容を確認します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 2  (モデム)をクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。

直前のインターネットへの接続時に使用された所在地情報が表示されます。

アドバイス

同じモデム名が2つ表示されたときは

「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」など同じモデム名が重複してあるときは、2つとも削除して、本パソコンを再起動してください。

- 4 国名/地域、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方法を確認し、「OK」をクリックします。
設定が間違っていたら、入力し直してください。
 - ・「市外局番」をアクセスポイントの市外局番と同じにしていると、市内通話と見なされ、市外局番がダイヤルされません。
 - ・携帯電話やPHSでは、常に市外局番をダイヤルしないと接続できません。「市外局番」を実在しない市外局番(000など)に設定してください。
 - ・携帯電話やPHS、ISDN公衆電話からインターネットに接続するときは、外線発信番号をなしにします。公衆電話の場合、ダイヤル方法をトーンにしてください。
- 5 「検出結果」タブをクリックし、使用するモデムや接続カードのあるポートをクリックします。
- 6 「詳細情報」をクリックして、モデムから応答があることを確認します。ここで応答があればモデムや接続カードは正常に動作しています。
- 7 「詳細情報」ウィンドウの「OK」をクリックします。
- 8 「モデムのプロパティ」ウィンドウの「OK」をクリックします。

インターネットへの接続設定の確認

インターネットへの接続設定が正しいかどうか確認します。

アドバイス

@niftyを利用している場合

『はじめよう！インターネット』(@nifty)をご覧ください。

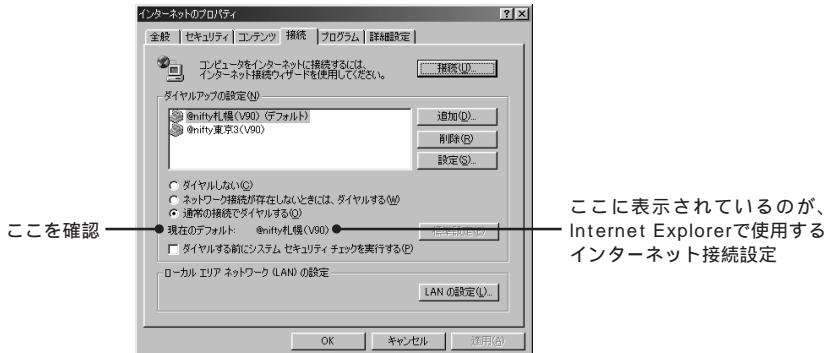
Internet Explorerで接続できない場合

Internet Explorerの設定と、Internet Explorerが使用しているインターネット接続設定(ダイヤルアップ接続設定)を確認します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2  (インターネットオプション)をクリックします。
「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「接続」タブをクリックします。

4 デフォルトの接続設定を確認します。

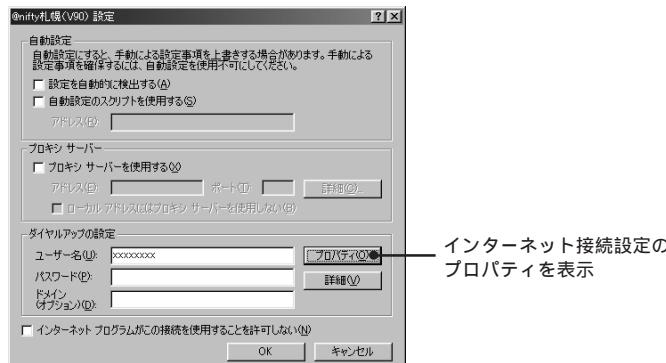
- 「通常の接続でダイヤルする」が□になつていれば、クリックして□にします。
- 「現在のデフォルト:」の欄に、使用したいインターネット接続設定の名前が表示されているか確認します。
- 表示されていなければ、「ダイヤルアップの設定」欄で、使用したいインターネット接続設定をクリックして、「標準設定」をクリックします。



5 「デフォルト」の接続設定を選択し、「設定」をクリックします。

- 「ダイヤルアップの設定」の一覧で、「(デフォルト)」のものを選択して、右にある「設定」をクリックします。
- 「.....設定」ウィンドウが表示され、インターネットに接続するときのユーザー名などが表示されます。
- 「.....」は選択したインターネット接続設定の名前です。

6 「ダイヤルアップの設定」欄の「プロパティ」をクリックします。



このインターネット接続設定の内容が表示されます。

7 インターネット接続設定の内容を確認します。

「インターネットへの接続設定を調整する」(▶ P.2-22)をご覧になり、設定内容を確認してください。

確認後は、各ウィンドウで「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じてください。

らくらくメールBOXで接続できない場合

らくらくメールBOXの設定と、使用しているインターネット接続設定(ダイヤルアップ接続設定)の内容を確認します。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「らくらくメールBOX」の順にマウスポインタを合わせ、「らくらくメールBOX」をクリックします。

「らくらくメールBOX(メールを読む)」ウィンドウが表示されます。

2 左下の「設定」ボタンをクリックします。

「設定」ウィンドウが表示されます。

3 「サーバー」タブをクリックします。

4 メールサーバー名とメールアカウントを確認します。

「サーバー」の各欄に、送信メールサーバーと受信メールサーバーの名前が正しく表示されていることが必要です。

「アカウント名」は、メールを利用するときのアカウント名になっていることが必要です。ホームページを表示するときに使うアカウント(インターネットアカウント)と名前が違う場合は、間違わないようにしてください。



5 「接続」タブをクリックします。

6 設定を確認します。

「接続」の「電話回線」が☑になっていることが必要です。

「モデム」の欄に表示されているのが、メールの送受信に使用するインターネット接続設定です。正しいものが選ばれているか確認します。



らくらくメールBOXで
インターネットに接続す
るとき使用する接続設定

7 「モデム」欄の「プロパティ」をクリックします。

メールの送受信に使用するインターネット接続設定の内容が表示されます。

8 インターネット接続設定の内容を確認します。

「インターネットへの接続設定を調整する」(▶ P.2-22)をご覧になり、設定内容を確認してください。

確認後は、各ウィンドウで「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じてください。

らくらくメールBOXでのインターネットへの接続のしかた

メールの送受信を行ったときに「インターネットに接続できません。...ネットワークの設定を確認してください。」と表示された場合は、以下のどちらかの対処を行ってください。

- (1)ダイヤルアップ接続にパスワードを設定しておく方法
- (2)ダイヤルアップ接続で接続して送受信する方法

(1)は、らくらくメールBOXで使用するダイヤルアップ接続(インターネット接続設定)に、あらかじめパスワードを設定しておく方法です。

この設定を行うと、らくらくメールBOXの通常の操作だけでメールの送受信ができます。

ただし、インターネットにパスワードの入力なしで接続するようになります。他人にインターネットを利用される恐れがある場合は、(2)の方法をお勧めします。

(2)は、ダイヤルアップ接続を起動して、インターネットに接続してから、らくらくメールBOXでメールを送受信する方法です。

この場合、送受信のたびにダイヤルアップ接続を起動してパスワードを入力する必要があります。

(1) ダイヤルアップ接続にパスワードを設定しておく方法

デスクトップの (マイコンピュータ)をクリックし、 (ダイヤルアップネットワーク)をクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

らくらくメールBOXで使用するダイヤルアップ接続のアイコンをクリックします。

「接続」ウィンドウが表示されます。

パスワードを入力し、「パスワードの保存」をクリックして にします。

「接続」をクリックし、「...に接続中」のウィンドウが表示されたら「キャンセル」をクリックします。

「接続」ウィンドウの「キャンセル」をクリックし、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウの (閉じる)をクリックします。

(2) ダイヤルアップ接続で接続して送受信する方法

らくらくメールBOXを開始します。

送信するときは、メールを書いておきます。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウの使用するダイヤルアップ接続のアイコンをクリックします。

操作方法は \Rightarrow 「インターネット接続設定を使って接続する」 (P.2-27)

インターネットに接続すると、「現在...に接続しています」のウィンドウが表示されます。

「閉じる」をクリックし、らくらくメールBOXでメールの送受信を行います。

接続を切断します。

送受信が終了しても、タスクバーに が表示されているときは、 をダブルクリックし、「...に接続」のウィンドウの「切断」をクリックします。

● インターネット接続設定で接続できない

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウのインターネット接続設定のアイコンをクリックして接続できない場合は、その設定内容を確認します。

「インターネットへの接続設定を調整する」 (\Rightarrow P.2-22)をご覧になり、設定内容を確認してください。

モデムの点検と調整

所在地情報やインターネット接続設定が、正しく設定されていても接続できない、または接続後に通信ができない場合は、以下のようにモデムの確認を行ってください。

◆ どんな点検が必要か調べる ◆

■ アクセスポイントに接続できない場合

インターネットへの接続時に表示される「ダイヤルアップの接続」ウィンドウの下部に、「リモートコンピュータに接続済みです」と表示されない場合は、アクセスポイントに接続できていません。

以下の点を確認してください。

モデムが通信ポートに接続できているかの確認

- ◆▶ 「モデムと所在地情報の設定の確認 (P.2-32)」で、モデムからの応答があるか確認します。

パソコン・モデム間の速度の設定

- ◆▶ 「インターネットへの接続設定を調整する (P.2-22)」で、パソコン・モデム間の速度を確認します。

■ アクセスポイントに接続するが、通信が正常に行なわれない場合

以下の順に、確認してください。

モデムの使用環境を確認する ◆▶ モデムの使用環境の点検 (P.2-39)



通信状態が改善されない



モデムの通信速度を下げる ◆▶ モデムの通信速度の下げかた (P.2-40)



通信状態が改善されない



モデムドライバに不具合が発生している可能性があります。



回線状態が悪い可能性があります。NTTにご相談ください。



回線状態に問題がない



弊社「パーソナルエコーセンター」にお問い合わせください。

● モデムの使用環境の点検

モデムが、正常に通信が行える状態になっているか以下の点をご確認ください。

■ モデムと電話回線の接続の確認

モジュラージャックに接続できていますか？

- ・本パソコンとモジュラージャックがモジュラーケーブルで接続してあるか確認してください。

使用しているモジュラーケーブルは

- ・添付のモジュラーケーブルを使用していますか？
- ・使用していなければ、添付品を使用してください。

ISDN回線を使用している場合は

- ・アナログポートに接続して使用していませんか？

アナログポートに接続していれば、K56flexとV.90での通信ができず、最高速度は33600bpsになります。通信速度を33600bps以下に設定してください。

分岐アダプタや分配器を使用している場合は

- ・モジュラーケーブルを延長して使用していませんか？
- ・延長していれば、添付のモジュラーケーブルだけで試してください。
- ・3分岐以上の接続になっていませんか？
- ・3分岐以上の場合、2分岐以内にして試してください。

切替器を使用している場合は

- ・モデムが回線に接続するように切り替えているか確認してください。

外付けモデムを接続している場合

接続していれば、外付けモデムを取り外してください。

■ 電話回線の状態の確認

普段の電話回線の状態は

- ・モデムを外し電話機だけで普通に電話をかけて、相手につながったあと、雜音やエコーや混信などが聞こえませんか？
- ・雜音、エコーなどがあれば、NTTにご相談ください。

雜音の発生源がそばにないか

- ・電源ケーブルなどの雜音発生源が電話回線のそばにありませんか？
- ・ある場合は、電源ケーブルなどは影響を受けないように離して配置してください。

回線をキャッチホンで契約している場合

- ・キャッチホンの場合は、モデムでの通信中に、キャッチホンの信号が入るとデータが化けたり通信が途切れたりします。キャッチホンに変更するか、またはキャッチホンでのご使用をおやめください。

〔モデムの通信速度の下げかた〕

モデムの接続先への通信速度(回線速度ともいいう)を設定するときは、以下のようにしてください。

なお、同じモデムを使用していても特定のインターネット接続設定の場合だけ正常に通信が行えないときは、その接続設定のプロパティからモデムのプロパティを表示して以下の設定を行ってください。⇒「インターネットへの接続設定を調整する」(P.2-22)

1 「コントロールパネル」の「モデム」をクリックします。

「モデムのプロパティ」の「全般」タブが表示されます。

*「コントロールパネル」は「スタート」ボタンをクリックし「設定」のメニューから選んで表示します。

2 一覧の中の設定するモデムをクリックし「プロパティ」をクリックします。

選択したモデムのプロパティウィンドウが表示されます。

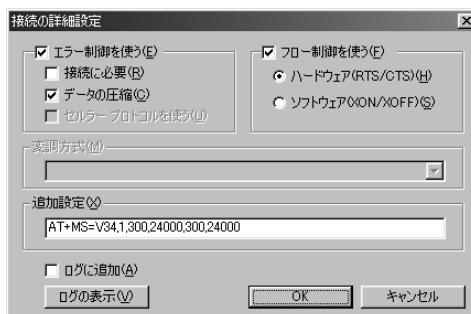
3 「接続」タブをクリックし、「詳細」をクリックします。

「接続の詳細設定」ウィンドウが表示されます。

4 「追加設定」欄に次のように通信速度を設定するコマンドを入力します。

- ・通信速度を24000bps以下にするとき

「AT+MS=V34,1,300,24000,300,24000」



5 「OK」をクリックします。

設定したモデムについては、これ以後この速度で通信が行われます。

アドバイス**通信速度を指定するには**

次のように「AT+MS=」に続けて各設定値を半角カンマで区切って入力します。
 AT+MS=[変調方式],[速度変更のモード指定],[最低送信速度],[最高送信速度],[最低受信速度],[最高受信速度]

・[変調方式]...使用できるのは、次の方です。

V90:V.90モード、K56:K56flexモード、V34:V.34モード、V32B:V.32bisモード、V32:V.32モード、V22B:V.22bisモード

・[速度変更のモード指定]...回線の状態に合わせて通信速度を下げる(フォールスルーノ)の有無。1:あり。0:なし。

・[最低送信速度]~[最高受信速度]:以下の表から変調方式にあった速度を指定します。

V.90	受信	56000, 54667, 53333, 52000, 50667, 49333, 48000, 46667, 45333, 44000, 42667, 41333, 40000, 38667, 37333, 36000, 34667, 33333, 32000, 30667, 29333, 28000
	送信	33600, 31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400
K56flex	受信	56000, 54000, 52000, 50000, 48000, 46000, 44000, 42000, 40000, 38000, 36000, 34000, 32000
	送信	31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400
V.34		33600, 31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400
V.32bis		14400, 12000, 9600, 7200, 4800
V.32		9600, 4800
V.22bis		2400, 1200

Eメールを利用する

いつ送っても相手の好きなときに読んでもらえる。

Eメールはたいへん相手にやさしいコミュニケーションツールです。
簡単な操作でメールをやり取りできる「らくらくメールBOX」を使って、
メールをフルに活用しましょう。



この章では、次の内容を説明しています。

- ・最初に「らくらくメールBOX」を使うときに必要な設定
(▶ P.3-2)
- ・メールの書きかた・送りかた(▶ P.3-8)
- ・メールの受け取りかた・読みかた(▶ P.3-11)
- ・E-mailボタンで受信する方法(▶ P.3-13)
- ・返信メールの書きかた(▶ P.3-14)

らくらくメールBOXを設定する



初めて使うときの設定

すでに、「はじめよう！インターネット(@nifty)」でオンラインサインアップを行った場合は、以下の操作は不要です。「メールをやり取りする（P.3-5）」をご覧ください。

1 らくらくメールBOXを開始します。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「らくらくメールBOX」の順にマウスポイントを合わせ、「らくらくメールBOX」をクリックします。

「らくらくメールBOXへようこそ」ウィンドウが表示されます。

2 利用するプロバイダに合わせて、設定方法を選択します。

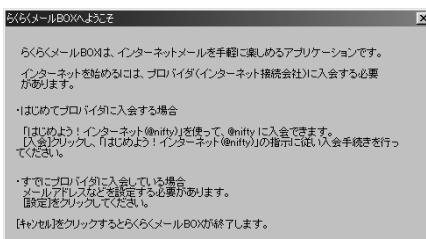
・ @niftyに入会する場合

「入会」をクリックします。「はじめよう！インターネット(@nifty)」が起動するので、サインアップの操作を行ってください。

◆▶「はじめよう！インターネット(@nifty)」

・他のプロバイダを利用する場合

「設定」をクリックし、次の手順3からの操作を行ってください。



「設定」をクリックした場合、「ユーザー情報の設定...」のウィンドウが表示されます。

3 以下の項目を設定し、「次へ」をクリックします。

・名前

自分の氏名など自由に名前を入力します。メールを送ると、この名前が差出人の名前になります。

・メールアドレス

プロバイダに指示されたメールアドレスを入力します。



「サーバー名を入力します」のウィンドウが表示されます。

4 各項目を設定し、「次へ」をクリックします。

プロバイダに指示された送信メール(SMTP)サーバー名と、受信(POP)サーバー名を入力します。



「受信メールサーバー(POP3)へ...」のウィンドウが表示されます。

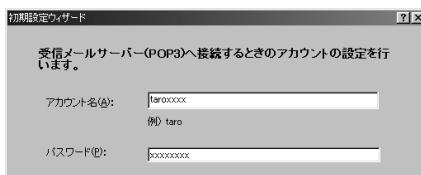
5 以下の項目を設定し、「次へ」をクリックします。

- ・アカウント名

プロバイダから割り当てられたメールアカウントを入力します。

- ・パスワード

メールサーバーに接続するためのパスワードを入力します。



「接続方法の設定を...」のウィンドウが表示されます。

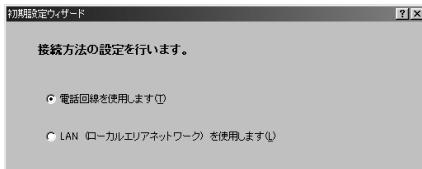
アドバイス

パスワードは入力しないでおくこともできます

入力しないでおくと、らくらくメールBOXを開始したときに「パスワード入力」ウィンドウが表示されます。

この場合は、メールアカウントのパスワードを入力して、「パスワードを保存する」をにしておくと、それ以後はメールアカウントのパスワードの入力が不要になります。

6 「電話回線を…」が  になっているか確認し、「次へ」をクリックします。



「使用するダイヤルアップの…」のウィンドウが表示されます。

7 使用するインターネット接続設定を選び、「次へ」をクリックします。

 をクリックして、一覧から使用する接続設定をクリックします。

- らくらくメールBOXだけでメールの送受信を行う場合

ここで選択したインターネット接続設定(ダイヤルアップ接続)には、パスワードを入力しておく必要があります。ただしパスワードを入力しておくと、誰でもインターネットに接続できる状態になります。

パスワードの入力方法は \Rightarrow 「ダイヤルアップ接続にパスワードを設定しておく方法」(P.2-36)

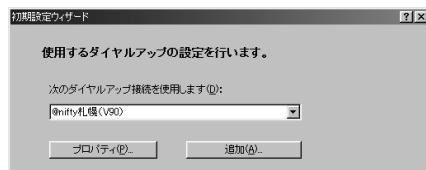
- ダイヤルアップ接続とらくらくメールBOXを組み合わせて使う場合

いったんダイヤルアップ接続でインターネットに接続してから、らくらくメールBOXでメールを送受信する方法です。

この場合は、ここで選択したダイヤルアップ接続を使用しません。

ダイヤルアップ接続を使う操作は \Rightarrow 「ダイヤルアップ接続で接続して送受信する方法」(P.2-36)

外出先や携帯電話で接続する場合 \Rightarrow 「その2 接続方法を変えてお使いになる場合」(P.2-6)



「完了しました…」のウィンドウが表示されます。

8 設定内容を確認して、「完了」をクリックします。

 アドバイス

接続方法などを変更するときは

らくらくメールBOXの「設定」ボタンのクリックで表示される、「設定」ウィンドウで行います。

- 「ユーザー情報」タブ:メールの差出人にする名前とメールアドレスを設定。
- 「サーバー」タブ:送信メールサーバー名、受信メールサーバー名、メールアカウント名、メールアカウントのパスワードなどを設定。
- 「接続」タブ:電話回線とLANのどちらで接続するかと、使用するインターネット接続(ダイヤルアップ接続)を設定。



メールをやり取りする

メールのやり取りのしかた

メールをやり取りするには

らくらくメールBOXには、「メールを読む」「メールを書く」「返事を書く」の3つの操作モードがあります。やりたいことに合わせて、モードを切り替えます。

メールを書くモード

- ・メールを書きます。
- ・書いたメールを送信します。
- ・「はーときやんばす」と連携して手書きのメールを添付できます。



で切り替え

メールを読むモード

- ・メールを読みます。
- ・自分宛てのメールを受信します。
- ・パソコンにメールを読み上げてもらうことができます。



で切り替え

返事を書くモード

- ・メールを読むモードで選んだ相手に返事を書きます。
- ・書いたメールを送信します。
- ・「はーときやんばす」と連携して手書きのメールを添付できます。

メールのやり取りの表示

送信したメールや受信したメールは、アドレス一覧の人物ごとに分類されます。その人物とのやり取りが、メール一覧に表示されます。

「メールを読むモード」の表示内容



やり取りする相手をアドレス一覧に登録する

メールが送れるように、メールを出す相手を登録します。

アドレス一覧には、50人まで登録できます。

登録した1人の人に対して、300通までメールの送受信結果を残しておくことができます。

アドバイス

50人や300通の制限を超えるメールを受信した場合

- メールの送受信が300通に達した人物があると、「メールを受け取る」をクリックしても受信ができなくなります。必要なメールはファイルに保存して、メール一覧のメールを削除してください。
- 50人の人物を登録している場合、それ以外の人からのメールは「その他」という人物からのメールとして受信されます。アドレス一覧の整理をしてください。

詳しくは、らくらくメールBOXのヘルプをご覧ください。

1 らくらくメールBOXを開始します。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「らくらくメールBOX」の順にマウスポインタを合わせ、「らくらくメールBOX」をクリックします。

「パスワード入力」ウィンドウが表示されたら、メールアカウントのパスワードを入力し「OK」をクリックします。

2 アドレス一覧の「追加」をクリックします。

「メールを読む」か「メールを書く」のモードで操作してください。「返事を書く」のモードでは、人物の登録はできません。
「相手の情報」ウィンドウが表示されます。

3 相手の名前とメールアドレスを入力します。

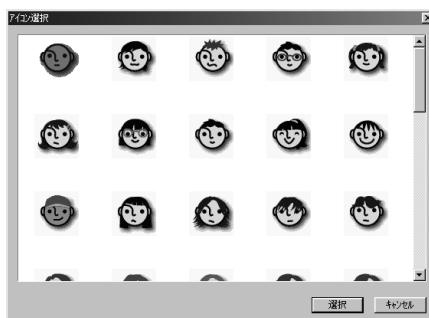
名前は自由に付けられます。メールアドレスは、メールアカウントに続けて「@」を入力すると、右側(ドメイン名)の欄が入力できます。



4 顔アイコンの選択ボタンをクリックします。

顔アイコンを選択するウィンドウが表示されます。

5 使いたい顔アイコンをクリックして、「選択」をクリックします。



顔アイコン欄に、選んだアイコンが表示されます。

6 「登録」をクリックします。

アドバイス

アドレス一覧の変更や削除

- 人物の名前やメールアドレス、顔アイコンを変更するときは、アドレス一覧の「変更」をクリックします。
- 人物の削除も、「変更」をクリックして行います。ただし、その人物とやり取りしたメールもすべて削除されます。

メールを書いて送る

メールを書いて送信します。送信できる相手は、アドレス一覧に登録してある人だけです。

重要

インターネットに接続できないと送信できません

- らくらくメールBOXでインターネットに接続してメールを送信する場合は、使用するインターネット接続設定(ダイヤルアップ接続)にパスワードを入力しておく必要があります。
- パスワードの入力は **①▶「ダイヤルアップ接続にパスワードを設定しておく方法」(P.2-36)**
- ダイヤルアップ接続でインターネットに接続してから、らくらくメールBOXでメールを送信する方法もあります。
- ダイヤルアップ接続を使うには **②▶「ダイヤルアップ接続で接続して送受信する方法」(P.2-36)**



アドバイス

1 通ずつ書いたら送る

1通のメールを書いたら、次のメールを書く前に送信してください。

途中で止めても書きかけのメールはなくなりません

書いている途中でも、「メールを読む」をクリックして、他のメールを見ることがあります。

らくらくメールBOXを終わらせて、書きかけのメールは残っています。次に開始したときに、続きを書けます。

1 らくらくメールBOXを開始します。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「らくらくメールBOX」の順にマウスポインタを合わせ、「らくらくメールBOX」をクリックします。

「パスワード入力」ウィンドウが表示されたら、メールアカウントのパスワードを入力し「OK」をクリックします。

2 「メールを書く」をクリックします。

3 アдрес一覧のメールを出す相手をクリックします。

アドバイス

送る前なら送り先を選び直せます

書いている最中でも、書き終わってからでも送り先を選び直せます。

一度に複数の人にメールを出したい

アドレス一覧で送り先を選ぶときに、**[Ctrl]**を押しながらクリックすると、複数の人
が選べます。

4 題名と本文を入力します。

それぞれの欄をクリックして、メールに対するタイトルや本文を入力します。

アドバイス

題名や本文の編集に利用できる機能

題名の欄や本文入力領域で右クリックすると、利用できる機能のメニューが表示さ
れます。

「元に戻す」「コピー」「貼り付け」「削除」などが利用できます。

5 ファイルを添付して送るときは、添付する操作を行います。

次の2通りの方法があります。

- 本文入力領域で右クリックして、表示されるメニューの「ファイル添付」をク
リックし、添付するファイルを選択します。
- 目的のファイルのあるフォルダウィンドウから、ファイルを本文入力領域まで
ドラッグして添付します。

アドバイス

手書きメールを添付するときは

画面右下の「手書きメール」をクリックします。

「はーときゃんばす」が開始します。

「はーときゃんばす」の「デジカメ」ボタンでCCDカメラを利用するか確認す
るメッセージが表示されます。

CCDカメラで撮影して、その画像を添付するときは「はい」をクリックしま
す。そうでなければ、「いいえ」をクリックします。

「はーときゃんばす」で手書きメールを作成します。

操作方法はヘルプをご覧ください。

作成できたら「はーときゃんばす」の「戻る」をクリックします。

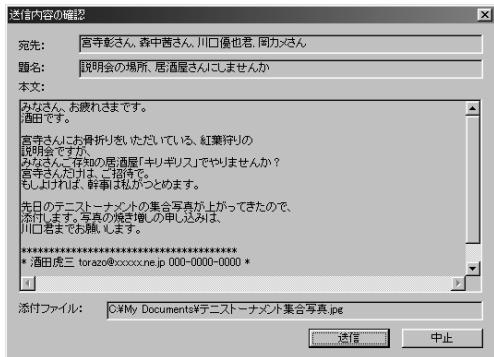
「作成した絵をメールに添付しますか」というメッセージが表示されます。

「添付する」をクリックします。

6 送信するときは「メールを送る」をクリックします。

「送信内容の確認」ウィンドウが表示されます。

7宛先などを確認して「送信」をクリックします。



送信経過が表示され、終了すると「メールの送信が終わりました」が表示されます。

「インターネットに接続できません。...ネットワークの設定を確認してください。」が表示された場合は、「らくらくメールBOXでのインターネットへの接続のしかた」(P.2-36)をご覧ください。

8 「OK」をクリックします。

回線が切断されます。画面右下のタスクトレイの■が消えたことを確認してください。

アドバイス

送信が正常に終わると

送信したメールの題名や本文が消えて、次のメールを書く状態になります。

正常に送信できなかったときは、題名や本文がそのまま残って表示されるので、送信し直してください。

メールを受け取って読む

自分宛てのメールを受信します。アドレス一覧に登録されていない人からメールを受信すると、その人が自動的に登録されます。

重要方

インターネットに接続できないと受信できません

- ・らくらくメールBOXでインターネットに接続してメールを受信する場合は、使用するダイヤルアップ接続にパスワードを入力しておく必要があります。
パスワードの入力は **④「ダイヤルアップ接続にパスワードを設定しておく方法** (P.2-36)
 - ・ダイヤルアップ接続でインターネットに接続してから、らくらくメールBOXでメールを受信する方法もあります。
ダイヤルアップ接続を使うには **④「ダイヤルアップ接続で接続して送受信する方法** (P.2-36)

メールを利用する



1 らくらくメールBOXを開始します。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「らくらくメールBOX」の順にマウスポインタを合わせ、「らくらくメールBOX」をクリックします。

- ・「パスワード入力」ウィンドウが表示されたら、メールアカウントのパスワードを入力し「OK」をクリックします。
 - ・すでにらくらくメールBOXを開始していて、「メールを書く」モードになつていれば、「メールを読む」をクリックします。

2 「メールを受取る」をクリックします。

受信の経過が表示され、終了すると「メールが届きました」か「メールはありません」が表示されます。

「インターネットに接続できません。...ネットワークの設定を確認してください。」が表示された場合は、「らくらくメールBOXでのインターネットへの接続のしかた」(P.2-36)をご覧ください。

3 「OK」をクリックします。

回線が切断されます。画面右下のタスクトレイの電池が消えたことを確認してください。

4 メールの受信状態を確認します。

新しいメールが届くと、そのメールを出した人の顔の下に新しいメールのアイコン✉が付きます。アドレス一覧に登録されてない人なら、自動的に名前と顔が表示され、その下に新しいメールのアイコンが付きます。

5 新たに着いたメールを表示して読みます。

アドレス一覧で新しいメールのアイコンの付いた人をクリックし、メール一覧で見たいメールをクリックします。

複数のメールを受け取ったときは、本文表示領域で右クリックし、表示されるメニューの「次の未読を表示」をクリックすると、次の新着メールが表示されます。

6 添付ファイルを取り出します。

添付ファイルがあるときは、次のようにします。

- ・ファイルを開くとき

そのアイコンをダブルクリックすると、そのファイル種類に関連付けされたアプリケーションが開始して、内容を表示します。

- ・ファイルを保存するとき

そのアイコンを右クリックし、表示されるメニューの「名前を付けて保存」をクリックして保存します。

アドバイス

添付ファイルを他のメールに利用するとき

添付ファイルを加工して、別のメールに添付したいときは、右クリックで表示されるメニューの「手書きメール」をクリックします。

これで、「はーときゃんばす」が開始して、添付ファイルが背景画像に読み込まれます。加工が終わったら「戻る」をクリックすると、加工した画像を添付したメールが作成できます。

E-mailボタンでメールを受信する

E-mailボタンを使うと、新着メールがないかチェックして、あれば自動的に受信できます。

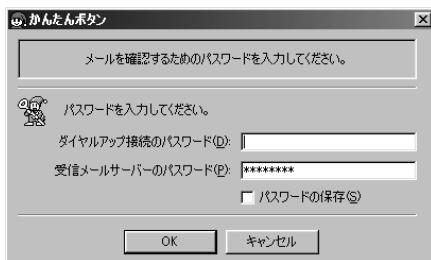
1 ワンタッチボタンのE-mailボタンを押します。

ボタンがロックされていれば外します。

「パスワードを入力してください」のウインドウが表示されます。

2 パスワードを入力して「OK」をクリックします。

- ・「ダイヤルアップ接続のパスワード」には、インターネットアカウントの（ホームページを見るときの）パスワードを入力します。
- ・受信メールサーバーのパスワードには、メールアカウントのパスワードを入力します。



メール着信ランプが点灯し、インターネットに接続して、サーバーに新着メールがないかチェックが行われます。

新着メールがあった場合は、らくらくメールBOXが開始して、以下のようにメールの受信が自動的に行われます。

なかった場合はメールチェックが終了して、E-mailボタンを押す前の状態に戻ります。

アドバイス

「パスワードの保存」をにすると

- ・2つのパスワードが保存され、次回からE-mailボタンを押すだけで新着メールのチェックが行われます。

この場合、らくらくメールBOXにメールアカウントのパスワードが入力してあると、E-mailボタンを押すだけでメールの受信まで自動的に行います。

- ・他人にメールを読まれたりする恐れがある場合は、「パスワードの保存」をにしておくことをお勧めします。

◆▶「E-mailボタンの機能の設定」(P.3-16)

3 「パスワード入力」ウィンドウが表示された場合は、メールアカウントのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

メールの受信が行われ、メール着信ランプが点滅します。

らくらくメールBOXを終了すると、メール着信ランプが消灯します。

【アドバイス】

新着メールがなくてもメール着信ランプが点滅する場合

・受信後もメールをサーバーに残すように設定していると、新着メールがなくてもメール着信ランプが点滅します。

・受信後にサーバーのメールを削除するには、らくらくメールBOXでは次のようにします。

「らくらくメールBOX」のウィンドウの左下の「設定」をクリックして、「設定」ウィンドウを表示します。

「通信」タブをクリックし、「受信完了後にサーバー側のメールを削除する」をクリックしてにします。

「OK」をクリックします。

他のメールソフトで受信するには

新着メールがあったとき、ご購入時の状態ではらくらくメールBOXで受信しますが、他のメールソフトで受信するように変更することもできます。

◆►「E-mailボタンの機能の設定」(P.3-16)

その他の機能とご使用上の注意事項

らくらくメールBOXでは、メールを書いて送る、受信して読む以外にも、各種の機能が用意されています。詳しくは、らくらくメールBOXのヘルプをご覧ください。

〔「返事を書く」〕

「メールを読む」モードで返事を書きたいメールを表示して、「返事を書く」をクリックすると、返信のメールが簡単に作成できます。

・返信のメールの宛先は、元のメールの差出人に自動的になります。

・返信のメールの題名は、「Re:.....」となり、「.....」の部分に元のメールの題名が引用されます。

・本文入力領域で右クリックして、表示されるメニューの「引用」をクリックすると、元のメールの全文が引用されます。

なお、「返事を書く」モードでは、メールの送り先を選び直すことはできません。また、アドレス一覧に人物を追加したり、登録内容を変更することはできません。

アドバイス

途中で止めても書きかけのメールはなくなりません

書いてる途中でも、「メールを読む」をクリックして、他のメールを見ることがあります。

らくらくメールBOXを終わらせても、書きかけのメールは残っています。次に開始したときに、続きを書くことができます。

メールの利用方法を変える

署名を付ける:通信相手に差出人が一目で分かるように、署名をつけることができます。

受信文・送信文の表示を変える:本文表示領域や入力領域の背景や、文字の色、フォントなどを変更できます。

このほか、引用文の先頭の記号を変えるなどの機能があります。

これらの機能の設定は、らくらくメールBOXの「設定」ボタンのクリックで表示される、「設定」ウィンドウで行います。

アドバイス

接続方法などを変更するときは

らくらくメールBOXの「設定」ウィンドウで行います。

- ・「ユーザー情報」タブ:メールの差出人に対する名前とメールアドレスを設定。
- ・「サーバー」タブ:送信メールサーバー名、受信メールサーバー名、メールアカウント名、メールアカウントのパスワードなどを設定。
- ・「接続」タブ:電話回線とLANのどちらで接続するかと、使用するインターネット接続(ダイヤルアップ接続)を設定。

ご使用上の注意事項

- ・メールを送受信した後に、すぐに送受信を行うとパスワードエラーとなることがあります。パスワードが正しいのにパスワードエラーが表示された場合は、しばらく時間をおいてから送受信を行ってください。

- ・メールの受信中に、「中止」をクリックした場合は、「設定」ウィンドウの「接続」タブで、「受信完了後にサーバー側のメールを削除する」をにしても、サーバー側のメールが削除されないことがあります。この場合、次の受信時には、新しいメールだけが受信されます。その次に受信するときに、中断時に削除されなかったメールが受信されます。

- ・メールの読み上げを実行する際に、他のプログラムでWAVEファイルなどを使用していると、音声が出ない場合があります。読み上げを行う場合は、他のアプリケーションでWAVEファイルを再生しないようにしてください。

- ・らくらくメールBOXがインストールされているハードディスクの容量が少ないと、メールを正しく送信・受信できない場合があります。送信・受信するメールの内容によって異なりますが、60MB程度のディスク容量は確保してください。
- ・http:やfile:など、特定のキーワードが本文に含まれている場合、色文字で下線付きで表示されます。この部分をクリックすると、関連するアプリケーションが開始します。
- ・mailto:には対応しておりません。mailto: というキーワードが色文字や下線付きで表示されている場合にクリックしても、らくらくメールBOXは動作しません。

E-mailボタンの機能の設定

本体前面のいちばん右にあるE-mailボタンを使うと、新しいメールがサー
バーに着いていないかのチェックや、メールの受信が簡単に行えます。
E-mailボタンなどワンタッチボタンの機能は、FM便利ツールで設定します。
また、ワンタッチボタンが有効なのは、FM便利ツールを開始して、タスクト
レイに  (FM便利ツール) が表示されているときだけです。

E-mailボタンのはたらきを変更する

E-mailボタンのはたらきを変更するときは、次の順に操作を行うことが必要
です。

FM便利ツールの「かんたんボタンの設定」機能で

メールのチェックや自動受信に、どのメールソフトを使うか
を設定します。



FM便利ツールの「おしゃてポストの設定」機能で

メールチェックに使用するダイヤルアップ接続(インタ
ネット接続設定)の名前とユーザー名とパスワード、またメ
ールサーバーに接続するときのパスワードなどを設定します。

「かんたんボタンの設定」機能で設定する内容

FM便利ツールの「簡単ボタンの設定」ウィンドウでは、以下の内容を設定しま
す。

- ・どのメールソフトで新着メールのチェックを行うかの設定
- ・新着メールがあったときに自動受信を行うかどうかの設定
- ・一時停止の状態(サスPENDかスタンバイと呼ばれる状態)や、Windows 98
を終了している状態でも、E-mailボタンを有効にするかどうかの設定

設定のしかたは  『本体&オプションガイド』の「ワンタッチボタンを使う」

「おしそてポストの設定」機能で設定する内容

メールのチェックに使用するメールソフトによって、設定内容が異なります。ここではらくらくメールBOXの場合を説明します。



「ダイヤルアップ」: メールチェックに使用するダイヤルアップ接続(インターネット接続設定)の名前を設定します。

らくらくメールBOXの「設定」ウィンドウの「接続」タブで設定しているダイヤルアップ接続の名前が、自動的に設定されます。変更することもできます。

「ユーザー名」: ダイヤルアップ接続のユーザー名を設定します。

「パスワード」: ダイヤルアップ接続のパスワードを設定します。

サーバー名: メールサーバー名が表示されます。

アカウント名: メールサーバーに接続するときのアカウント名が表示されます。

サーバー名()とアカウント名()は、らくらくメールBOXの「設定」ウィンドウの「サーバー」タブで設定しているものが、自動的に設定されます。変更できません。

パスワード: メールサーバーに接続するときのパスワードを設定します。

らくらくメールBOXの「設定」ウィンドウの「サーバー」タブでパスワードを設定していても、ここには設定されません。

■アドバイス

パスワードの設定

ダイヤルアップ接続のパスワード()とメールアカウントのパスワード()を両方設定しておくと、E-mailボタンを押すだけで新着メールのチェックが行われます。

さらに、らくらくメールBOXにメールアカウントのパスワードが入力してあると、E-mailボタンを押すだけでメールの受信まで自動的に行います。

他人にメールを読まれる恐れがある場合

「ダイヤルアップ接続のパスワード」は、ここでは設定せずにメールチェック時に入力することをお勧めします。

「おしえてポストの設定」ウィンドウの設定方法

1 「おしえてポストの設定」ウィンドウを表示します。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FM便利ツール」、「1.便利ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「3.おしえてポスト」をクリックします。

または、タスクトレイの (FM便利ツール)をクリックし、「お知らせ」ウィンドウの「FM便利ツールの設定」をクリックして、「おしえてポストの設定」をクリックします。

2 「メールソフト」タブをクリックします。

3 必要な設定を行って「OK」をクリックします。

■アドバイス

「おしえてポスト」のその他の機能

「おしえてポスト」には、以上で設定したメールソフトを使用して、指定した曜日や時刻に、新着メールがないかチェックしたり、メールを自動受信する機能があります。詳しくはヘルプをご覧ください。

ホームページを表示する

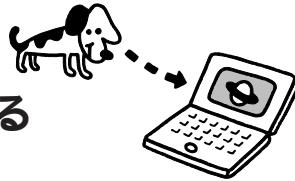
必要な情報を探すのに役立つのが、インターネット。
ホームページを上手に探して、知りたい情報をうまく入手しましょう。



この章では、次の内容を説明しています。

- ・ホームページの表示のしかた(▶ P.4-2)
- ・ホームページの探しかた(▶ P.4-8)
- ・ホームページの印刷のしかた(▶ P.4-12)
- ・インターネットに接続せずにホームページを見る方法
(▶ P.4-13)

ホームページを利用する



インターネットに接続する

ここまで設定作業を完了すると、Internet Explorerを利用してプロバイダに接続し、ホームページを見ることができます。

（インターネットに接続する操作方法）

1 デスクトップの (Internet Explorer) をクリックします。

本体前面のInternetボタンを押してもインターネットに接続できます。ご購入時の状態では、Internet Explorerが起動します。

Internetボタンの機能の設定 ⇒『本体 & オプションガイド』の『ワンタッチボタンを使う』

「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されます。

アドバイス

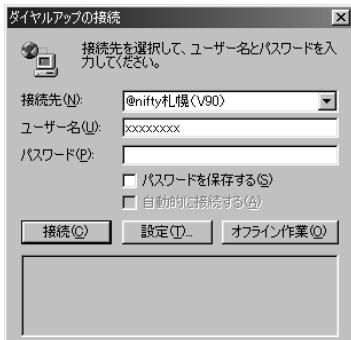
らくらくメールBOXを使用する場合

・ここでパスワードを入力し「パスワードを保存する」を にすると、らくらくメールBOXで直接インターネットに接続できるようになります。

ただしこの場合、Internet ExplorerやInternetボタンの操作で、パスワードの入力なしでインターネットに接続するようになります。

・他人にインターネットを利用される恐れがあるときは、パスワードを入力しないことをお勧めします。この場合、ダイヤルアップ接続を使ってインターネットに接続して、メールの送受信を行います。

ダイヤルアップ接続を使うには ⇒『「ダイヤルアップ接続で接続して送受信する方法』(P.2-36)



2 必要に応じて「パスワード」欄にパスワードを入力します。

@niftyを利用する場合は@niftyIDのパスワード、他のプロバイダの場合はインターネットアカウントのパスワードを入力します。

重 要

「パスワードを保存する」を選択すると

接続時に、自動的にユーザー名とパスワードが送られて接続してしまいます。接続操作が簡単になりますが、本人以外の誰でもインターネットに接続できてしまうので、大変危険です。

用語 URL

Uniform Resource Locatorの略。ホームページ固有のアドレスを「URL(ユアールエル)」という。

3 「接続」をクリックします。

「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが閉じ、しばらくすると接続が完了して、ホームページが表示されます。

4 (ホーム)をクリックします。

をクリックすると、Internet Explorerが最初に表示するホームページ(スタートページ)を表示します。

「はじめよう！インターネット(@nifty)」でオンラインサインアップを行った場合は、@niftyのホームページが表示されます。

このときアドレス欄には、現在表示されているページを特定するためのアドレスであるURL(たとえばhttp://www.nifty.com/)が表示されます。

アドレス欄  「Internet Explorerの各ボタンの働き」(P.4-6)

アドバイス

@niftyのホームページが表示されない

「お気に入り」メニューの「富士通お勧めのサイト」から「4.@niftyホームページ」をクリックすると表示できます。

表示中のページをスタートページにする

アドレス欄の  を  までドラッグして離すと、現在表示中のページをスタートページに変更できます。

（リンク先のホームページを表示させる）

ホームページの中には、クリックポイントでマウスポインタを移動させると
[]に変わる場所(下線や色のついた文字やボタンなど)があります。その位置でクリックすると、その文字などに関連付け(リンク)された別のホームページや同じページ内の別の部分が表示されます。

【アドバイス】

【ペンタッチでリンクの有無を確認】

下線の付いた場所などにタッチしたら、そのまま離さずに少し動かし、マウスポインタが[]に変わってからペンを離してください。

5 ホームページで、マウスポインタが[]に変わる箇所をクリックします。

クリックした箇所に、関連付けられた別のホームページが表示され、アドレス欄にURLが表示されます。

雑誌などで知ったURLを直接アドレス欄に入力し[Enter]を押しても、そのホームページを表示できます。

6 表示されたページで、マウスポインタが[]に変わる箇所をクリックします。

また、別のホームページが表示されます。

この操作で次々にリンクをたどっていくことができます。

【アドバイス】

【今まで表示してきたページを再度表示するには】

ツールバーの[]([戻る])をクリックします。[]([戻る])や[]([進む])をクリックすると、今まで表示してきたページを再度表示することができます。

【ホームページの文字が化けて表示されたときは】

ホームページの文字が正常に表示されず、無意味な記号や文字の羅列になっている場合は、ホームページの表示に使用する文字セットを切り替えます。

「表示」メニューの「エンコード」にある「日本語(自動選択)」が「日本語(Shift JIS)」か「日本語(EUC)」を選択してください。

（アドレスを指定してホームページを表示させる）

7 アドレス欄をクリックし、アドレスを半角英数字で入力し、[Enter]を押します。

【アドバイス】

【（チルダ）を入力するには】

「」は、半角英数モードで[Shift]を押しながら[]を押して入力します。

インターネットとの接続を切る

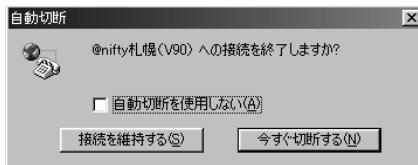
インターネットに接続中は、アクセスポイントまでの電話代や、従量制のプロバイダの場合、接続料金が加算されます。インターネットとの接続を切るときは、以下の操作を行います。

1 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックします。

Internet Explorerが終了し、「自動切断」ウィンドウが表示されます。

2 「今すぐ切断する」をクリックします。

インターネットとの接続が切れます。



アドバイス

「自動切断」ウィンドウが表示されないときは

タスクバーの をダブルクリックし、「...に接続」のウィンドウの「切断」をクリックします。

「自動切断を使用しない」を選択すると

Internet Explorerを終了しても「自動切断」ウィンドウが表示されず接続したままになります。またデータの送受信が20分以上なくとも切断が行われなくなります。

「自動切断」が表示されないときは

デスクトップの を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。「インターネットのプロパティ」ウィンドウの「接続」タブで、元に戻す「ダイヤルアップの設定」を選択して「設定」をクリックします。

「...設定」ウィンドウが表示されるので、「ダイヤルアップの設定」欄の「詳細」をクリックし、「ダイヤルアップの詳細」ウィンドウで「アイドル時間が...」と「接続が必要なく...」にチェックを付けます。

重要

ホームページの著作権を尊重する

インターネット上に掲載されている情報(画像、映像、音楽、文書などのデータ)の多くは、著作権法により保護されています。個人的に、あるいは家庭内で楽しむ場合を除き、権利者に無断で情報を配布することや、個人用のホームページなどに掲載することはできません。

ホームページの見かた

Internet Explorerのツールバーにある各ボタンを利用しましょう。

Internet Explorerの各ボタンの働き



以下の 検索ボタン～ 履歴ボタンをクリックすると、ホームページの左側に、それぞれの機能を実行するための領域(検索バーなど)が表示されます。

戻るボタン...一つ前のページを表示

進むボタン...一つあとのページを表示

中止ボタン...ページの読み込みを中止

更新ボタン...ページの読み込みをやり直す

ホームボタン...起動時の表示ページに戻る

検索ボタン...ホームページを検索

お気に入りボタン...「お気に入り」に登録されているページの一覧を表示

履歴ボタン...これまで表示したページの一覧を表示

メールボタン...メールの作業に移行

文字サイズボタン...ページの文字の大きさを変える

印刷ボタン...ホームページを印刷

編集ボタン...ホームページを編集

アドレス欄...URLを指定

URLのアイコン...これをドラッグすると履歴バーやデスクトップに、このページへのショートカットが登録できる

ホームページを見るための3つの機能

ホームページを見ていくときは、Internet Explorerの次の機能を利用するのが効率的です。

履歴機能

表示したページのタイトルは自動的に履歴の一覧に記録されます。

履歴ボタン()で履歴バーを表示して、ページタイトルの一覧から、見たいものを選ぶだけで表示できます。

履歴バーの「表示」や「検索」をクリックすると、履歴の表示順序を変更したり、タイトルなどにある言葉で検索することができます。

「お気に入り」機能

よく利用するページのタイトルは「お気に入り」の一覧に登録しておくと、一覧から選ぶだけで表示できます。

登録は、お気に入りボタン()でお気に入りバーを表示して、URLのアイコン()をお気に入りバーまでドラッグするだけです。

「お気に入り」の機能で、ホームページを保存して、接続していないときに表示することもできます。◆▶「ホームページの保存とオフラインでの見かた」(P.4-13)

検索機能

ホームページを、言葉などを手がかりに探す機能です。◆▶「ホームページを探す」(P.4-8)

ミニ
情報

Internet Explorerを活用する

ツールバーの表示を変える

「表示」メニューの「ツールバー」の「ユーザー設定」をクリックすると、「ツールバーの変更」ウィンドウが表示されます。



- 「利用できるツールバーボタン」と「現在のツールバーボタン」の欄で、ボタンの追加や削除、配置位置の変更が行えます。
- 「テキストのオプション」欄で、ボタンを説明する文字(「戻る」など)を表示するかどうかを選べます。
- 「アイコンのオプション」欄で、ボタンのアイコンの大きさが選べます。

ページの表示を最新のものにする

一度表示したページは、内容が変更されても、以前のものが表示されることがあります。最新の内容を表示するときは、(更新)をクリックします。



「戻る」ボタンをクリックしても戻れなくなる場合

リンクをクリックしたときに、新しいウィンドウが開いて、そこにリンク先のホームページが表示された場合は、「戻る」をクリックしても元のページに戻れません。

戻るときは、タスクバーにある元のウィンドウのボタンをクリックします。

必ず戻るページと分かっているときに簡単に戻るには

- あとで必ず戻るつもりのページ(A とします)で、次に表示したいリンク先を右クリックして、メニューから「新しいウィンドウを開く」を選びます。
- これでリンク先は別のウィンドウ(B とします)に表示されます。
- 以後は、B のウィンドウでリンクをたどって、見たいホームページを表示し、A に戻るときは、A のウィンドウをクリックします。

ホームページを探す

「こんなことを扱っているホームページが見たい」という場合には、「こんなこと」に関係する言葉(キーワード)を手がかりにホームページを探し出せます。検索バーや検索サービスのホームページで、キーワードを入力すれば、その言葉に関係するホームページがリストアップされます。日本国内だけでなく、海外の検索サービスも利用でき、インターネットの大量の情報の中から必要なものを探すのに役立ちます。

1 ツールバーの  (検索) をクリックします。

2 検索の手がかりにする言葉(キーワード)を入力します。

検索方法については、各検索サービスのホームページをご覧ください。

アドバイス

アンド検索とオア検索

2 つ以上の言葉を入力したときの検索方法には基本的に次の 2 つがあります。

- 複数の言葉の全部を含むページだけを表示する(アンド検索という)
- 複数の言葉のどれか 1 つでも含むページを表示する(オア検索という)

複数の言葉を半角スペースで区切って入力した場合、「infoNavigator」などではアンド検索になりますが、オア検索になる検索サービスもあります。

3 検索バーや検索サービスのホームページの「検索」など実行するボタンをクリックします。

入力したキーワードに関連するホームページの一覧が表示されるので、見たいものを選択します。

アドバイス

検索バーの検索結果の表示を前に戻す

検索結果が複数ページある場合に、前に表示した検索結果を再度表示したいときは、検索バー内を右クリックし、メニューの「前に戻る」をクリックします。

番号でホームページを呼び出す

ホームページごとに決められた、2桁から10桁の番号をURL欄に入力するだけで、そのホームページを表示できます。この番号をインターネット番号と呼びます。

利用方法

- 1 タスクバーに  (Hatch inside) がなければ、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」メニューから「Hatch inside」の「hatchinside.exe」を選択して起動します。
- 2 タスクバーの  をクリックし、表示されるメニューの「インターネット番号を有効」に ✓ が付いているか確認します。
- 3 Internet Explorerを起動して、インターネットに接続します。
URL欄をクリックして、インターネット番号を入力し  を押します。
これで、インターネット番号に対応したホームページが表示されます。

アドバイス

インターネット番号でホームページが表示できるのは

インターネットに接続しているときだけです。また、表示したいホームページが、インターネット番号を登録している場合だけ表示できます。

インターネット番号で呼び出せるホームページの例

アドレス	ページのタイトル	インターネット番号
http://www.fmworld.ne.jp	FM world	22
http://www.fujitsu.co.jp/	翻訳サーフィンの最新情報	299121
http://www.fujitsu.co.jp/	hypertext/softinfo/pr/ATLAI/	
http://www.mag2.com/	まぐまぐ	299053
http://www.yokohama-web.com/	Yokohama BaySide Wave	299054

アドバイス

ホームページに短縮番号を付けてこれで呼び出す

「Hatch inside」にはこのほかに、ホームページに2文字以上の番号や文字を自由に付けて登録し、その番号や文字でホームページを呼び出す機能もあります。操作方法はヘルプをご覧ください。

英語のホームページを日本語で見る

翻訳ソフト「翻訳サーフィン(ホームページ翻訳)」を使うと、英語で作られているホームページでも、日本語に翻訳した状態で見ることができます。

クリック操作だけで翻訳結果が見られる

「翻訳サーフィン」を開始しておくと、日本語で見たいホームページがあったときに、クリック操作だけで、翻訳結果を見るることができます。

「翻訳サーフィン」を開始するときは、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「翻訳サーフィン V6.0」の順にマウスポインタを合わせ、「ホームページ翻訳」をクリックします。

以下の画面が表示されるので、ボタンをクリックして操作します。

翻訳操作を行う画面



翻訳実行ボタン
翻訳を開始する
部分翻訳ボタン
ホームページの一部分を
翻訳する

環境設定ボタン
どのブラウザに連携するかや
翻訳の環境を設定する
訳文表示ボタン
訳文の表示方法を切り替える

ホームページの翻訳を行うときは、Internet Explorerで英語のホームページを表示しておいて、「翻訳実行」ボタンをクリックします。

翻訳結果は、別のウィンドウに表示されます。

訳文の表示方法を変えるなどの設定

「翻訳サーフィン」ウィンドウの各ボタンをクリックすると、以下の機能などが設定できます。

詳しくは、「翻訳サーフィン」のヘルプをご覧ください。

訳文の表示方法を切り替える

原文の下に訳文を表示したり、原文を訳文に置きかえて表示したりできます。

ページの一部分を選んで翻訳する

表示されているホームページの一部分を選択して翻訳することができます。

リンク先を自動的に翻訳するかを指定する

リンクをクリックして、リンク先が表示されたときに自動的に翻訳するように設定できます。

音声でホームページを読み上げて聞く

「おしゃべりホームページ」を使うと、ホームページの内容を、音声で聞くことができます。

開始しておくだけで読み上げが聴ける

「おしゃべりホームページ」を開始しておくと、Internet Explorerを開始したときや、ホームページの表示を切り替えたときに、自動的に読み上げが行われます。

「おしゃべりホームページ」を開始するときは、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「おしゃべりホームページ」の順にマウスポインタを合わせ、「おしゃべりホームページ」をクリックします。

以下の画面が表示されるので、ボタンをクリックして操作します。

読み上げ操作を行う画面



読み声を変えるなどの設定

「おしゃべりホームページ」ウィンドウの「設定」メニューをクリックし、「ユーザ設定」をクリックすると、以下のような設定ができます。

詳しくは、「おしゃべりホームページ」のヘルプをご覧ください。

読み上げる声の選択

声の種類(男性 / 女性)、声の大きさ、高さ、抑揚の強さを指定できます。

タイトルだけ読む、特定サイズのフォントだけ読む……

ホームページのレイアウトを指定しているHTMLタグに合わせて読み分けます。声の種類、大きさ、高さを変えて読み分けることもできます。

特別な言葉の登録

特別な読みかたをさせたい言葉や、うまく読み上げられない言葉を登録します。

ホームページを印刷する

本パソコンにプリンタを接続すれば、興味のあるホームページを見つけたときに、その場で印刷できます。

プリンタの接続方法は⇒『本体＆オプションガイド』の「プリンタを使う」

1 印刷したいホームページを表示する。

2 「ファイル」メニューで「印刷」をクリックする。

「印刷」ウィンドウが表示されます。

フレーム形式で表示されているホームページを印刷するときは、どの部分を印刷するか選べます。フレーム形式になっていないホームページでは、全体をひとまとめにして印刷します。



表示されたとおりに印刷する...ページを表示された状態で印刷します。

選択されたフレームのみを印刷する...選択されているフレームを印刷します。

すべてのフレームを個別に印刷する...ホームページを各フレームごとに分割して印刷します。

用語 フレーム

ホームページを作成する手法の一つ。一つのページを複数のフレームと呼ばれる領域に分け、各フレームごとに独立して、表示を切り替えられる。

アドバイス

選択したフレームのみ印刷したい場合は

印刷したいフレームの中で、画像やリンク先のマークのない所を右クリックし、メニューから「印刷」をクリックします。

- 3 「プリンタ名」の右の ▾ をクリックし、一覧からお使いのプリンタ名をクリックします。
- 4 必要に応じて、「印刷範囲」や「印刷部数」を入力します。
- 5 フレーム形式で表示されているホームページの場合は、「フレームの印刷」欄で、印刷方法をクリックして  にします。
- 6 「OK」をクリックします。
印刷が開始されます。

ホームページの保存とオフラインでの見かた

インターネットに接続したまままで、ホームページの内容を詳細に読んでいると、電話代や接続料金がかかります。興味のあるホームページを見つけた場合は、いったん電話回線を切断してから、その内容をじっくり読むようにすると、費用の節約になります。

◆ オフライン作業に切り替える ◆

- 1 タスクバーの  をダブルクリックし、「...に接続」のウィンドウを表示して「切断」をクリックします。
これで、インターネットとの接続は切断しました。
- 2 「ファイル」メニューの「オフライン作業」をクリックします。

アドバイス

オフライン作業とは

- ・「オフライン作業」に切り替えたあとも、画面には、それまで表示していたホームページが表示されます。
- インターネットに接続した状態でホームページを表示すると、そのデータが本パソコンに一時的に保存されます。
- ・実際にインターネット上でホームページを呼び出して表示するのではなく、この一時ファイルなど、本パソコンに保存されたページを表示することをオフライン作業といいます。

〔オフラインでホームページを見る方法〕

オフライン作業では、以下の機能を利用して、ホームページを表示します。いずれの場合も、ホームページは日々内容を変更していることが多いので、オフラインで見ているものが最新の内容とは限らないことに留意してください。

一時ファイル

インターネットに接続したときに一時ファイル(キャッシュといいます)に取り込んだ内容を、履歴バーでタイトルを選んで表示します。

ただしホームページによっては、その日のうちに履歴バーで選択できず表示できなくなる場合もあります。ずっと残しておきたいページはファイルとして保存する方が確実です。

「お気に入り」への登録

「お気に入り」に登録する際に、オフラインで利用することを選択すると、そのページの全体(本文や画像)をダウンロードできます。

見るのは、お気に入りの一覧から選んで表示します。

内容を最新のものにしたいときは、「同期」機能を使用すると簡単に行えます。

⇒「お気に入りに取り込んだページを見る」(P.4-16)

ファイルとして保存

ホームページの本文と画像をまとめて、一般のファイルとして保存します。

メールに添付するなど、自由に使用したり加工することができます。

⇒「ホームページをファイルに保存して見る」(P.4-17)

〔一時ファイルを利用して見る〕

表示できる・できないの区別は履歴バーで



オフライン状態のときに、履歴バーにはっきりと表示されているタイトルは、オフラインで表示できるページ。薄い表示になっているのが表示できないページ

履歴や一時ファイルが残っているのは

履歴が残っているのは標準の設定では、20日前のものまでです。それ以前のものは消去されます。

一時ファイルは最大保存容量(標準では156MB)を超えると古いものから削除されます。一時ファイルが残っていても表示できないページもあります。

アドバイス

履歴の保存期間や一時ファイルの最大保存容量を変えるには

一時ファイルの容量を
変えるときにクリック

履歴の保存日数

「インターネットプロパティ」ウィンドウの「全般」タブで設定します。このウィンドウは、デスクトップの  を右クリックし「プロパティ」を選んで表示します。

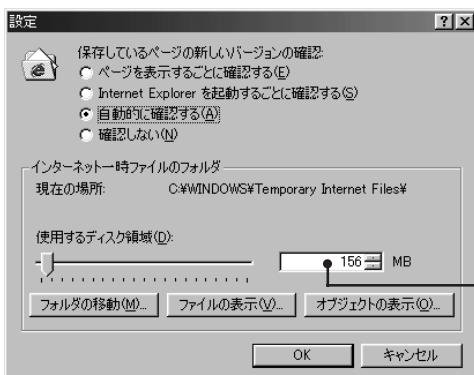
・保存期間を変える

「ページを履歴に保存する日数」の右の「20」を変更します。

・最大保存容量を変える

「インターネット一時ファイル」の「設定」をクリックして、「設定」ウィンドウ(下の画面)の「使用するディスク領域」を変更します。

一時ファイルの内容が更新されるのは

一時ファイルの最大保
存容量

ホームページの内容が新しくなっている場合には、インターネットに接続したときに、一時ファイルの内容が更新されます。更新は、上記の「設定」ウィンドウでの指定にしたがって、次のように行われます。

「ページを表示する...」:同じページでも表示するたびに最新のものに更新されます。

「Internet Explorer...」:何回か繰り返して表示した場合でも1回目に表示したときだけ更新されます。

「自動的に確認する」:必要性を自動的に判断して更新されます。

「確認しない」:ツールバーの更新ボタンをクリックしないと更新されません。

お気に入りに取り込んだページを見る

一時ファイルのように短期間に消えたりせず、また簡単に定期的に内容を更新できるのが、「お気に入り」機能を使う方法です。

お気に入りへの登録

登録したいページを表示して、「お気に入り」メニューの「お気に入りに追加」をクリックします。「お気に入りの追加」ウィンドウが表示されるので、「オフラインで利用する」をクリックしてにし、「OK」をクリックします。



保存するフォルダを指定するときは をクリックして を表示

これで、そのページのダウンロードが行われます。見るとときは、「お気に入り」メニューをクリックし、一覧からそのページを選択します。

アドバイス

リンク先のページまで取り込みたい

「お気に入りに追加」ウィンドウで、「カスタマイズ」をクリックして「お気に入りウィザード」を開始します。

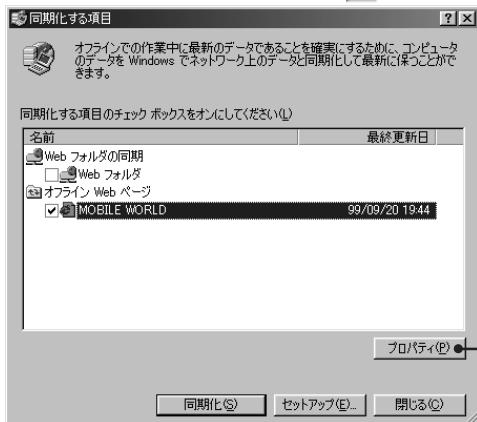
「次のページを設定します」のウィンドウで「はい」をにして、取り込むページのリンクの深さを設定します。



リンクの深さを 1 に
すると「お気に入り」
に追加するページに
ある URL のページま
で保存

内容の更新

お気に入りに追加したページの内容を更新するときは、「ツール」メニューの「同期」をクリックし、同期化する項目を にして、「同期化」をクリックします。



自動的に更新したいときは、ここをクリックしてスケジュールを設定

ホームページを表示する

ホームページをファイルに保存して見る

お気に入りのように、あまり頻繁に更新する必要がないページは、普通のファイルとして保存して見ることもできます。

ひとつのページは、テキストや画像などが、HTML形式の規則にしたがって組み合わされてできています。テキストや画像を別々に保存しても、ホームページは再現できません。次の2つの方法のどちらで保存しても、オフラインでホームページを再現できます。

ただし再現できるのは保存したページだけで、リンク先のページなどは再現できません。

ファイルへの保存

以下のどちらの方法でも、「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を選び、「Webページの保存」ウィンドウで保存を行います。



ホームページのファイル構成で保存

「ファイルの種類」の欄に「Web ページ、完全 (*.htm;*.html)」を選んで保存します。

この場合、そのページの本文は拡張子が「.htm」のファイルに、画像などは拡張子が「.files」のフォルダに保存されます。

見るのは、拡張子が「.htm」のファイルをクリックします。

アドバイス

本文と画像は同じ場所ないと表示できない

・「.....htm」ファイルと「.....files」フォルダの拡張子以外の名前(.....の部分)はまったく同じになります。

例:本文のファイルが「MOBILE WORLD.htm」なら、その画像のフォルダは「MOBILE WORLD.files」

・「.....htm」ファイルと「.....files」フォルダは、同じフォルダないとホームページが再現できません。

本文も画像も1ファイルにまとめて保存

「ファイルの種類」の欄に、「電子メールのための Web アーカイブ(*.mht)」を選んで保存します。こちらは、本文や画像などそのページのすべて要素が、1つのファイル(拡張子が「.mht」のファイル)にまとめて保存されます。

見るのは、拡張子が「.mht」のファイルをクリックします。ただし、この形式に対応したアプリケーション(Outlook Expressなど)が必要です。

ホームページの画像の保存

同じように画像であっても、本文中に位置づけられている画像と、本文の下にある背景の画像は、HTML形式では区別して扱われているので、保存の方法が異なります。



画像を保存する

保存したい画像をクリックポイントで右クリックして表示されるメニューの「名前を付けて画像を保存」を選んで行います。保存するファイルの種類は、その画像に合わせて「JPEG」ファイルか「GIF」ファイルになっていますが、「ピットマップ」ファイルでも保存できます。

背景の画像

ホームページの本文中の画像や、リンク先のマークのない所を右クリックして表示されるメニューの「名前を付けて背景を保存」を選んで行います。保存できるファイルの種類は、画像と同様です。

ホームページを活用する

ホームページのデータをアプリケーションの文書などに貼り付ける

ホームページに表示されている文章や画像は、ドラッグ＆ドロップで簡単に、アプリケーションの文書などに貼り付けることができます。
ただし画像の場合は、貼り付ける文書が、ワードパッドの文書のように画像の貼り付けに対応していることが必要です。

- 1 あらかじめ、貼り付けるワードパッドなどの文書を開いておきます。
- 2 文章の場合は、貼り付けたい範囲を選択して、反転状態にします。
- 3 貼り付けたい文章か画像を、タスクバーのアプリケーションのボタンへドラッグして少し待ちます。
- 4 アプリケーションのウィンドウが表示されるので、貼り付けたい箇所で上ボタンを離します。

ホームページの必要な範囲を印刷する

ホームページの全体ではなく、文章や画像など必要な範囲を選択して印刷することができます。

- 1 印刷したい範囲を選択して、反転状態にします。
- 2 反転した範囲内で画像やリンク先のマークがない箇所を右クリックして、表示されるメニューの「印刷」をクリックします。
- 3 「印刷」ウィンドウの「印刷範囲」で、「選択した部分」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。

ホームページを早く見るのは(画像の表示をOFF)

回線が混雑していたりすると、大きな画像のあるホームページは、表示に時間がかかります。画像やアニメーションを表示しないようにすると、ページを早く表示できます。

- 1 Internet Explorerの「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックします。
- 2 「インターネットオプション」ウィンドウの「詳細設定」タブをクリックします。
- 3 「マルチメディア」という項目グループの中の「画像を表示する」、「アニメーションを再生する」、「ビデオを再生する」、「サウンドを再生する」をクリックして にします。

第 5 章

CCD カメラを楽しむ

付属のCCD カメラで、いつでも写真やビデオが撮影できます。
撮った写真やビデオをメールで送るのも簡単です。



この章では、次の内容を説明しています。

- ・ CCD カメラで写真やビデオを撮る方法(\Rightarrow P.5-3)
- ・ 撮った写真やビデオの利用方法(\Rightarrow P.5-5、P.5-8)

CCD カメラを使う

本パソコンには、CCD カメラが付属しています。(親指シフトキーボードモデルではCCD カメラは別売です。)

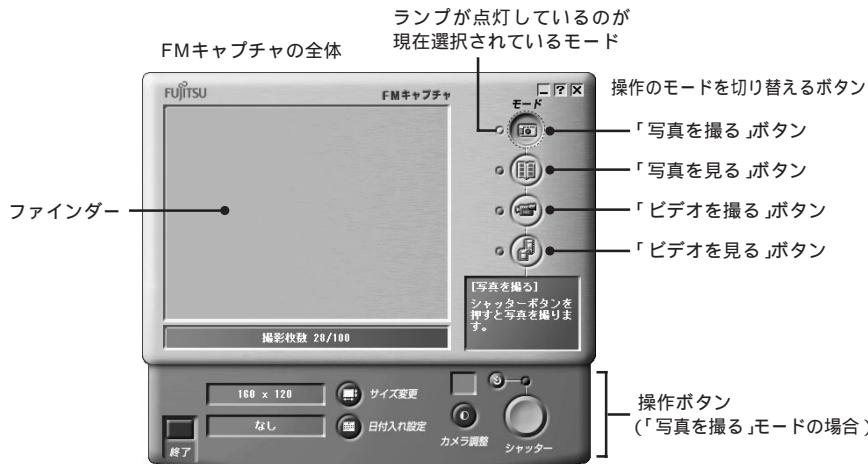
CCD カメラでは、連続して 100 枚までの写真を撮ることや、連続して 60 秒までの動画を撮影することができます。

撮影した画像データは、連携するアプリケーションを使って、メールに添付したり、編集や加工をしたりできます。

CCD カメラの操作には、「FM キャプチャ」というアプリケーションを使用します。

FM キャプチャを使う

FM キャプチャには、次の 4 つの操作モードがあります。やりたいことに合わせて、モードを切り替えて使います。



[写真を撮る] モード

写真を撮影します。

[写真を見る] モード

- 撮った写真を 1 枚ずつファインダー上で見ることができます。
- 「らくらくメールBOX」を呼び出して、写真の画像データを添付したメールを送信できます。

- ・「はーときゃんぱす」を呼び出して、写真の上に手書きの絵や文字などを付け加えたりできます。
- ・「らくらく写真館」を呼び出して、撮影した写真全体を整理したり、色を補正したり、アルバムなどにしたりできます。

[ビデオを撮る]モード

ビデオを撮影します。内蔵マイクで音声も録音できます。

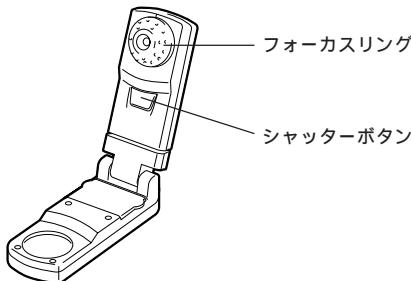
[ビデオを見る]モード

- ・撮影したビデオを再生します。
- ・「らくらくメールBOX」を呼び出して、動画を添付したメールを送信することができます。

写真やビデオを撮影する

写真是連続で100枚まで、ビデオは連続で60秒まで撮影できます。

CCDカメラで写真やビデオを撮影するときは次のように操作します。



1 CCDカメラを本パソコンに接続します。

接続方法 ◆▶『本体＆オプションガイド』の「CCDカメラを接続する」

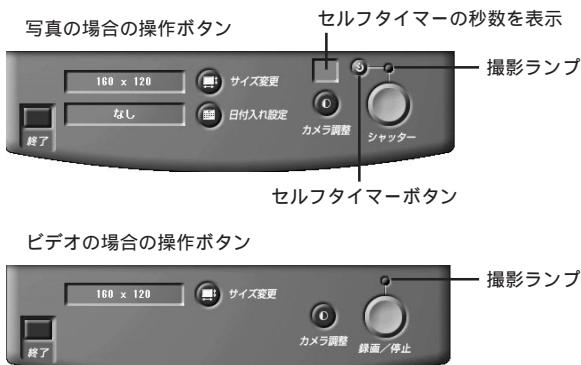
2 FMキャプチャを開始します。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「FMキャプチャ」の順にマウスポイントを合わせ、「1.FMキャプチャ」をクリックします。

本体前面のAボタンを押しても、FMキャプチャを開始できます。

3 写真かビデオを撮るモードにします。

写真の場合は「写真を撮る」ボタン、ビデオの場合は「ビデオを撮る」ボタンをクリックします。



4 画像サイズなどを設定します。

「サイズ変更」、「日付入れ設定」(写真の場合だけ)、「カメラ調整」のボタンで設定を行います。

カメラ調整の方法 ⇒ 「写真やビデオの画質の調整」(P.5-9)

5 カメラを被写体に向け、ピントを合わせます。

フォーカスリングを左に回すと近くに、右に回すと遠くにピントが合います。

6 撮影します。

カメラの場合

「シャッター」のボタンをクリックします。CCDカメラのシャッターボタンや、Aボタンを押しても撮影できます。

ビデオの場合

「録画 / 停止」のボタンをクリックします。CCDカメラのシャッターボタンや、Aボタンを押しても撮影を開始します。撮影を開始すると、撮影ランプが点灯します。

停止するときは、「録画 / 停止」のボタンをクリックするか、CCDカメラのシャッターボタンや、Aボタンを押します。

アドバイス

撮影したビデオ画像は

- 撮影したビデオ画像は保存できません。
- ビデオ撮影を開始すると、録画済のビデオはすべて消去されます。継ぎ足して撮影することはできません。

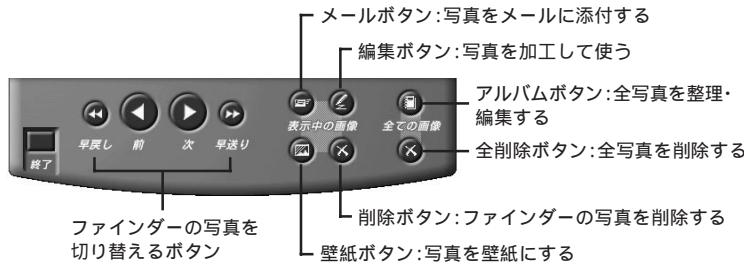
ビデオ撮影時の録音について

- ・ビデオ撮影時の録音音量の設定、および録音する項目については、『本体＆オプションガイド』の「録音時の音量設定」をご覧ください。
- ・内蔵マイクから録音する場合、音源との距離や方向によっては音が拾いにくい場合があります。クリアな音声で録音したい場合には、外付けマイクを使用されることをお勧めします。

撮った写真を活用する

撮った写真を見たり、加工したりするときは、「写真を見る」ボタンをクリックして、写真を見るモードに切り替えます。

写真を見るモードの操作ボタン



アドバイス

編集ボタンやアルバムボタンが使えない場合は

これらのボタンをクリックしたときに開始するアプリケーションが、インストールされていません。

「はーときやんぱす」または「らくらく写真館」をインストールしてください。

（画像データをメールに添付して送る）

写真の画像データを添付したメールを作って、送ります。

送りたい写真をファインダーに表示します。

メールボタンをクリックします。

連携するメールソフト「らくらくメールBOX」が開始して、画像データを添付したメールが書ける状態になります。

メールを作成し、送信します。

アドバイス

連携して開始するメールソフトを変更できます

- ・ご購入時の状態では、「らくらくメールBOX」が連携して開始します。
- ・変更するときは、FM便利ツールの「かんたんボタンの設定」でE-mailボタンに設定してあるメールソフトを選択し直します。
操作方法 ◆►『本体＆オプションガイド』の「ワンタッチボタンを使う」
- ・E-mailボタンに設定してあるメールソフトを変更すると、以下のアプリケーションと連携して開始するメールソフトも、同じものに切り替わります。
 - 「はーときゃんばす」
 - 「らくらく写真館」

画像を加工する

CCDカメラで撮影した画像データを利用して、手書きでメッセージを書いたり、スタンプやイラストを加えるなど、自由に加工できます。

加工して利用したい写真をファインダーに表示します。

編集ボタンをクリックします。

「...CCDカメラをお使いですか？」と表示されたら、「いいえ」をクリックします。

「はーときゃんばす」が開始して、画像データを背景画像として読み込んだ状態になります。

「はーときゃんばす」を使って自由に画像を加工します。

画像の上に、手書きで絵や文字をいろいろな色のペンや筆で描くことができます。あらかじめ用意されているスタンプやイラストも利用できます。詳しくは、「はーときゃんばす」のヘルプをご覧ください。

加工した画像を必要に応じて保存します。

加工した画像をメールで送りたいときは、「メール」ボタンをクリックします。「らくらくメールBOX」が開始して、加工した画像データを添付したメールが書ける状態になります。そのままメールを書いて送ることができます。

画像をあとで利用するときは、「保存」ボタンをクリックして、画像データを保存してください。

連携して開始するメールソフトについて ◆►「連携して開始するメールソフトを変更できます（P.5-6）

アドバイス

CCDカメラの画像データは残っています

「はーときゃんばす」でCCDカメラから読み込んだ画像を加工しても、撮影したときの画像データは、元のままで残っています。

写真を整理・編集する

これまでに撮った写真を整理して、アルバムなどに加工できます。

「アルバム」のボタンをクリックします。

撮影済みのすべての画像データが、マイドキュメントフォルダにある「私の写真」フォルダにコピーされます。それらの写真の一覧を表示した状態で、「らくらく写真館」の「PhotoManager」が開始します。

らくらく写真館で、写真の整理や編集・加工を行ないます。

不要な写真を削除したり、ぼかしなど写真に特殊な補正を行ったり、アルバム、シール、カレンダーにするなど、らくらく写真館の豊富な機能をご利用ください。詳細は、らくらく写真館のヘルプをご覧ください。

アドバイス

撮影したときの画像データは残っています

写真の整理や編集を行っても、撮影したときの画像データは、元のままで残っています。不要な写真の画像データは、削除ボタンで削除してください。

「PhotoManager」の「画像出力」メニューの「メールで送信」をクリックすると、「らくらくメールBOX」が開始します。選択した画像データを添付したメールが書ける状態になります。そのままメールを書いて送ることができます。連携して開始するメールソフトについて ◆▶「連携して開始するメールソフトを変更できます」(P.5-6)

写真を壁紙にする

ファインダーに表示されている画像は、次の操作で、デスクトップの壁紙になります。

壁紙に利用したい写真をファインダーに表示します。

壁紙ボタンをクリックします。

「現在表示している写真を壁紙にします。...」と表示されたら、「はい」をクリックします。

これで、写真が壁紙として画面の中央に表示されます。

この操作で壁紙にした壁紙データには、「FMキャプチャ.bmp」というファイル名が自動的に付けられて保存されます。

アドバイス

壁紙を変更するときは

- デスクトップのなにもないところを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、「画面のプロパティ」ウィンドウを表示します。

- 「背景」タブの「壁紙」の欄で、利用する画像ファイルを選択して、「OK」をクリックします。

- すでにFMキャプチャで壁紙にしたデータがある場合は、新たに写真を壁紙にする操作を行うと、前にFMキャプチャで壁紙にしたデータは失われます。

写真を削除する

ファインダーに表示されている画像だけを削除するときは、削除ボタンをクリックします。

撮影済みの写真全部を削除するときは、全削除ボタンをクリックします。

アドバイス

写真で遊ぶ...パーティグッズ

パーティグッズ[†] Facematch[†]を利用すると、CCDカメラで撮った男女の顔から、二人の相性の良さ・悪さが点数表示されます。ベストカップルやワーストカップルも表示されます。詳しくはヘルプをご覧ください。

ビデオを見たりメールで送る

撮ったビデオを見たり、メールで送るときは、「ビデオを見る」ボタンをクリックして、ビデオを見るモードに切り替えます。



削除ボタンをクリックすると、撮影した全てのシーンが削除されます。いったん削除すると元に戻せないので、気を付けてください。

ビデオをメールで送る

次のように、ビデオの動画データを添付したメールが簡単に作れます。

「メール設定」ボタンをクリックします。



メールに添付する動画ファイルの形式を選びます。

「MPEG1形式 (画質優先)」か「FJV形式 (圧縮率優先)」のいずれかをクリックします。ご購入時の状態では、FJV形式が選択されています。

アドバイス**FJV形式とMPEG1形式**

- FJVは富士通独自の形式です。ファイルサイズをMPEG1形式の約1/3に圧縮できますが、画像が荒くなります。
- MPEG1はビデオCDで一般的に使われている形式です。画質は鮮明ですがファイルサイズが大きくなります。

FJV形式のビデオを初めて送る相手には

ビデオを再生するのに、FJV VideoPlayerが必要です。

「メール設定」ウィンドウの「送る」ボタンをクリックすると、「SetupVP.exe」(FJV VideoPlayerをインストールするプログラム)が添付されたメールが「らくらくメールBOX」で作成されます。ビデオを添付したメールを送る前に、「FJV VideoPlayer」を添付したメールを送ってください。

受信相手がFJV形式のビデオを見るときは

添付ファイルで送られた「SetupVP.exe」をクリックして実行すると、FJV VideoPlayerがインストールされ、ビデオが見られる状態になります。

メールボタンをクリックします。

連携するメールソフト「らくらくメールBOX」が開始し、動画データを添付したメールを作成中の状態になります。

メールを作成し、送信してください。

写真やビデオの画質の調整

写真を撮るモードやビデオを撮るモードでは、以下のように画質を調整できます。

写真の画質の設定

写真の画質を、最高画質～低画質の4段階から選択できます。画質を高くした場合は、ファイルサイズが大きくなります。

操作は、写真を撮るモードやビデオを撮るモードで、カメラ調整ボタンをクリックして、以下の「カメラ調整」ウィンドウで行います。



クリックするたびに次のように切り替わる
高画質(75 %)

中画質(60 %)

低画質(50 %)

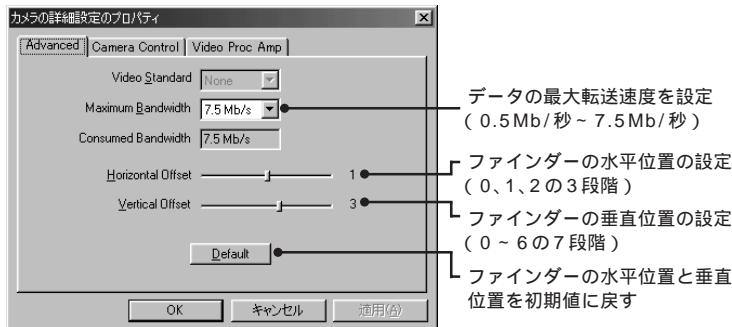
最高画質(100 %)

高画質(75 %)

■ 画質の詳細設定

「カメラ調整」ウィンドウの「開く」をクリックすると、以下のように画質の詳細設定が行えます。ただしご購入時には、最適な画質が得られるようにあらかじめ設定されています。設定を変更せずに使用されることをお勧めします。

Advancedタブ



アドバイス

Maximum Bandwidth 値を変更後に元に戻すには

元の値を設定して、「カメラの詳細設定のプロパティ」ウィンドウの「OK」をクリックします。このあとFMキャプチャを再起動すると、元に戻した設定値が有効になります。

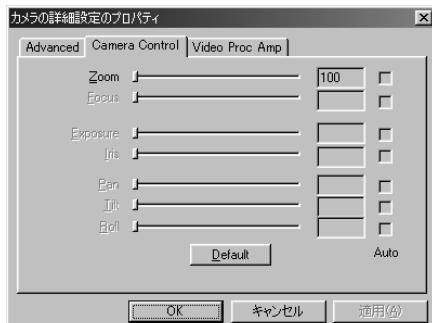
ファインダーの位置の設定で黒い線が出る

ファインダーの水平位置と垂直位置の設定によって、画面上に黒い線が表示されることがあります。この場合「Default」をクリックして、設定を初期値に戻してください。

Camera Controlタブ

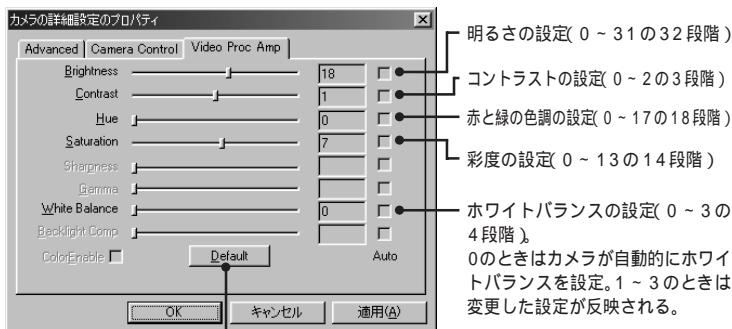
この画面の項目は調整しないでください。

Zoom値を変更した場合は、「Default」をクリックして元に戻してください。



Video Proc Amp タブ

写真やビデオの明るさ・コントラストなどを設定します。



FMキャプチャをご利用時の留意事項

FMキャプチャを使用しているときは

- FMキャプチャを使用するときは、画面の発色数を「High Color(16ビット)」に設定することをお勧めします。
- CCDカメラを本体や接続ケーブルから抜かないでください。
- FMキャプチャを使用しているときは、一時停止状態(スタンバイ、サスペンションともいいます)や休止状態にはなりません。

操作パネルのボタンについて

- 写真を撮るモードおよびビデオを撮るモードで、操作パネルのボタンを続けて押すときは、2秒以上待ってから次のボタンを押してください。続けて押すと、画面が乱れことがあります。

写真やビデオの撮影について

- ハードディスクの空き容量がなくなると、写真やビデオが撮影できなくなります。
- 写真やビデオを撮影するときに、ファインダーの映像が実際より少し遅れて表示されることがあります。
- FMキャプチャのファインダーには、常に320×240ドットのサイズで表示されます。

日付や時刻を入れる場合

- 日付や時刻の書式は、「コントロールパネル」ウィンドウの「地域」で設定します。

- ・「カメラ調整」ウィンドウで、「写真の画質」を「最高画質」にすることをお勧めします。画質を低くすると、日付や時刻の文字が不鮮明になります。
- ・日付や時刻の文字の大きさや色は変更できません。

連携して開始するメールソフトについて

FMキャプチャと連携して開始するメールソフトには、FM便利ツールの「かんたんボタンの設定」でE-mailボタンに設定してあるメールソフトを使用します。

FM便利ツールをアンインストールしている場合は、らくらくメールBOXを使用します。

らくらくメールBOXをアンインストールしている場合は、MAPI対応のメールソフト(Outlook Expressなど)があれば、それを使用します。ただしメールソフト側で、MAPIを使用できる状態にしてあることが必要です。

用語 MAPI

Messaging Application Interfaceの略。メッセージを扱うアプリケーションと一般的なアプリケーションが、Windows上でデータをやり取りするための規則。

壁紙について

ファインダーの画像をデスクトップの壁紙データにするだけです。壁紙は画面の中央に表示されます。

ビデオをメールに添付する場合

- ・FJV VideoPlayerの動作環境に適合しないパソコンをお使いの人に送る場合は、MPEG1形式で送ってください。ただし、送信先に、MPEG1形式のビデオプレーヤーが必要です。
- ・送り先にDirectX 6.1以上がインストールされていない場合は、FJV VideoPlayerは使用できません。
- ・連携して開始するメールソフトを変更した場合、メールを送信できないことがあります。
- ・詳しくは、ヘルプをご覧ください。

他のアプリケーションからFMキャプチャを開始した場合

FMキャプチャを開始していないときは、「はーときゃんばす」など他のアプリケーションからFMキャプチャを開始できます。CCDカメラで撮影した画像データを「はーときゃんばす」などで利用できます。

FMキャプチャが他のアプリケーションから開始されたときは、シャッターボタンを押して撮影するか、キャンセルする操作だけ行えます。

撮影後にはFMキャプチャが終了し、「はーときゃんばす」などのアプリケーションに戻ります。

他のパソコンと データを交換する

本パソコンを携帯してご使用になると、
行く先々で他のパソコンとデータをやりとりする場面があるかも知れません。
ここでは、本パソコンと他のパソコンとで
データをやりとりする方法を説明します。



この章では、次の内容を説明しています。

- Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする
(▶ P.6-2)
- Intellisync以外の方法でパソコンとデータをやりとりする
(▶ P.6-9)

Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする



会社や自宅で使っているパソコンで作成したデータを本パソコンに転送したり、反対に本パソコンで加工したデータを他のパソコンに転送したりできます。

本パソコンには、他のパソコンと直接データをやりとりするアプリケーションとして、Intellisync^{インテリシンク}がインストールされています。ここでは、Intellisyncを使えるようにするための準備と設定について説明します。Intellisyncの操作方法について詳しくは、Intellisyncのマニュアルをご覧ください。

Intellisync以外の方法でのデータのやりとりについては、「Intellisync以外の方法でパソコンとデータをやりとりする（◆◆P.6-9）」にまとめて紹介しています。

Intellisyncの使用に必要なハードウェア

Intellisyncを使うには、本パソコンと他のパソコンがデータをやりとりできるように、「IRコマンダ」などの赤外線デバイスや、ケーブルを用意します。ケーブルを使う場合は、パラレル接続とシリアル接続とで、使用するケーブルが違います。

重 要

赤外線通信ポートで通信するときは

以下の点にご注意ください。

- ・データの通信中に、本パソコンや赤外線デバイスを動かすと、データ転送に失敗することがあります。
- ・本パソコンをバッテリで使用しているときは、本パソコンと赤外線デバイスとの距離を、離しすぎないようにしてください。
- ・次のような場合、うまく通信できないことがあります。
 - * 互いの赤外線通信ポートが真正面に向き合っていないとき
 - * 互いの赤外線通信ポートが離れすぎていたり、間に遮蔽物があるとき
 - * ACアダプタや、CRTディスプレイなどの外部ディスプレイが赤外線通信ポートの近くにあるとき
 - * テレビ、ラジオなどのリモコンや、ワイヤレスヘッドホンが近くで動作しているとき
 - * 赤外線通信ポートに、直射日光や蛍光燈、白熱灯などの強い光があたっているとき

用語 赤外線デバイス

ケーブルを使わずに、コンピュータ間でデータをやりとりするための装置。本パソコンには、赤外線デバイスとして赤外線通信ポートが内蔵されている。

用語 パラレル接続

同時に複数のビットを並列して送受信する接続方法。PC/AT互換機では、特にパラレルコネクタによる接続方法のことをいう。プリンタにデータを送る場合は、パラレル接続によって行われる場合が多い。

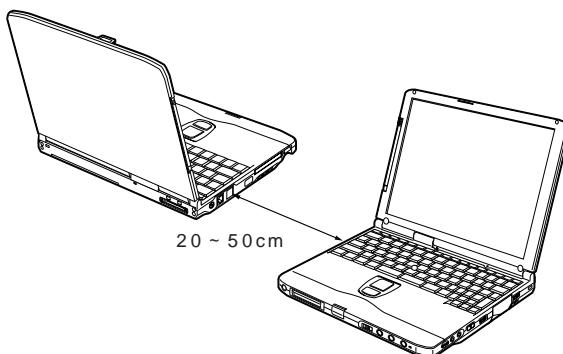
用語 シリアル接続

データを1ビットずつ順番に送受信する接続方法。PC/AT互換機では、特にシリアルコネクタによる接続方法のことをいう。インターネットやパソコン通信など、モデムやTA(ターミナルアダプタ)を使った通信も、シリアル接続によって行われる。

他のFMV-BIBLOと赤外線通信ポートで通信する場合

FMV-BIBLOどうしでIntellisyncを使用して通信する場合には、特にケーブルやハードウェアを用意する必要はありません。

赤外線通信ポート(本パソコンでは左側面)どうしがまっすぐに向き合うように置いてください。赤外線通信ポート間の距離は、20~50cmでお使いください。



赤外線通信ポートが左側面にある場合の通信図

デスクトップパソコンと赤外線通信ポートで通信する場合

デスクトップパソコンに「IRコマンダ」などの赤外線デバイスを接続して、使用できるように設定しておく必要があります。

赤外線デバイスを購入するときは、あらかじめ、デスクトップパソコンとの接続方法や、シリアルコネクタのピン数を確認しておき、接続に必要なケーブル(「RS-232Cケーブル(ストレート)」など)も忘れずに購入してください。

通信時は、本パソコンの赤外線通信ポートが、デスクトップパソコンに接続された赤外線デバイスと向き合うように設置してください。赤外線通信ポートと赤外線デバイスの間の距離は、20~50cmでお使いください。

〔パラレルケーブルで接続して通信する場合〕

「パラレルケーブル(クロス)」など、コンピュータ直結ケーブルをご用意ください。また、接続するパソコンのパラレルコネクタのピン数も、必ず確認してください(本パソコンは、D-SUB 25pinです)。

接続するときは、本パソコンにコネクタボックスを取り付けて、互いのパラレルコネクタどうしを、用意したケーブルでつなぎます。パラレルコネクタは、「LPTポート」と呼ばれることがあります。

〔アドバイス〕

パラレルコネクタの位置は

『本体 & オプションガイド』の「コネクタボックスを使う」をご覧ください。

〔シリアルケーブルで接続して通信する場合〕

「RS-232Cケーブル(クロス)」など、コンピュータ直結ケーブルをご用意ください。また、接続するパソコンのシリアルコネクタのピン数も、必ず確認してください(本パソコンは、D-SUB 9pinです)。

接続するときは、本パソコンにコネクタボックスを取り付けて、互いのシリアルコネクタどうしを、用意したケーブルでつなぎます。シリアルコネクタは、「COMポート」または「RS-232Cポート」と呼ばれることがあります。

〔アドバイス〕

シリアルコネクタの位置は

『本体 & オプションガイド』の「コネクタボックスを使う」をご覧ください。

標準モード(IrDA)で赤外線通信を行うときは

本パソコンのご購入時の設定では、赤外線通信ポートは「高速モード(Fast IR)」で動作するように設定されています。高速モードに対応していない赤外線デバイスと通信を行うときは、あらかじめBIOSセットアップの設定を変更してから、Intellisyncを起動して接続の設定を行ってください。

高速モード対応のFMV-BIBLOどうしで通信するときや、シリアル接続やパラレル接続で通信する場合には、BIOSセットアップの設定を変更する必要はありません。

〔重要〕

BIOSセットアップの設定を変更するときは

本パソコンを再起動します。操作を行う前に、作業中のデータを保存して、使用中のアプリケーションを終了してください。

「IR コマンダ」などの赤外線デバイスと通信するときの設定

BIOSセットアップを起動して、「詳細」メニューの「シリアル／パラレルポート設定」で、「赤外線通信ポート」の各設定を次のように変更してください。

赤外線通信ポート…「使用する」になっているか確認します。

モード…「IrDA」に設定します。

BIOSセットアップの起動方法や、設定のしかたについては、『本体＆オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する(BIOSセットアップ)」をご覧ください。

重要

「IR コマンダ」などで通信したあとは

「高速モード」で通信するように、設定を元に戻してください。BIOSセットアップを起動して、「詳細」メニューの「シリアル／パラレルポート設定」で、「赤外線通信ポート」の各設定を変更してください。ご購入時は次のようにになっています。

モード…「FIR」

I/Oアドレス…「2E8-2EF」

割り込み番号…「IRQ3」

I/Oアドレス…「118-11F」

DMAチャンネル…「DMA3」

データ転送が行えるように設定する

ここでは、Intellisyncを開始してから、Intellisyncで通信をするための初期設定をします。Intellisyncでのデータ転送の操作については、Intellisyncのヘルプをご覧ください。

なお、Intellisyncでデータのやりとりを行うには、相手のパソコンにもIntellisyncがインストールされている必要があります。

相手のパソコンにIntellisyncをインストールする場合は  「Intellisyncの制限事項」(P.6-8)

確認

Windows98のハードウェアウィザードで「赤外線デバイス」をインストールしているときは
Intellisyncを使用する前に、Windows98が赤外線通信ポートを使用しないように、設定を変更する必要があります。

「コントロールパネル」ウィンドウの  (赤外線モニタ)をクリックして「赤外線モニタ」ウィンドウで「オプション」タブをクリックし、「赤外線通信を使用可能にする」が になっていることを確認します。

になっているときはクリックして にします。

●接続の設定をする●

- 1 通信をする2台のパソコンをケーブルで接続するか、赤外線通信を行える位置にセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「Intellisync」の順にマウスポインタを合わせ、「Intellisync エージェント」をクリックします。

「はじめにIntellisync」ウィンドウが表示されます。

- 3 「OK」をクリックします。

「Intellisync」ランチャーが表示されます。



- 4  (接続設定マネージャ)をクリックします。

「はじめに-接続設定マネージャ」ウィンドウが表示されます。

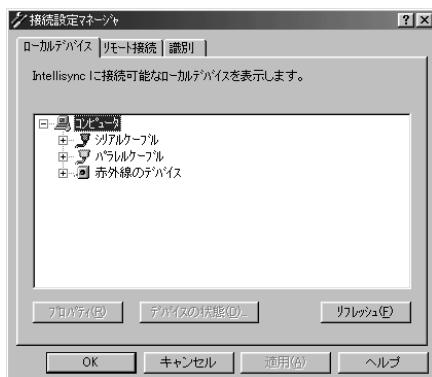
【アドバイス】

「Intellisync使用許諾同意書」ウィンドウが表示されたら

「承諾する」をクリックしてください。

- 5 「閉じる」をクリックします。

「接続設定マネージャ」ウィンドウが表示されます。



赤外線通信の場合は、手順8で確認する「接続を可能にする」が になつていれば、接続したことを示す音がして、通信できるようになります。ファイル転送やシンク機能をご利用ください。

- 6 「識別」タブをクリックし、自分のコンピュータの通信時の名前を確認して、必要であれば変更します。**

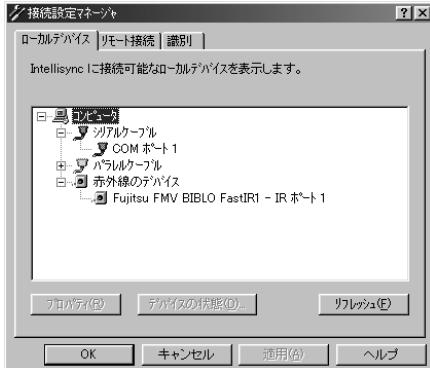
2台のパソコンが同じ名前だと、通信できません。

- 7 「ローカルデバイス」タブをクリックし、使用するデバイスとポートをダブルクリックします。**

シリアル接続の場合は、「シリアルケーブル」をダブルクリックし、「COMポート1」をダブルクリックします。

パラレル接続の場合は、「パラレルケーブル」をダブルクリックし、「LPTポート1」をダブルクリックします。

赤外線通信の場合は、「赤外線のデバイス」をダブルクリックし、「Fujitsu FMV BIBLO FastIR 1-IR ポート1」をダブルクリックします。



選択した各ポートの「ポートのプロパティ」が表示されます。

- 8 「接続を可能にする」をクリックして  にします。**

シリアル接続の場合、2台のパソコンで同じ転送速度に設定する必要があります。

「IRコマンド」など外部に接続した赤外線デバイスを使う場合は、「IR ウィザード」をクリックして赤外線通信の設定を行うことが必要です。



9 設定を変更した場合は「OK」、設定を変更しなかった場合は、「キャンセル」をクリックします。

「接続設定マネージャ」ウィンドウに戻ります。

先頭に青信号が表示されているポートは接続されています。

10 送受信相手のパソコンの設定をします。

以上の手順2~9の操作を、送受信相手のパソコンで行います。

接続できたら、ファイル転送やシンク機能をご利用ください。

「接続設定マネージャ」ウィンドウの「リモート接続」タブをクリックすると接続しているパソコンの名前や状態を確認できます。

Intellisyncの制限事項

Intellisyncには、次の制限事項があります。ご使用になる前に、確認してください。

- Windows 98を終了させる前に、必ずIntellisyncを終了させてください。
- データの通信中に、赤外線デバイスをふさいだりして、通信エラーが発生した場合は、いったんIntellisyncを終了させ、Windowsを終了して、MAINスイッチをOFFにしてください。そのままお使いになると、正常に通信できないことがあります。
- Intellisyncのシンク機能では、全角のファイル名は指定しないでください。全角文字が含まれたファイルを指定すると、正しく動作しません。
- 赤外線通信の相手先のパソコンが4Mbpsモードでの通信をサポートしていない場合、Intellisyncは自動的に通信モードを切り替えます。それでも正常に通信できない場合は、本パソコンの通信モードを115Kbps以下に変更してください。

アドバイス

転送速度について

本パソコンは、Intellisyncを搭載しており、最大4Mbpsの速度で通信できます。転送速度は、通信相手のパソコンにより異なります。

- TranXit2.0などの115Kbpsのパソコンと通信する場合
自動的に115Kbpsモードで接続されます。
- Intellisyncなどの4Mbpsのパソコンと通信する場合
自動的に4Mbpsモードで接続されます。

他のパソコンでのIntellisyncの一時的な使用

ファイル転送を行う場合、次の方法でIntellisyncを他のパソコンにインストールして一時的に使用することができます。

- 「プログラム」メニューの「Intellisync」の「マイクディスク」を選択すると、インストール用のフロッピーディスク(6枚)が作成できます。
- 「アプリケーションCD」からインストールできます。



Intellisync以外の方法で パソコンとデータをやりとりする

インテリシンク

Intellisync以外の方法で、パソコンとデータをやりとりすることもできます。

ここでは、それらの方法について簡単に紹介します。

（フロッピーディスクなどを使う）

本パソコンにフロッピーディスクユニットを接続して、データやファイルをフロッピーディスクにコピーして保存すれば、別のパソコンとのデータのやりとりが簡単にできます。大量のデータをやりとりする場合には、別売のSCSIカード(PCカード)を取り付け、MO(光磁気ディスクドライブ)などを接続することもできます。

（インターネットやパソコン通信を利用する）

インターネットやパソコン通信も、パソコンとのデータ交換のツールとして利用できます。

テキスト形式のデータなら、インターネットやパソコン通信の電子メールにして自分宛に送り、別のパソコンで受信すれば、データのやりとりができます。プログラムや画像などのバイナリ形式のデータをやりとりするには、ファイルをメールに添付して、自分のメールアドレス宛に送ります。

用語 バイナリ形式

テキスト形式でないデータ形式を総称して「バイナリ形式」という。通常の電子メールでは、テキスト形式のデータをやりとりしており、バイナリ形式のデータはそのままでは読み取ることができない。プログラムや画像データの他、ワープロで作成したデータや、圧縮ソフトで圧縮されたファイルもバイナリ形式になっている。

（LANに接続する）

本パソコンを会社などのLANに接続すると、LAN上のパソコンどうしが、お互いを外付けのハードディスクドライブのように認識して、簡単にファイルのコピーや移動ができるようになります。ただし、LANに接続するためには、利用するLANの種類に応じたPCカードが必要になります。また、PCカードの設定方法もLANの種類や形態によって異なります。LANに接続する前に、LANの管理をしている人(ネットワーク管理者)に相談してください。

用語 LAN

Local Area Networkの略で「ラン」と読む。パソコンに限らず、同じ建物やフロアにある何台ものコンピュータを接続してネットワークを構成し、ファイルやプリンタなどを共有できるようにする仕組み。

アプリケーションを使う

本パソコンには、電源を入れるとすぐに使える
便利なアプリケーションがたくさん内蔵されています。
ここでは、これらのアプリケーションの機能と使いかたを紹介します。



この章では、次の内容を説明しています。

- ・アプリケーションのご紹介(**⇒ P.7-2**)
- ・地図で目的の場所を探す(**⇒ P.7-7**)
- ・目的地への乗り継ぎと運賃を調べる(**⇒ P.7-11**)
- ・コンピュータウイルスを検査し除去する(**VirusScan**) (**⇒ P.7-16**)
- ・10円メール(携帯電話専用)を使う(**⇒ P.7-22**)
- ・アプリケーションのインストールと削除(**⇒ P.7-28**)
- ・はじめよう！インターネット(**@nifty**)の再インストール
(**⇒ P.7-33**)



アプリケーションのご紹介

本パソコンでは、たくさんの便利なアプリケーションをご利用になれます。ここでは、その中から主なアプリケーションをご紹介します。

インターネット エクスプローラ Internet Explorer

インターネットのホームページを表示するためのアプリケーションです。

..▶「ホームページを表示する」(P.4-1)

らくらくメールBOX

簡単な操作で、気軽にメールをやり取りするためのアプリケーションです。

..▶「Eメールを利用する」(P.3-1)

アウトルック エクスプレス Outlook Express

メールを送受信したりニュースグループを利用したりするためのアプリケーションです。

操作方法はヘルプをご覧ください。

FM手帳

個人の情報管理を行うアプリケーションです。カレンダーや手帳に書くように簡単に予定が書き込めます。予定は、時間の決まったもの、未定のもの、やるべき作業(ToDo)を区別して書き込み、月・週・日単位で自由に確認できます。住所録のデータを使ってホームページを見たり、メールの送受信を行うなど、インターネットを利用するのにも役立ちます。

操作方法は添付のマニュアルかヘルプをご覧ください。

メモリダイアルリンク

USBコネクタに接続した携帯電話の電話帳を編集できます。

操作方法はヘルプをご覧ください。

10円メールマスター

NTTドコモのデジタル携帯電話による電子メールサービス「10円メール」の専用アプリケーションです。簡単な操作でインターネットの電子メールが利用できます。

..▶「10円メール(携帯電話専用)を使う」(P.7-22)

はじめよう！インターネット(@nifty)

アット・ニフティ

インターネットを利用するため、パソコンを使って@nifty(プロバイダ)と契約するためのアプリケーションです。

..▶「@nifty(プロバイダ)でインターネットを利用する」(P.2-14)

翻訳サーフィン

英語のホームページを日本語に翻訳するアプリケーションです。

⇒「英語のホームページを日本語で見る (P.4-10)

おしゃべりホームページ

ブラウザに表示したホームページを音声で読み上げるアプリケーションです。

⇒「音声でホームページを読み上げて聞く (P.4-11)

ハッティンサイド

Hatch inside

インターネットのホームページに簡単に接続するためのアプリケーションです。電話をかけるときのように数字をブラウザのURL欄に入力するだけで、ホームページが表示できます。

操作方法はヘルプをご覧ください。

FMキャプチャ

本パソコンに付属のCCDカメラで写真(静止画像)やビデオ(動画像と音声)を撮影するためのアプリケーションです。

⇒「CCDカメラを使う (P.5-2)

パーティグッズ : Facematch

パーティなどを楽しく盛り上げてくれるアプリケーションです。CCDカメラで撮った男女の顔から、二人の相性の良さ・悪さが点数表示されます。ベストカップルやワーストカップルも表示されます。

操作方法はヘルプをご覧ください。

Jet-Audio Player

WAVE形式などの音楽データを再生できます。

操作方法は、PDFマニュアルをご覧ください。

PDFマニュアルを見るには、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「Jet-Audio Player」の順にマウスポインタを合わせ、「Jet-Audio Manual」をクリックします。

PDFマニュアルの見かたは ⇒「PDFマニュアルの使いかた (P.7-6)

はーときゃんばす

カラフルな文字や絵を手書きで描いたり、CCDカメラで撮った画像などの上に文字や絵を描き足すことができます。描いた作品は、簡単な操作でメールに添付して送ることができます。

操作方法はヘルプをご覧ください。

らくらく写真館

写真の画像データを編集したり加工するアプリケーションです。

写真の使う部分だけをハート型などの形に取り出したり、色調を変えたり、ぼかしたりなど、写真を自由に加工できます。また、画像データを使って、アルバムやカード、カレンダー、さらに名刺やシールなどを作成できます。

操作方法はヘルプをご覧ください。

インテリシンク Intellisync

他のパソコンとデータをやりとりするためのアプリケーションです。
⇒「Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする（P.6-9）」

乗換案内

目的地までの電車の経路や運賃を調べるためのアプリケーションです。
⇒「目的地への乗り継ぎと運賃を調べる（P.7-11）」

FM便利ツール

パソコンに思いがけないトラブルが起こるのを防いだり、操作を手伝ってくれてパソコンを使いやすくするアプリケーションです。

おもな機能は次のとおりです。詳しくはヘルプをご覧ください。

FM-Menu 一覧画面からクリックするだけでアプリケーションを起動します。

あんしんパソコン 表示されるアイコンや操作できるキーなどを制限します。他の人が間違った操作をしても、困ったことにならないようにできます。

かんたんボタン キーを押すだけでブラウザやメールソフトを起動します。

おしえてポスト 指定した時間間隔や指定時刻に自分宛のメールがないうかチェックし、あれば受信します。

みはって！回線 インターネットに接続して電話回線を長く使っていると、お知らせします。

かんたんマウス ダブルクリックの操作をやりやすくします。

ずーっと画面 操作をしなくとも、画面が暗くならないように、スクリーンセーバが働かないようにします。

おしらせディスク ハードディスクの空き容量が少なくなると警告を出します。

おりこうフロッピー Windowsの終了時にフロッピーディスクなどを出し忘れていないかチェックします。

お楽しみツール 15 パズルや神経衰弱のゲームなどが行えます。

Virtual CD 2

CD-ROM ドライブがなくても CD-ROM を実行できる仮想ドライブです。仮想 CD-ROM の作成には CD-ROM ドライブ(別売)が必要です。

詳しくは、PDFマニュアルをご覧ください。

PDFマニュアルを見るには、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「Virtual CD」の順にマウスポインタを合わせ、「Virtual CD 2 マニュアル」をクリックします。

PDFマニュアルの見かたは ⇒「PDFマニュアルの使いかた（P.7-6）」



FMかんたんバックアップ/データ

FMかんたんバックアップ/インターネット設定

ハードディスク内にあるデータやインターネットに接続するときの設定(ユーザー名やパスワード)をコピーして予備を作成します。

バックアップできるデータは、ご購入時に本パソコンにインストールされているアプリケーションのデータです。バックアップ先は、内蔵または外付けのハードディスクです。

操作方法はヘルプをご覧ください。

FMモバイルスイッチャー

自宅、会社、出張先など通信するための設定が異なる場合に、状況に合わせて通信環境を切り替え、インターネットや社内LANなどに接続できるようにするアプリケーションです。

⇒「FMモバイルスイッチャーで通信設定を切り替える(P.2-29)

メモ帳

テキストデータを作成したり、表示するためのアプリケーションです。

タッチおじさんメール

Eメールを作成したり送受信するためのアプリケーションです。茶目っ気たっぷりのタッチおじさんが、メールを配達してくれ、ときには笑えるハプニングもあったりする、使って楽しいメールソフトです。

サンリオアクセサリー

キャラクター「キティ」をあしらったアクセサリソフトです。「キティ」がパソコンのデスクトップ上をトコトコ歩き回る「デスクトップマスコット」。指定した時間に鳴る目覚し時計の「アナログ時計」。インターネットに接続しているときに、メールを受信していないかチェックする「メール着信チェック」があります。

GAMEPACK 2001

トランプゲームの7並べ、ばばぬき、神経衰弱などや、はさみ将棋、五目並べ、花札のこいこい、麻雀、エアーホッケーなど、19種類のゲームを収録しています。

柿木将棋

パソコンと本格的な対局ができる将棋のゲームソフトです。終了後には、棋譜を1手ずつ再現できます。詰め将棋の問題を出すと、柿木将棋がそれを解いて解答します。

操作方法はヘルプをご覧ください。

ウィルススキャン VirusScan

本パソコンがコンピュータウィルスに感染していないかチェックし、感染していればウィルスを除去するアプリケーションです。

⇒「コンピュータウィルスを検査し除去する(VirusScan)(P.7-16)

学研統合電子辞書

国語・和英・英和・漢和の4つの辞書をハードディスクに収録しています。

調べたい用語を入力して検索する、通常の使い方のほかに、辞書本文内で言葉をダブルクリックすると、すぐにその言葉の説明が表示されます。次々と言葉をたどりながら見ていくこともできます。

操作方法はヘルプをご覧ください。

アドバイザー
FM Adviser

FMV診断

FM Adviserは本パソコンにインストールされているドライバやアプリケーションをチェックし、誤った設定がされていれば警告を出します。

FMV診断は、本パソコンに異常がないか検査し、検査結果を表示します。

操作方法はヘルプをご覧ください。

ゼンリン電子地図

ゼンリン電子地図では、住所・電話番号・郵便番号や目的地の名称などを元に、探している場所を表示させることができます。

◆▶ 地図で目的の場所を探す(P.7-7)

メロディリンク()

本パソコンでオリジナルの着信メロディを作成したり、携帯電話に登録されているオリジナルの着信音を本パソコンに保存しておくことができます。

インター poc()

インターネット上に自分の土地を持ち、不思議な木を育てるゲームです。同じように木を育てている人たちと交流を持ったりもできます。

ご購入時はインストールされていません。アプリケーションCDからインストールしてください。

◆▶ アプリケーションをインストールする(P.7-28)

アドバイス

PDFマニュアルの使いかた

PDFマニュアルは、パソコンの画面上で見るマニュアルです。見るにはAcrobat Readerというアプリケーションを使います。

見たいPDFマニュアルを開きます。

初めてPDFマニュアルを開いたときは、「ファイル...が見つかりません。...」というエラーメッセージが表示されますが、「OK」をクリックします。

「ソフトウェア使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

「同意する」をクリックします。

PDFマニュアルが表示されます。

操作方法は、Acrobat Readerのヘルプをご覧ください。



地図で目的の場所を探す

ゼンリン電子地図を使う

「ゼンリン電子地図」を使うと、住所・施設名、郵便番号といった情報をもとに目的の場所を地図で探すことができます。

● 基本的な使いかた ●

ゼンリン電子地図を使って、目的の場所を探してみましょう。

1 ゼンリン電子地図を開始します。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「ゼンリン電子地図」にマウスポイントを合わせ、「ゼンリン電子地図帳Z」をクリックします。

2 「住所」をクリックし、表示された項目から該当する地域・地名を選んで順番にクリックします。

ここでは、上野公園付近を表示させてみます。「関東地方」をクリックし、そのあと表示された地域からそれぞれ「東京都」「台東区」「上野公園」をクリックして選択します。



選んだ住所の周辺が表示されます。



アドバイス

住所以外から探すこともできます

住所から直接探す以外に、「電話番号」「郵便番号」「施設」からも地図を検索できます。それぞれ該当するタブをクリックし、探している地域・施設が含まれる項目を順番にクリックしていきます。

目的の場所から特定の施設を探したいときは

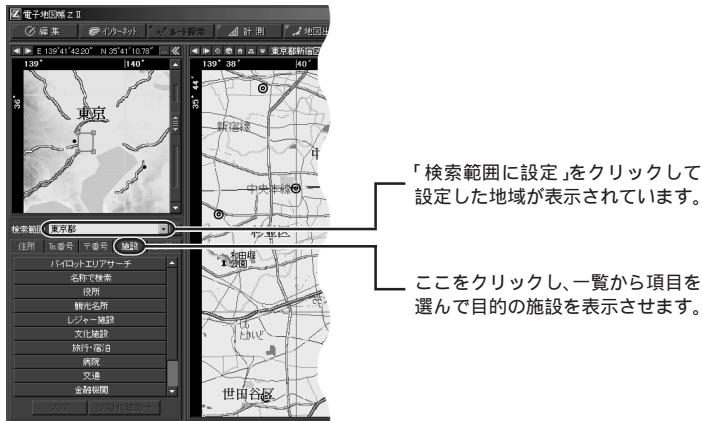
「自分の家の近くにある図書館はどこか」「出張先の宿泊地を探したい」など、地域を限定し、そこから目的の場所を選びたいときは、「施設」のタブを利用すると便利です。

ここでは、東京にある動物園を探してみます。

- 1 「住所」タブから探したい地域(ここでは、「関東地方」「東京都」)を選んだあと、画面下の「検索範囲に設定」をクリックします。
- 2 「検索範囲」の欄に選んだ地域が表示されているのを確認し、「施設」をクリックします。

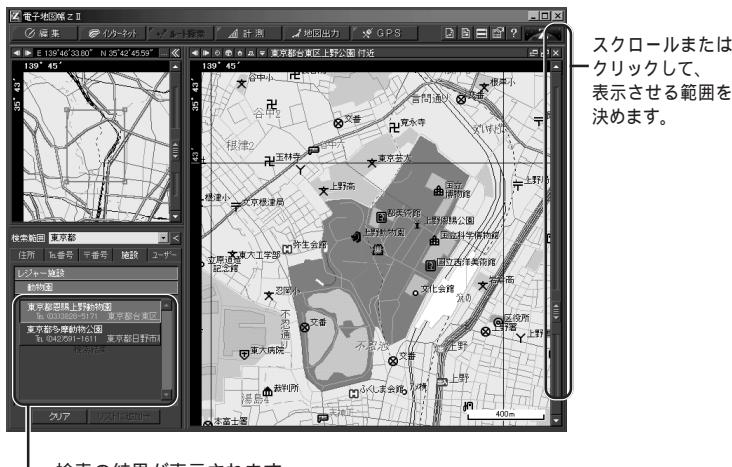
3 探している施設のジャンルをクリックします。

ここでは「レジャー施設」「動物園」を順番にクリックします。



4 表示された一覧から目的の場所を選んでクリックします。

目的地の周辺が表示されます。



表示された地図を印刷する

印刷したい地図が表示されていることを確認したら、「地図出力」をクリックし、「全選択」をクリックします。

印刷される範囲にピンク色の網がかかったことを確認したら、「印刷」をクリックし、「印刷開始」をクリックします。

〔地図に手を加える〕

目的の地図が表示されている状態で、「編集」をクリックします。

地図にアイコンを貼ったり、文字や図形を書き込むためのボタンが表示されるので、それぞれクリックして地図に手を加えることができます。

詳しくはPDFマニュアルをご覧ください。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「ゼンリン電子地図」「オンラインマニュアル」にマウスポインタを合わせてクリックすると表示されます。

〔その他の機能や注意事項について〕

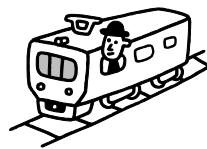
ゼンリン電子地図では、この他にも便利な機能がいろいろと用意されています。

詳しくは、PDFマニュアルをご覧ください。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「ゼンリン電子地図」「オンラインマニュアル」にマウスポインタを合わせてクリックすると表示されます。



目的地への乗り継ぎと運賃を調べる



「乗換案内」を使うと、行きたい場所に交通機関を使ってどうやったら行けるかが簡単に調べられます。

基本的な使いかた

乗換案内を使って、目的地への経路を調べてみましょう。

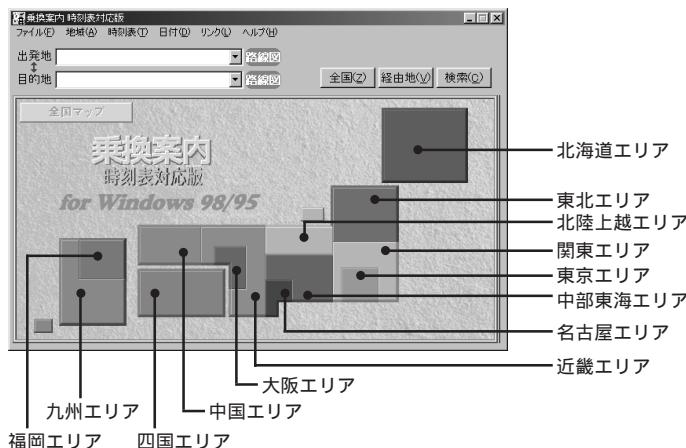
1 乗換案内を開始します。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「乗換案内」にマウスポインタを合わせ、「乗換案内時刻表対応版」をクリックします。

2 どのエリアで調べるかを選びます。

以下のエリアの1つをクリックします。

開始時の画面



選んだエリアの路線図が表示されます。

3 「出発地」と「目的地」の欄に駅名を入力します。

入力する欄をクリックします。その後路線図上の駅をクリックするか、キーボードで入力します。

見たい路線図を表示するには、地図をドラッグしたりスクロールバーを使ってスクロールします。

駅名入力画面



アドバイス

半角英字だと駅名の一部の入力だけで済む

キーボードから入力するときは、半角英字にすると駅名を全部入力しなくて済みます。入力中に、それまで入力した文字を含む駅名が一覧表示されるので、そこから選べます。

簡単に駅名を見つける

出発地と目的地が同じエリアになかったり路線図上で離れ過ぎていて駅を見つけてにくいときは、簡易マップを使うと楽に駅名を入力できます。

エリアを選んでから「地域」メニューの「簡易マップへ」をクリックし、調べたい駅のある地域をクリックして選びます。

路線名が表示されるので、そこから駅名を選びます。

4 「検索」をクリックします。

4通りまでの検索結果が表示されます。各経路に付いたアイコンを参考に、どの経路にするか検討できます。

検索結果画面



検索結果の画面では、各種の情報を切り替えて表示したり、印刷したり、またファイルやクリップボードに出力したりできます。

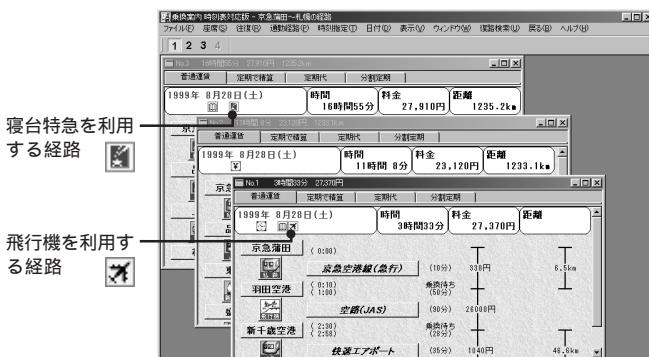
検索結果の見かた

検索結果画面には、最初は以下のように普通運賃のタブが表示されます。タブの部分をクリックすると、以下の表示に切り替わります。

「定期で精算」: あらかじめ の「定期代」タブで登録した定期を使った場合の精算料金を表示。

「定期代」: 通勤定期の1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月の料金を表示。

「分割定期」: JRで区間を分けて定期を買ったほうが安くなる場合の定期代を表示。



その他の使いかた

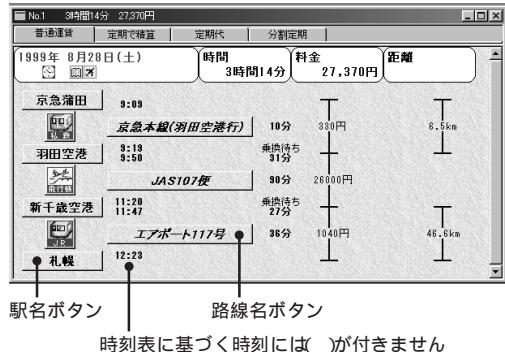
「乗換案内」には、このほかにもさまざまな機能があります。詳しくは、ヘルプまたはPDFマニュアルをご覧ください。PDFマニュアルを見るには、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「乗換案内」の順にマウスポインタを合わせ、「乗換案内マニュアル(PDF)」をクリックします。

PDFマニュアルの見かたは $\cdots \blacktriangleright$ 「PDFマニュアルの使いかた (P.7-6)

検索結果画面での便利な使いかた

「乗換案内」には多くの駅や空路の時刻表が入っています。検索結果画面では約束の時間までに着くにはいつ出発したらよいかを正確に調べたり、出発時刻から、目的地に到着する時刻を調べたりできます。

駅名ボタンをクリックして、札幌駅への到着時刻を指定した場合の画面のみかた



駅名ボタンで表示するメニューでは

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 出発・到着の時刻指定(①) | ▶ 出発時刻か到着時刻を指定して検索する |
| 接続時刻表(②) | ▶ 上下の交通機関の時刻表を表示。乗る列車、便を選ぶ |
| 周辺図の表示(③) | ▶ ゼンリン電子地図で周辺の図を表示 |
| Visual ホテルガイド(④) | |
| 宿泊情報の表示(⑤) | ▶ インターネットで宿泊情報の確認や予約を行う |

路線名ボタンで表示するメニューでは

- | | |
|------------|--------------------------|
| 時刻表の表示(①) | ▶ この路線の時刻表を表示。乗る列車や便を選べる |
| 乗車列車の調整(②) | ▶ 前後の列車や便に変更する |
| 路線の入れ替え(③) | ▶ 他の路線に変更する |
| 空席照会(④) | ▶ インターネットで空席の照会や予約を行う |

このほか、その日に適用される特急料金や臨時便ダイヤを使って調べたい場合は、「日付」メニューで日付を設定して検索し直すことができます。

駅からの自宅や会社までの時間も考慮する

あらかじめ自宅など最終目的地から駅までの所要時間を登録しておくと、出発地や目的地に、その地点を選ぶだけで、全体の所要時間が計算されます。登録できる地点(ポイントと呼びます)は10地点までです。1地点につき最寄の駅が3つまで登録できるので、どの駅を利用したらよいかを決める参考になります。

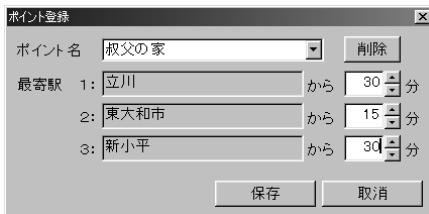
ポイントの登録方法

自宅など登録するポイントがある地域の簡易マップを表示します。

「ファイル」メニューの「ポイント登録」をクリックします。

ポイント名、最寄り駅の駅名、最寄駅からの所要時間を入力します。

最寄り駅は、簡易マップで地域を選択し、「ブロック検索」ウィンドウで駅名をクリックして入力します。キーボードからは入力できません。



「保存」をクリックします。

ポイントの利用方法

出発地や目的地を指定するときに、簡易マップを利用して、自宅などのポイントを入力することができます。

簡易マップ上で、そのポイントがある地域を選択すると、主要ターミナル欄にその地域のポイント名が表示されるので、クリックして入力します。

時刻表を見る

(時刻表は、平成11年10月1日現在のものです)

「乗換案内」に入っている時刻表を、自由に見たり、印刷したりファイルに出力したりできます。このとき、時刻表として市販されている本のスタイルか、駅に掲示されているスタイルかを切り替えることもできます。

時刻表を見るときは、「時刻表」メニューの「閲覧」をクリックします。



コンピュータウィルスを検査し除去する(VirusScan)

「VirusScan」は、コンピュータウィルスを発見し除去するためのアプリケーションです。

用語 コンピュータウィルス

コンピュータに侵入して、異常動作を引き起こすプログラム。ウィルスに侵入されることを「感染」という。

ウィルスは、フロッピーディスクなどの外部媒体やパソコン通信・インターネットからデータを読み込んだときに侵入することが多い。

VirusScanの働き

VirusScanは、本パソコンのドライブや接続したドライブがウィルスに感染していないか検査し、感染していた場合は、通知や除去など、必要な処置を行います。

■ ウィルス検査には2つの方法がある

VirusScanでは、次の2つの方法でウィルスの検査が行えます。

- 指示したときに実行されるウィルス検査

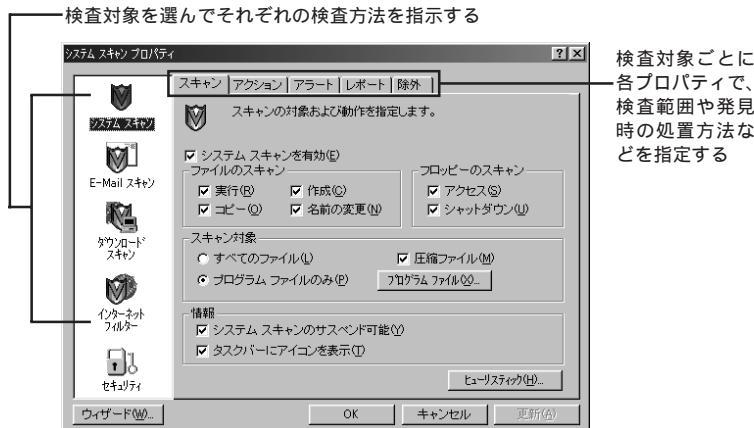
検査したいと思ったときに、実行を指示して行うもの。これをオンデマンドスキャン、随時実行するウィルス検査と呼びます。

- 常にウィルスの侵入を監視する検査

ブイシールド
VShieldというプログラム(モジュール)が本パソコンに常駐して、ファイルへのアクセスがあったときに自動的に検査を行うもの。これをオンアクセススキャン、常時監視のウィルス検査と呼びます。

常時監視では、Eメールの添付ファイルやインターネットからダウンロードしたファイルに対して検査を行ったり、ホームページのJAVAアプレットやActiveXコントロールからの感染を防ぐこともできます。

VShieldは次のウィンドウで検査のしかたを設定します。



ウィルスの検査と除去のしかた

随时実行するウィルス検査は次のように行います。

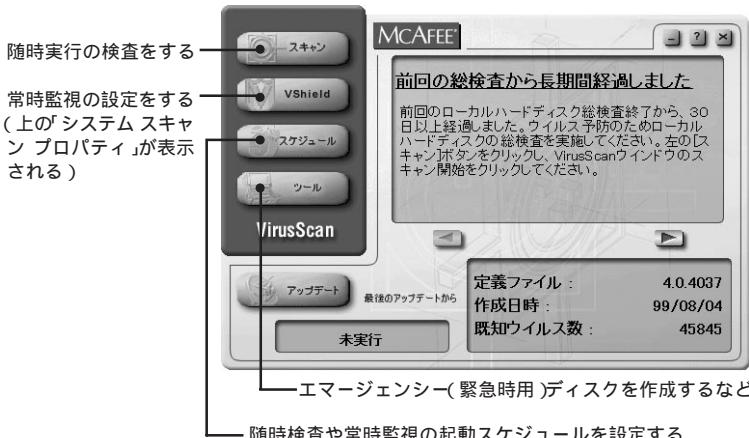
- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「McAfee VirusScan」の順にマウスポインタを合わせ、「McAfee VirusScan セントラル」をクリックします。

VirusScan セントラルのウィンドウが表示されます。

- 2 「スキャン」のボタンをクリックします。

「ようこそ……」のウィンドウが表示されたときは、「OK」をクリックします。

検査のしかたを設定するウィンドウが表示されます。



3 設定が必要なタブをクリックして次の設定行います。

スキャン…ウィルス検査の対象の設定。

アクション…発見されたときの処置方法の設定。

内容は…▶「ウィルス発見時の処置方法の設定 (P.7-19)

アラート…発見されたときの警告方法の設定。

レポート…検査の記録(ログ)の要・不要の設定。

除外…検査から除外するファイルなどの設定。



アドバイス

他のドライブも検査したいとき

「スキャン」タブの「追加」をクリックして、「追加スキャン項目」ウィンドウを表示します。そこで「スキャン対象」をクリックすると、「すべてのハードディスク」などが選択でき、「ドライブまたはフォルダ」をクリックすると、個々のドライブやフォルダが選択できます。

マクロウィルスも検査するとき

「スキャン」タブの「ヒューリスティック」をクリックして、ヒューリスティックスキャンを有効にし、検査の範囲を設定してください。

4 以上のタブの設定が終了したら「スキャン開始」をクリックします。

検査が行われ、発見されなければ「感染している項目はありません」と表示されます。

発見された場合は、ウィンドウ下部に感染ファイル名や、ウィルス名などが表示され、手順3で指定した処置が行われます。

5 (閉じる)をクリックし、セントラルのウィンドウで をクリックします。

アドバイス

エマージェンシーディスクを作成してください

エマージェンシーディスクは、システムがウィルスに感染されて、Windowsが起動できないときに、ウィルスの影響を受けずにシステムを起動するのに使います。

作成方法は、VirusScanのヘルプをご覧ください。

〔ウィルス発見時の処置方法の設定〕

ウィルスが発見されたときの処置方法は、「アクション」タブで次の中から選択します。

アクションを指定…ウィルスを検出したときに、ウィルスの駆除、感染ファイルの移動や削除、スキャンの続行などの対処を選択する。

感染しているファイルをフォルダに移動…感染ファイルを、指定されたフォルダに自動的に移動する。

感染しているファイルからウィルスを駆除…感染ファイルからウィルスを除去する。除去できなかったときは、他の処置を選択する。

感染しているファイルを削除…感染ファイルを削除する。

スキャンを続行…感染ファイルを処置せずに検査を続行する。

〔アドバイス〕

ログファイルは残したほうが安全

「レポート」タブでログファイル(検査や処置内容を記録したファイル)を残すかどうか指定します。

万一感染してファイルの移動や削除が行われても、ログファイルがあれば、元の状態に戻す手がかりになります。

〔ご使用上の注意事項〕

VirusScanを使用する際は、以下の点にご注意ください。

〔VirusScanのご利用時〕

〔重要〕

検査対象のディスクにアクセスしない

・ハードディスクの検査の実行中は、ハードディスクのプログラムを実行しないでください。

・フロッピーディスクの検査実行中は、フロッピーディスクを取り出さないでください。

フロッピーディスクで起動するときは

そのフロッピーディスクにウィルスが感染していないか検査してからお使いください。

●常時監視のVShieldのご利用時●

●重要●

次の場合はVShieldを終了してください。

・アプリケーションのインストールに不具合が発生したとき

・アプリケーションの動作が不安定になるとき

これらの場合は、VShieldの常駐を終了させてください。

タスクバーの (McAfee VShield)を右クリックし、表示されるメニューから「終了」をクリックします。

アドバイス

ウィルスDATファイルとスキャンエンジンの更新

・VirusScanは、ウィルスの検査に、ウィルスの情報を記載したデータファイル (DATファイル)と、検査プログラム(スキャンエンジン)を使用しています。

・DATファイルは、VirusScanコンソールの「アップデート」をクリックすると、以下のサイトから無料でダウンロードできます。必要に応じて更新してください。

<http://www.nai.com/japan/>

・スキャンエンジンを更新する場合は、新たに最新版の「VirusScan」を購入してください。詳細についてはVirusScanの「必ずお読みください」を参照してください。

ご質問などの連絡先は

・VirusScanをご使用中に、前記の項目以外に、何かトラブルが発生した場合は、次の所へご連絡ください。

パソコンに関するご質問

『本体 & オプションガイド』の「それでも解決できないときは」をご覧になり、「お問い合わせの確認シート」に必要事項をご記入の上、弊社FMインフォメーションサービスにお問い合わせください。

VirusScanに関するご質問

VirusScanのマニュアルをご覧ください。

コンピュータウイルスの被害届け出先

コンピュータウイルスの届け出制度は、通商産業省の「コンピュータウイルス対策基準(平成2年4月10日付通商産業省告示第139号/平成9年9月24日改訂通商産業省告示第535号)」に基づき、平成2年4月にスタートした制度です。コンピュータウイルスを発見した場合、ウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会(IPA)に届け出ることになっています。

〒113-6591

東京都文京区本駒込2-28-8 情報処理振興事業協会

セキュリティセンター ウイルス対策室 宛

TEL:03-5978-7509 FAX:03-5978-7518 E-mail:virus@ipa.go.jp

ウイルススキャンのはずしかた

なんらかの理由でウイルス検査を行いたくない場合は、VirusScanを削除します。「コントロールパネル」にある「アプリケーションの追加と削除」機能を使います。詳しくは、「アプリケーションのインストールと削除」(P.7-28)をご覧ください。VirusScanを削除したとのコンピュータウイルス対策に関しては、お客様の自己責任となります。ご注意ください。

アプリケーションを使う



10円メール(携帯電話専用)を使う

「10円メールマスター」は、NTTドコモのデジタル携帯電話を利用してインターネットの電子メールを送受信するサービス、「10円メール」を利用するためのアプリケーションです。「マスターネット」というプロバイダに加入し、10円メール用のユーザーIDで通信を行います。

10円メールとは

10円メールには、次のような特長があります。

1回10円で送受信ができる

1回10円(12秒以内)でインターネットメールの送受信ができます。

送信時は、12秒以内で1000文字(全角)までのデータだけが送れます。

受信時は、12秒以内で1000文字までのデータが10円で受信でき、それを超えると、12秒ずつ10円が加算されます。

ポケットベルにメッセージを送信できる

NTTドコモのポケットベル、インフォネクストシリーズにメッセージを送信できます。全角文字の場合、約50文字まで送信できます。

重 要

ポケットベルの相手先がエリア外にいるときは

メッセージを送信したとき、相手がエリア外にいるときやポケットベルの電源を切っているときは、送信エラーとなります。

10円メールを使う前の準備

ここでは、マスターネットへ加入するまでの手順について説明します。すでにマスターネットに加入している方も、10円メールの申し込みが必要です。

必要なものを用意する

10円メールマスターを利用して通信を行うには、次の機器が必要です。なお、対応している機種などについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。

NTTドコモのデジタル携帯電話

9600bpsに対応したNTTドコモのデジタル携帯電話が必要です。他のデジタル携帯電話、またはPHSなどではご利用できません。

携帯電話接続ケーブル

- ・USBコネクタ用の「携帯電話接続用USBケーブル」を使用します。
接続方法は、『本体＆オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。
- ・モデムを選択する際に、「お使いの機種に対応したモデム」を選択してください。

デジタル携帯電話接続カード

NTTドコモのデジタル携帯電話の接続に使用する、デジタル携帯電話接続カードが必要です。

クレジットカード

マスターネットに加入するには、クレジットカードが必要です。お手元に用意してください。使用できるクレジットカードについては、ヘルプをご覧ください。

なお、法人会員でクレジットカード以外のお支払いを希望する場合は、マスター ネット株式会社にお問い合わせください。

（モデムの設定をする）

10円メールマスターでは、本パソコンに内蔵のモデムではなく、「携帯電話接続用USBケーブル」か携帯電話接続カードを接続に使います。

アドバイス

携帯電話用の所在地情報に切り替えることが必要

10円メールを使用するときは、携帯電話用の所在地情報を使わないと接続できません。

これまで内蔵モデムを使って通信を行っていた場合は、携帯電話用の所在地情報を使って通信をするように設定してください。

操作方法は ◆▶『本体＆オプションガイド』の「所在地情報の設定と切り替え」

1 本パソコンとデジタル携帯電話を接続します。

『本体＆オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。また、携帯電話接続カードのマニュアルもあわせてご覧ください。

2 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」、「10円メールマスター」の順にマウスポインタを合わせ、「10円メールマスター」をクリックします。

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

3 「キャンセル」をクリックします。

4 「通信設定」をクリックします。



「設定」ウィンドウが表示されます。

5 「モデム設定」タブをクリックし、「モデムを使う」をクリックして にします。

6 「モデム」の右の をクリックして、一覧からお使いになっている機種に対応したモデムの名前をクリックし、アクセスポイントの電話番号を入力して「OK」をクリックします。

これでデジタル携帯電話を使って、通信ができるようになりました。続けて、10円メールが利用できるように、入会手続きをします。

（入会手続きをする）

入会手続きは、本パソコンからオンラインで行います。入会手続きをすると、約1週間で10円メール用のユーザーIDなどが郵送されます。

すでに10円メールに加入している場合は、「ユーザーIDを設定する」(⇒ P.7-25)に進んでください。

確認

デジタル携帯電話を準備してください

デジタル携帯電話の電源を入れ、発信者番号通知を「ON」に設定してください。操作方法については、デジタル携帯電話のマニュアルをご覧ください。

1 「入会手続き」をクリックします。

「新規入会」ウィンドウが表示されます。

2 マスターネットに入会している場合

「はい」をクリックし、「10円メール申し込み」ウィンドウで必要な項目を入力します。

マスターネットに入会していない場合

「いいえ」をクリックし、「オンライン登録」ウィンドウで必要な項目を入力します。

入力する項目について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

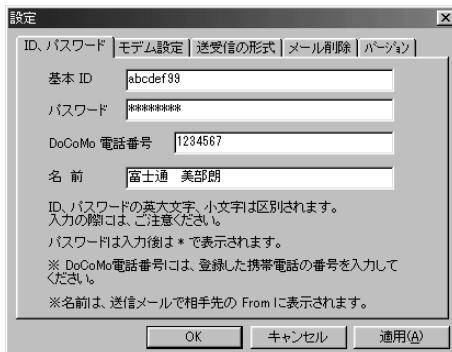
3 「通信＆登録」をクリックします。



（ユーザーIDを設定する）

マスターネットからユーザーIDなどが郵送されてきたら、10円メールマスターに登録します。

- 1 「通信設定」をクリックします。
- 2 各項目を入力して、「OK」をクリックします。



これで、10円メールが使えるようになりました。

メールを送信する

10円メールを利用してメールを送信してみましょう。自分宛にメールを送ることもできます。

確認

デジタル携帯電話を準備してください

デジタル携帯電話の電源を入れ、発信者番号通知を「ON」に設定してください。操作方法については、デジタル携帯電話のマニュアルをご覧ください。

重要

送信できるデータ

- ・送信できるデータは、テキストデータのみです。バイナリデータのファイルや、添付文書を送ることはできません。
- ・一度に送信できるのは、全角文字で約1000文字(12秒以内)までです。ただし、相手側の機種によっては、受信した時に文字数が少なくなることがあります。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「10円メールマスター」の順にマウスポインタを合わせ、「10円メールマスター」をクリックします。

10円メールマスターのウィンドウが表示されます。

- 2 「メール送信」をクリックします。

「メールの送信」ウィンドウが表示されます。



- 3 「宛先」の右の欄をクリックし、送信先のメールアドレスを入力します。

- 4 「表題」の右の欄をクリックし、メールのタイトルを入力します。

- 5 メールの内容を入力し、「送信」をクリックします。

送信先にメールが送られます。

メールを受信する

送られてきたメールを受信してみましょう。

確認

デジタル携帯電話を準備してください

デジタル携帯電話の電源を入れ、発信者番号通知を「ON」に設定してください。操作方法については、デジタル携帯電話のマニュアルをご覧ください。

重要

受信できるデータ

受信できるデータは、テキストデータのみです。バイナリデータのファイルや、添付文書を受信することはできません。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「10円メールマスター」の順にマウスポインタを合わせ、「10円メールマスター」をクリックします。

10円メールマスターのウィンドウが表示されます。

2 「メール受信」をクリックします。

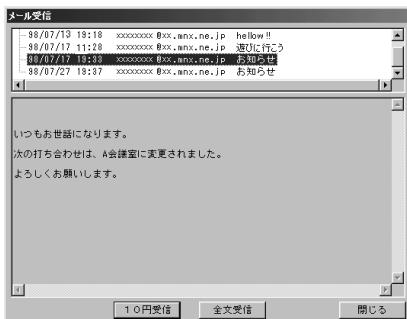
「メール受信」ウィンドウが表示されます。上の欄には、前に受信したメールの一覧が表示されています。

3 「10円受信」または「全文受信」をクリックします。

10円受信：通信時間が12秒以内で、未読のメールを受信します。12秒以内であれば複数のメールも受信できます。

全文受信：未読のメールをすべて受信します。通信時間が12秒かかるごとに、10円の料金がかかります。

4 受信したメールのタイトルをクリックします。



メールの内容が下の欄に表示されます。

5 メールを読み終わったら、「閉じる」をクリックします。

「メール受信」ウィンドウが閉じます。

10円メールマスターには、この他にもたくさんの機能があります。詳しくは、ヘルプ、または10円メールの入会後に郵送されてくるマニュアルをご覧ください。

アプリケーションのインストールと削除



ここでは、アプリケーションをインストールする前の準備とインストールの方法、および削除の方法について説明します。

アプリケーションをインストールする

アプリケーションの提供のされた方に合わせて、必要があればフロッピーディスクドライブまたはCD-ROM ドライブをご用意ください。

〔インストール前に確認すること〕

アプリケーションをインストールする前に確認事項がいくつかあります。次の説明を参考に、正しくインストールできることを確かめてください。

他のアプリケーションを終了していますか？

他のアプリケーションが起動していると、アプリケーションのインストールができない場合があります。タスクトレイに表示されている、(McAfee VShield) (McAfee VirusScanスケジューラ) (FM便利ツール) (PMSet98)なども含め、すべてのアプリケーションを終了させてください。

Windows98用のアプリケーションか？

「Windows98対応」と明示されたアプリケーションを使用してください。Windows95や3.1のみに対応しているアプリケーションは、利用できない場合があります。

ハードディスクの空き容量は？

ハードディスクの空き容量が足りないときは、アプリケーションを正しくインストールできません。インストールするアプリケーションに添付のマニュアルをご覧になり、必要なディスク容量を確認してください。本パソコンのハードディスクの空き容量は、次のようにして調べることができます。

- 1 デスクトップの (マイコンピュータ) をクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 2 CまたはDドライブを右クリックし、メニューから「プロパティ」をクリックします。
選択したドライブのプロパティのウィンドウが表示されます。

アドバイス**ハードディスクの空き容量が不足しているとき**

利用しないアプリケーションのアンインストールや、不要なファイルの削除などによって、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。詳しくは、「アプリケーションを削除する」(⇒ P.7-32)「不要なファイルを自動検出して削除する(ディスククリーンアップ)」(⇒ P.8-3)をご覧ください。

ご購入時の設定では

「マイコンピュータ」ウィンドウでドライブのアイコンにマウスポインタを合わせるだけで、ウィンドウの左側に空き容量などが表示されます。

必要なメモリは?

本パソコンは、64MBのメモリを内蔵しているので、市販されているほとんどのアプリケーションを利用することができます。ただし、アプリケーションによっては、大容量のメモリを必要とする場合があります。また、複数のアプリケーションを同時に起動して、切り替えて利用する場合には、メモリが不足することがあります。

アプリケーションに添付のマニュアルをご覧になり、必要なメモリ容量を確認してください。メモリを増設する方法については、『本体 & オプションガイド』をご覧ください。

使用中のアプリケーションの終了

アプリケーションのインストールが終了すると、コンピュータの再起動が行われる場合があります。再起動すると、それまでの作業で保存されていないデータは失われてしまいます。インストール作業を始める前に、作業中のデータを保存して、使用中のアプリケーションを終了してください。

インストールを始める**重宝****ドライブが正しく認識されていますか**

インストール作業を始める前に、フロッピーディスクユニット、またはCD-ROMドライブが正しく認識されていることを確認してください。デスクトップの「マイコンピュータ」をクリックして、ウィンドウ内にドライブのアイコンが表示されなければ正しく認識されています。

アドバイス**Windows98のCD-ROMのセットを求めるメッセージが表示されたら**

「Windows98のCD-ROMのセットをしてください」というメッセージが表示された場合は、次のフォルダにコピーするファイルがあります。次のフォルダをコピー元に指定してください。

「c:\windows\options\cabs」

1 アプリケーションのフロッピーディスク(またはCD-ROM)をセットします。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。

「コントロール パネル」ウィンドウが表示されます。

3  (アプリケーションの追加と削除)をクリックします。

「アプリケーションの追加と削除」プロパティ ウィンドウが表示されます。



4 「インストール」をクリックします。

「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

5 「次へ」をクリックします。

「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

6 「インストールプログラムのコマンドライン」の下の欄に、フロッピーディスクかCD-ROMのインストールプログラムのファイル名を入力し、「完了」をクリックします。

インストールプログラムが始まります。このあとの操作は、各インストールプログラムによって異なります。画面に表示されるメッセージに従って、インストール作業を進めてください。

アドバイス

内蔵されているアプリケーションの再インストールについて

『リカバリガイド』の「第2章 アプリケーションを再インストールする」をご覧ください。

インストールしたアプリケーションの削除について

『リカバリガイド』の「アプリケーションを削除する」をご覧ください。

インストール後に行うことが必要な操作

アプリケーションをインストールしたあとは、以下のようにWindows98のライブラリをアップデートする操作を行ってください。

1 CD-ROMドライブを接続して「リカバリCD-ROM 2/2」をセットします。

2 起動中のアプリケーションをすべて終了します。

VirusScan、FM便利ツール、Hatch insideなど、タスクバーに常駐するタイプのアプリケーションもすべて終了してください。

スクリーンセーバーを設定している場合は、「なし」に設定します。

アドバイス

VirusScanやHatch insideなどを終了するには

タスクバーのそれぞれのアイコンに、マウスポインタを合わせて左または右クリックし、表示されたメニューの「終了」などの項目をクリックします。

FM便利ツールを終了するには

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「FM便利ツール」の順にマウスポイントを合わせ、「5.終わる」をクリックします。

3 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

4 「名前」欄に次のように入力し、「OK」をクリックします。

e:¥libupd¥SPeu.exe

ファイルのコピーが始まります。

コピー中を示す画面が消えたら、再起動します。

5 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

6 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動して、アップデートが有効になります。

アプリケーションを削除する

アプリケーションを削除するときは、必ず各アプリケーションに付属のアンインストール機能を使うか、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」を使って行ってください。

アンインストール機能が用意されている場合は、そちらを優先して、アンインストール機能を使って削除してください。

コラム

アンインストール機能とは

Windows98に対応したアプリケーションには、「アンインストール機能」が用意されているものがあります。アプリケーションには、インストールするときに自動的にシステムの設定を変更するものがあり、単にプログラムのファイルを削除するだけでは、インストールする前の状態に戻らないことがあります。アンインストール機能を使うと、プログラムファイルを削除するとともに、システムの設定もアプリケーションをインストールする前の状態に戻すことができます。

アンインストール機能を使う

アンインストール機能は、「スタート」ボタンから利用します。たとえば、「タッチおじさんメール」をアンインストールする場合には、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「タッチおじさんメールV2.1」の順にマウスポインタを合わせ、「タッチおじさんメールV2.1の削除」をクリックします。削除を確認するウィンドウが表示されるので、「はい」をクリックします。

重 要

アプリケーションをアンインストールする前に

本当に削除してもよいかどうか、確認してから行ってください。アプリケーションをアンインストールすると、設定内容なども消えてしまうので、再びインストールをしない限り復元できません。

アプリケーションの追加と削除

「アプリケーションの追加と削除」での操作は『リカバリガイド』の「アプリケーションを削除する」をご覧ください。

はじめよう！インターネット(@nifty)の再インストール

再インストールを始める前に次の2点を確認してください。

「ダイヤルアップネットワーク」のインストールを確認する

次の手順で、「ダイヤルアップネットワーク」がインストールされていることを確認してください。ご購入時やリカバリ作業後はインストールされています。

- 1 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウの「Windowsファイル」タブをクリックします。
- 2 「通信」をクリックし、「詳細」をクリックします。「ダイヤルアップネットワーク」がになっていることを確認します。になっている場合は、をクリックし、にします。
- 3 「OK」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 4 「OK」をクリックします。
このあとメッセージが表示された場合は、メッセージに従って操作します。

ネットワークの設定を確認する

次の手順で、ネットワークの設定を確認してください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 「ネットワーク」をクリックします。
- 3 「現在のネットワークコンポーネント」に「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP -> ダイヤルアップアダプタ」が表示されていることを確認します。
- 4 2つとも表示されている場合は、「キャンセル」をクリックし、続けて「はじめよう！インターネット(@nifty)」を再インストールします。正しく設定されていない場合は、手順5に進みます。
- 5 「追加」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの選択」ウィンドウが表示されます。

6 「インストールするネットワークコンポーネント」から「アダプタ」をクリックし、「追加」をクリックします。

「ネットワークアダプタの選択」ウィンドウが表示されます。

7 「製造元」から「Microsoft」、「ネットワークアダプタ」から「ダイヤルアップアダプタ」をそれぞれクリックし、「OK」をクリックします。

「ネットワーク」ウィンドウに戻ります。

アドバイス

ご購入時についに設定が追加された場合は

ご購入時には設定されていない「NetWareネットワーククライアント」、「IPX/SPX 互換プロトコル」が追加される場合があります。ご使用にならない場合は、次のようにして削除してください。

「NetWareネットワーククライアント」をクリックし、「削除」をクリックします。

「IPX/SPX 互換プロトコル」をクリックし、「削除」をクリックします。

8 「OK」をクリックします。

ファイルがコピーされます。

「バージョンの競合」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。

「今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

9 「はい」をクリックします。

●はじめよう！インターネット(@nifty)の再インストール●

アプリケーション・セットアップ・ランチャーを使用して再インストールを行います。

操作方法については、『リカバリガイド』の「アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた」をご覧になり、表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

豆知識

本パソコンには、ハードディスクの不具合を検査したり
不要なファイルを削除するなど、
メンテナンスのためのユーティリティソフトが内蔵されています。
ここでは、これらの操作方法を説明するとともに、
本パソコンの使いやすさをアップするための豆知識を掲載しています。



この章では、次の内容を説明しています。

- ・ハードディスクを使いやすくする(▶ P.8-2)
- ・操作をしやすくする
 - ミニ情報:画面を見やすくする(▶ P.8-5)
 - ミニ情報:操作方法を変える(▶ P.8-7)
- ・スピーカーの調整と録音の方法(▶ P.8-8)

ハードディスクを使いやすくする

ハードディスクに異常がないか調べる(スキャンディスク)

Windowsが正常に終了しなかったり、ソフトウェアの障害などによって、システムのファイル管理に異常が発生することがあります。

スキャンディスクは、ファイル管理に異常がないか検査します。

自動修復を指定すると

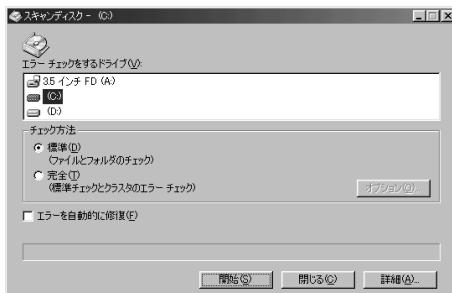
管理外のクラスタ(ディスクを管理するときの単位領域)や読み書きできないクラスタを、ファイルから除外するなどの処置を行います。処置内容については(C:)フォルダの「Scandisk.log」というテキストファイルをご覧ください。

重要

スキャンディスクを行うときの注意事項

- ・スキャンディスクを開始する前に、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。タスクバーにアイコンが表示されている、VirusScanなどの常駐ソフトも終了することが必要です。
- ・デスクトップの何もないところを右クリックし、メニューの「プロパティ」を選択すると表示される「画面のプロパティ」ウィンドウで、「スクリーンセーバー」タブを開き、「スクリーンセーバー」の設定を必ず「なし」にしてください。
- ・「コントロールパネル」ウィンドウの「電源の管理」をクリックし、「電源設定」タブの「システムスタンバイ」の設定を、必ず「なし」にしてください。
- ・スキャンディスクは、必ずACアダプタを接続してから行ってください。
- ・スキャンディスクを行っている間は、絶対にMAINスイッチをOFFにしないでください。

-
- 1 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」「アクセサリ」「システム ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「スキャンディスク」をクリックします。
 - 2 「エラー チェックをするドライブ」欄で、チェックしたいドライブをクリックします。



3 「チェック方法」欄の「標準」をクリックし  にします。

アドバイス

「完全」を選択した場合は

「完全」を選択してスキャンディスクを実行すると、クラスタごとの検査を行うので時間がかかります。正確に検査したいときに、実行してください。

4 「エラーを自動的に修復」をクリックし  にします。

5 「開始」をクリックします。

選択したディスクの検査が始まり、「スキャンディスク」ウィンドウに進行状況が表示されます。

検査が終了すると、「結果レポート」ウィンドウが表示されます。

6 「閉じる」をクリックします。

「スキャンディスク」ウィンドウに戻ります。

7 「閉じる」をクリックします。

スキャンディスクが終了します。

不要なファイルを自動検出して削除する(ディスククリーンアップ)

パソコンを使用していると、プログラムが一時的に使ったファイルなど不要なファイルが残ることがあります。ディスククリーンアップでは、次のファイルを自動検出して削除することができます。

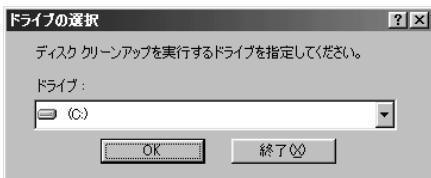
- ・インターネットの一時ファイル
- ・ダウンロードされたプログラムファイル(Active Xなど)
- ・ごみ箱
- ・一般的なプログラムが使用する一時ファイル

この他に、Windowsのコンポーネントや、アプリケーションを指定して削除することもできます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」「アクセサリ」「システム ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「ディスク クリーンアップ」をクリックします。

しばらくして「ドライブの選択」ウィンドウが表示されます。

- 2 「(C:)」の ▾ をクリックして、処理したいドライブをクリックし、「OK」をクリックします。



「ディスク クリーンアップ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「削除するファイル」欄の削除するファイルの をクリックし にします。

【アドバイス】

削除するファイルの説明

「削除するファイル」をクリックすると、「説明」欄にどのようなファイルが削除されるかが表示されます。また、「ファイルの表示」をクリックすると、削除されるファイルの一覧が表示されます。

- 4 「OK」をクリックします。

削除を確認するウィンドウが表示されます。

- 5 「はい」をクリックします。

選択したファイルの削除が始まり、削除の進行状況を示すウィンドウが表示されます。

削除が終了するとウィンドウが閉じ、ディスククリーンアップが終了します。

操作をしやすくする

三二 情報

画面を見やすくする

マウスポインタを見やすくする

クリックポイントで操作する場合は、マウスポインタの大きさを変えたり、軌跡を表示するとマウスポインタの動きを目で追いややすくなります。また、ダブルクリックの間隔やマウスポインタの移動速度は、使いやすいように変更することができます。

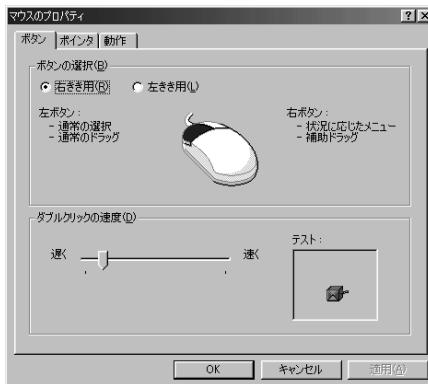
ご購入時には、すでに操作しやすいように設定がしてあります。以下の操作は、必要に応じて行ってください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

2  (マウス)をクリックします。

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「ダブルクリックの速度」の  をドラッグして、適切な速度に調整します。



4 「ポインタ」タブをクリックします。

マウスポインタのデザインを選択するウィンドウが表示されます。

5 「デザイン」の  をクリックし、一覧からマウスポインタ名をクリックします。

クリックしたマウスポインタのデザインが表示されます。

6 「動作」タブをクリックします。

マウスポインタの速度や軌跡を設定するウィンドウが表示されます。

- 7 「ポインタの速度」のをドラッグして、適切な速度に調整します。
- 8 「ポインタの軌跡」の「表示する」をクリックしてにし、をドラッグして軌跡の長さを調整します。
- 9 「OK」をクリックします。
マウスポインタの設定が変更されます。

● 文字を見やすくする

「画面のプロパティ」や「ユーザー補助のプロパティ」の設定で表示する文字を大きくすることができます。

■ 画面タイトルやアイコンの文字

ウインドウタイトルやメニュー、またアイコン名の文字は、画面のプロパティで大きくすることができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 (画面)をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「デザイン」タブをクリックします。
- 4 「配色」の右のをクリックし、一覧から「Windowsスタンダード(大きいフォント)」か「Windowsスタンダード(特大のフォント)」の配色名をクリックします。
クリックした配色名のデザインが表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。
画面の文字の大きさが変更され、「画面のプロパティ」ウィンドウが閉じます。

■ ヘルプの文字

ユーザー補助機能では、画面タイトルやアイコン名の文字に加えて、Windowsのヘルプの文字なども、大きくすることができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 (ユーザー補助)をクリックします。
「ユーザー補助のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「画面」タブをクリックします。
- 4 「ハイコントラストを使う」をクリックしてにし、「設定」をクリックします。
- 5 「ハイコントラストの色設定」欄の「ユーザー設定」をクリックし、 にします。
- 6 「ユーザー設定」の右のをクリックし、一覧から「Windowsスタンダード(大きいフォント)」か「Windowsスタンダード(特大のフォント)」の配色名をクリックします。



7 「OK」をクリックします。

8 「ユーザー補助のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

画面の文字の大きさが変更され、「ユーザー補助」ウィンドウが閉じます。

三
二
情報

操作方法を変える

Webページを表示しない

従来のWindowsスタイルのほうが、操作しやすいという方は、以下の操作で変更することができます。

- 1 デスクトップの何もないところに、マウスポインタを合わせて右クリックし、メニューを表示します。
- 2 アクティブデスクトップにマウスポインタを合わせ、表示されたメニューの「Webページで表示」をクリックして (チェックマーク)を外します。

ファイルの実行をダブルクリックで

- 1 「スタート」メニューの「設定」で、「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブで「カスタム」をクリックして にし、「設定」をクリックします。
- 3 「カスタム設定」ウィンドウで「シングルクリックで選択し、ダブルクリックで開く」をクリックして にし、「OK」をクリックします。
- 4 「フォルダオプション」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

画面とクリック方法のどちらも従来のWindowsスタイルにする

- 1 「スタート」メニューの「設定」で、「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブで「従来のWindowsスタイル」をクリックして にし、「OK」をクリックします。

スピーカーの調整と録音の方法

Windows 98には、音楽や動画などを楽しむためのアプリケーションが、あらかじめ用意されています。また、内蔵マイクを使って音声を録音することもできます。

スピーカーの音量を調整する

音量の調整は、次の3つの方法があります。

- ・本体右側面の「音量ボリューム」で調整する。
- ・タスクバーの (音量)で調整する。
- ・「ボリュームコントロール」ウィンドウで調整する。( P.8-9)

これらの方法で音を消す操作を行った場合、消音するかどうかは次のとおりです。

	本体右側面の音量ボリュームを最小にしたら消音する?	タスクバーの  (音量)でミュートを <input checked="" type="checkbox"/> にしたら消音する?	WAVE ^{*2} の「ミュート」を <input checked="" type="checkbox"/> にしたら消音する?	Phone ^{*2} の「ミュート」を <input checked="" type="checkbox"/> にしたら消音する?
バッテリ切れアラーム ^{*1}	する	しない	しない	しない
エラー操作時の効果音(WAVE)	する	する	する	しない
モデムの音量	する	する	しない	する
音楽(MIDI)	する	する	しない	しない

* 1: 状態表示LCDのバッテリ残量表示が点滅したときのアラーム音です。

* 2: 「ボリュームコントロール」ウィンドウでの操作です。

[Fn] を押しながら **[F3]** を押して消音にしたり、本体右側面の「音量ボリューム」で消音状態にしていると、バッテリ切れのアラームが聞こえなくなります。本パソコンをバッテリだけで使用している場合、音量はタスクバーの で調整することをお勧めします。

なお、WAVEやMIDIなどの音量を個別に調整したい場合は、「ボリュームコントロール」ウィンドウで操作します。

タスクバーの (音量)で音量を調整する

- ・タスクバーの をクリックし、「ミュート」の左が になっている場合は、クリックして にします。
- ・つまみをドラッグして適切な音量に調整します。

■ WAVEやMIDIなどの音量を個別に調整する

- ・タスクバーの  をダブルクリックし、「ボリュームコントロール」ウィンドウを表示します。
- ・「WAVE」や「SW Synth」の下にある、「音量」のつまみをドラッグすると、その音の音量が調整できます。
- ・「ミュート」をクリックして にすると、その音が消えます。

マイクを使って録音する

自分の声や楽器の音などを録音し、WAVEサウンドファイルとして保存することができます。保存したファイルの音を、Windowsを開始したときに鳴る音にすることもできます。

■ マイクが使えるようにする

次の操作で、標準の設定になっているか確認します。

- 1 タスクバーの  (音量) をダブルクリックします。
- 2 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 3 「録音」をクリックして にし、下の一覧の「マイク」をクリックして にしてから、「OK」をクリックします。
- 4 「録音コントロール」ウィンドウの「マイク」の下にある「選択」が になっていたら、クリックして にします。

■ 録音する

次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「エンターテインメント」の順にマウスポインタを合わせ、「サウンド レコーダー」をクリックします。
- 2 「サウンド レコーダー」のウィンドウで  をクリックして録音を開始し、 をクリックして停止させます。
- 3 録音した音を聞きたい場合は、 をクリックします。
- 4 保存したい場合は「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックして保存します。

音や画像のファイルを開く

音や画像のファイルは、そのアイコンをクリックするだけで、簡単に再生したり、表示したりできます。

開くことができるるのは、次のようなファイルです。

再生できるサウンドファイル

ウェーブファイル、MIDIファイル

C:\Program Files\Plus!\ThemesにWAVEファイルのサンプルがあります。

C:\Windows\Mediaに両方のサンプルがあります。

再生できる動画ファイル

AVIファイル、MPEGファイル、QuickTimeのMOVファイル

表示できる画像ファイル

BMPファイル、JPEGファイル、GIFファイル、TIFFファイル

C:\Program Files\Plus!\ThemesにJPEGファイルのサンプルがあります。

C:\WindowsにBMPファイル、GIFファイルのサンプルがあります。

索引

① SUS/RES表示)

- ~への点灯 1-4
- ~の消灯 1-4
- ~の点滅 1-4

② (FM 便利ツール) 3-16、7-4

③ (PMSet98) 1-9

④ (PMSet98) 1-9

⑤ (PMSet98) 1-9

数字・ABC順

@nifty

- ~とは 2-14
- ~に入会している場合の設定 2-14
- ~の無料体験 2-14
- ~への入会申し込み 2-14

はじめよう!インターネット~ 2-14

10円メール 7-22

32Kデータ通信 2-10

Acrobat Reader 7-6

ACアダプタに接続中の表示 1-9

BIOS セットアップ

- ~の省電力の設定 1-7、1-9
- ~の設定の影響 1-7、1-9
- ~と PMSet98 の設定 1-8

CCD カメラ 5-1

DNS サーバーアドレス 2-17

Eメール メール

E-mailボタン 3-16

Facewatch 5-8、7-3

FJV 5-9

FM Advisor 7-6

FMV 診断 7-6

FM かんたんバックアップ 7-5

FM キャプチャ 5-2、7-3

FM 手帳 7-2

FM 便利ツール 7-4

FM モバイルスイッチャー 2-29、7-5

GAMEPACK 7-5

Hatch inside 4-9、7-3

HTML 形式 4-17

ID(インターネットの) 2-20

Internet ボタン 4-2

IP アドレス 2-18

ISDN カード 2-12

ISDN 公衆電話でインターネット 2-11

InfoNavigator 4-8

Intellisync 6-2

Internet Explorer

~で接続する 4-2

~で切断する 4-5

~のオフライン作業 4-13

~の接続設定 2-27、2-33

Jet-Audio 7-3

LAN とは 6-9

MAIN スイッチの場所 1-2

MIDI ファイルを聴く 8-10

MPEG1 形式 5-9

Outlook Express 7-2

PDF マニュアル 7-6

PHS

~接続カード 2-10

~接続用 USB ケーブル 2-10

~でインターネット 2-10

PIAFS とは	2-10
PMSet98	1-8、1-9
POP メールサーバー名	3-3
POP アカウント名	3-3
PPP	2-18
SMTP メールサーバー名	3-3
SUS/RES スイッチの位置	1-2
Save To Disk 機能	1-3
~ を実行する前に戻る	1-3
URL とは	4-3
USB ケーブル	2-9、2-10
VShield	7-16、7-20
Virtual CD2	7-4
VirusScan とは	7-16
WAVE ファイルを聴く	8-10
WWW とは	2-3
(チルダ)	4-4

五十音順

あ

アカウント	2-19
アクセスポイント	2-2、2-17
アドレス一覧(メールの)	3-6
アプリケーション	
~ のアンインストール	7-32
~ のインストール	7-28
~ の概要	7-2
~ の削除	7-32

い

一時停止	
~ 状態	1-2、1-6、1-7、1-10
~ する前に戻る	1-2、1-7
~ と休止状態との比較	1-3
インストール	7-28

インターネットエクスプローラー

Internet Explorer

インターネット

~ 接続設定とは	2-15
~ 接続設定の作成	2-16
~ に Internet Explorer で接続	4-2
~ に接続するための設定	2-14、2-16
~ の始めかた	2-5
~ への接続を切断する	4-5
~ メール メール	
~ を無料で試す	2-14
インターネット会議とは	2-4
インターネット接続ウィザード	2-15
インターネット番号	4-9
インターネットポット	7-6

う

ウィルスとは	7-16
ウィルス DAT ファイル	7-20

え

液晶ディスプレイ

~ の明るさ 画面の明るさ	
~ を開けてレジュームする設定	1-7
~ を閉めると一時停止する	1-7
~ を閉めるとサスPENDする	1-7
エマージェンシーディスク	7-17

お

おしゃべりホームページ	4-11、7-3
音	
~ が出来るようにする	8-8
~ のファイルを聴く	8-10
~ を大きくする	8-8
オフライン作業(Internet Explorer)	4-13

終わりかた(操作、作業の)	1-2、1-3
オンラインサービス	2-15
オンラインサインアップ	2-15
オンラインショッピングとは	2-3
音量の調整	8-8

か

開始(操作、作業の)	1-2、1-4
外線発信番号	2-28
柿木将棋	7-5
画像	
~のファイルを開く	8-10
ホームページの~の保存	4-18
学研統合電子辞書	7-6
画面の明るさ	
AC電源使用時でも暗くする	1-8
消えたのを元に戻す	1-4
何もしないで消えた	1-6
バッテリ使用時でも明るくする	1-8
画面の表示	
デスクトップのWeb表示を消す	8-7
文字を大きくする	8-6

き

休止	
休止(Save To Disk)状態	1-3
~する前に戻る	1-3
~とサスPENDとの比較	1-3

く

クリック操作のしかたを変える	8-7
----------------------	-----

け

携帯電話	
~接続カード	2-10
~接続用USBケーブル	2-9

携帯電話でインターネット

PIAFS対応PHSの場合	2-10
PIAFS非対応のPHSの場合	2-10
デジタル携帯電話の場合	2-9
検索(ホームページの)	4-8

こ

公衆電話でインターネット	2-11
コネクションID(接続ID)	2-20
コンピュータウイルス	7-16
~の検査と除去	7-17
~発見時の連絡先	7-20

さ

再開(操作、作業の)	1-2、1-4
作業の中断・停止・終了	1-2、1-3
作業の再開・開始	1-2、1-3
削除	

アプリケーションの~	7-32
不要なファイルの~	8-3

サスPEND

~とSave To Disk機能の比較	1-3
~する前に戻る	1-2
~するときに休止状態になる	1-7

サンリオアクセサリー	7-5
------------------	-----

室内の電話回線に接続する	2-9
--------------------	-----

写真	
~を撮る	5-3
~を見る	5-5

終了(操作、作業の)	1-2、1-3
------------------	---------

消音(スピーカー)	8-8
-----------------	-----

所在地情報	2-28、2-32
-------------	-----------

署名(メールの)	3-15
----------------	------

シリアルケーブルで接続する	6-4
---------------------	-----

受信メールサーバー	2-35、3-3
-----------------	----------

受信メールの見かた	3-11
状態表示LCD	1-4

●す●

スキャンディスクの操作	8-2
スタートページの設定	4-3
スタンバイ	1-2
スピーカーの音量	8-8

●せ●

赤外線通信ポート	6-2
赤外線デバイス	6-3
接続(本パソコンの)	
室内の電話回線への～	2-9
携帯電話への～	2-9
PHSへの～	2-10
接続設定(インターネットへの)	
～の確認	2-33
～の作成	2-16
～の調整	2-22

切断する	
Internet Explorerで～	4-5
らくらくメールBOXで～	3-10
節電	
～機能の概要	1-6
時刻になったら～状態から戻す	1-8
～状態から戻す操作	1-8
操作をしないと自動的に～する	1-6
～の標準の設定	1-6
モデムが電話を受けて元に戻す	1-8
ゼンリン電子地図	7-7

●そ●

送信メールサーバー	3-3
送信メールの見かた	3-8

●た●

ダイヤルアップ接続	2-15
ダイヤルアップネットワーク	2-15
「ダイヤルアップネットワーク」	
ウインドウ	2-22, 2-27
「ダイヤルアップの接続」	
ウインドウ	3-4, 4-2
ダイヤル方法	2-28
タッチおじさんメール	7-5
タッチパネルの操作(ホームページを見るとき)	4-4
ダブルクリックで実行	8-7

●ち●

地図 ゼンリン電子地図	
チルダ()	4-4

●て●

停止(一時停止)	1-2
添付ファイル(メールの)	3-9, 3-12
データ(交換)	6-5
ディスククリーンアップ	8-3
デジタル携帯電話	2-9
「電源の管理」	1-6, 1-10
電子地図 ゼンリン電子地図	
電子メール メール	
電池のマーク	1-9
電話回線への本パソコンの接続	
携帯電話に接続	2-9
公衆電話に接続	2-11
室内の電話回線に接続	2-9

●と●

動画ファイルの再生	8-10
ドメイン	2-17

〔な〕

内蔵モデムの動作チェック 2-32、2-38

〔に〕

ニュースグループとは 2-4
入会(プロバイダへの) 2-14

〔の〕

乗換案内 7-11

〔は〕

はーときゃんばす 3-9、7-3
ハードディスク
 ~の異常を調べる 8-2
 ~の不要なファイルの削除 8-3
パーティッグズ 7-3
始めかた(操作、作業の) 1-4
はじめよう!インターネット 2-14
バイナリ形式 6-9
バッテリ
 ~切れの通知 1-10
 ~の残量表示 1-9
 ~の充電中の表示 1-9

パスワード
 インターネットアカウントの~ 2-19、4-3
 メールアカウントの~ 3-3、3-11
パラレルケーブルで接続する 6-4

〔ひ〕

ピー、ピーと繰り返し鳴る 1-10
ビデオ
 ~を撮る 5-3
 ~を見る 5-8

〔ふ〕

ファイル
 ~の転送 6-5
 ~をメールに添付 3-9
復帰(レジューム)する 1-2、1-3
プロバイダ
 ~とは 2-6
 ~への入会 2-14、2-15
 ~に入会している場合の接続設定 2-14、2-16

〔ほ〕

ホームページ
 ~の印刷 4-12、4-19
 ~のオンライン作業 4-13
 ~の検索 4-8
 ~の表示 4-2
 ~の保存 4-17、4-18
 ~のリンク 4-4
「ボリューム コントロール」 8-8
翻訳サーフィン 7-3

〔ま〕

マイクで録音する 8-9
マウスポインタ
 ~を大きくする 8-5
 ~の動きをゆっくりにする 8-5
 ~の軌跡を表示する 8-5
マルチメディアファイル 8-10
無料体験サービス 2-14

〔め〕

メーリングリストとは 2-4

メール(Eメール、電子メール)

~ アカウント	2-19、3-3
~ アカウントのパスワード	3-3
~ アドレス	3-2、3-6
~ サーバー名	3-3
~ とは	2-3
~ の作成	3-8
~ の受信	3-13
~ の送信	3-8
メモリダイアルリンク	7-2
メロディリンク	7-6

ろ

録音する	8-9
ログオン	2-18

も

モジュラーケーブル	2-9
モデル	
~ が機能しているかの確認 ...	2-32、2-38
~ の選択(切り替え)	2-23
~ の通信速度を下げる	2-40

ゆ

ユーザーID(接続ID)	2-20
「ユーザー補助」機能を使う	8-6
ユーザー名	2-19

ら

らくらく写真館	5-7、7-3
らくらくメールBOX	3-2

り

リンク	4-4
-----------	-----

れ

レジューム	1-2、1-3
-------------	---------

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。

K56flex は、Lucent Technologies 社、Conexant Systems Inc. の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2000

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

音楽や画像などの著作物は、著作権法で保護されています。音楽の録音・複製（データ形式の変換を含む）や画像の複製（データ形式の変換を含む）などは、お客様個人、またはご家族内で楽しむ目的でのみ、行うことができます。音楽や画像をネットワーク上で配信するなど、上記の目的を越える場合は、著作権者の許諾が必要です。

FMV-BIBLO 情報生活術入門

B3FH-5881-01-00

発行日 2000年2月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利については、当社はその責を負いません。

無断転載を禁じます。

落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

© 0002-01

FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。



T4988618875509